滿洲日報 夕刊
發行人 鈴木昇 編輯人 橋本富治 印刷人 木村武盛
發行所 大連市東公園町一番地 株式會社滿洲日報社



# 日滿經濟提携へ更に前進
# 經濟委員會構成、目標
## 兩國政府、同數の委員を任命
## 事務局をも別に常置

【東京特電二十七日發】日滿經濟ブロック完成と兩國の完全なる合作のため來春設立さるゝ日滿經濟委員會の目標及び構成は大體次の如くであるといふ
一、日本國政府及滿洲國政府は相互の産業經濟の統制を强化確保する目的を以て常設日滿共同經濟委員會を設置す
一、同委員會は兩國における經濟分野の相違性並に特殊性を認識調和し且つ相互に相手國の企業組織に急激なる變動を及ぼさざるべきことを前提として双方の共同の繁榮策を樹立すべきことを目的とす
一、同委員會は日滿兩國政府において任命する同數の委員を以て構成し且つ委員の下に更に隨員を置く、隨員は當該分擔事業の專門家を以て充つ
一、同委員會の事務處理を敏活ならしめるため委員會外に事務局を常置す

# 對滿經濟政策建直し
## 經濟委員會の設置に伴ひ

【東京特電二十六日發】政府は豫て行政機構改革と併行して在滿經濟機構の根本的建直しを圖り、囊に廣田外相は國際産業通商事項に最も造詣の深い川島特命全權公使を滿洲に派遣して日滿經濟統制並にこれを遂行すべき機關の設置に關する根本策樹立を調査せしめたが更に本月十五日柳井東亞局第三課長を同地に派し日滿經濟委員會の設置に伴ふ新條約方式案に關する現地の調査をなさしめ同課長は二十六日午後三時二十五分歸任、直ちに外相に復命報告した、かくて外相は南全權と連絡をとりつゝ其の要望たる日滿産業協定の具體案作成に着手し明年早々滿洲國と正式交渉を開始する筈であるが、日滿經濟委員會設置の曉は從來の滿鐵本位の對滿經濟政策に劃期的改革が行はれ懸案の滿鐵改革も必然的に問題となるであらう

## 勅語奉答文可決

【東京二十七日發國通】二十七日の貴族院本會議は午前十時十五分開會、近衛議長開院式の勅語に對する奉答文を朗讀して議場に諮り全院起立して之を可決、次いで日程に入り
一、全院委員長の選擧
投票の結果、投票總數二百十九票中、二百十四票で徳川圀順公全院委員長に當選、次いで
一、常任委員の選擧
につき各部において選擧のため午前十時四十分休憩、午前十一時二十八分再開、近衛議長勅語奉答文捧呈のため參内した所、優渥なる勅語を賜はつたとて總員起立裡に左の勅語を捧讀する
朕カ貴族院ノ深厚ナル誠意ヲ嘉ス
次いで各常任委員選擧の結果を書記官より報告、近衛議長は明年一月二十日迄休會の件を諮り異議なく承認同三十七分散會した

### 貴族院奉答文

貴族院議長 臣近衛文麿誠恐誠惶謹テ
叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス 爰ニ第六十七回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ 臣等謹テ叡旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ皇猷ヲ贊襄セムコトヲ期ス 臣文麿恐惶ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス

## 岡村前副長 けふ旅順訪問

前關東軍參謀副長岡村寧次少將は二十七日午前十時自動車にて來旅、要塞司令部、關東州廳を訪問挨拶、更に白玉山に參拜正午大連に引返した

# 衆議院の各委員長
# 政友遂に獨占
## 政・民正面衝突不可避

【東京特電二十七日發】議長選擧の對立によつて一頓挫を來せる政民聯携は其の後全院委員長及び各常任委員長の割當てに於いて尚一脈の聯携を繋がうとする計畫が行はれ民政黨は前議會通り全院、決算、建議の三委員長を自派の手に收めんと欲したが政友會は既に議長選擧において民政黨が政友會と抗爭せる以上、斯くの如き妥協は全く無意義であつて却て民政黨の術策に陷るものであるとなし二十六日行はれた兩派の交渉會は遂に決裂となり兩派各候補者を立てることゝなつたので、各委員長は全部政友會の獨占に歸し兩黨聯携工作は茲に全く無効に陷り今期議會は政民兩派の正面衝突を來すことは不可避となり延いて情勢險惡を加ふるに至つた

### 衆議院本會議

【東京二十七日發國通】二十七日の衆議院本會議は午前十一時五分開會、植原副議長開會を宣し、直に休憩

### 委員長顔觸

【東京二十七日發國通】衆議院の全院委員長と各常任委員長は政友會の獨占に決定した
全院委員長 田口文次
豫算委員長 砂田重政
決算委員長 寺田市正
請願委員長 山本愼平
建議委員長 丹下茂十郎
懲罰委員長 牧野賤男

## 國策審議會 設立近し

【東京二十六日發國通】政府は二十七日午前十時より納めの閣議を開き年内に行ふべき政務を決定した後愈々國策審議會に關し吉田書記官長より大綱を説明しこれを決定、今期議會にこれが所要經費を追加豫算として提出協贊を經た上設置する方針である

## 社員會座談會 岡村少將中心に

滿鐵社員會では二十八日午後四時半から社員倶樂部において凱旋途上にある岡村前關東軍參謀副長を中心にした座談會を開くが、當日は社員會側より多數出席ある筈

## 大連工業學校豫算
### 四ケ年計畫六十七、八萬圓
### 早苗小學校を使用

【東京特電二十七日發】大連工業學校設立費は二十六日大藏省主計局議の承認を得たので廿七日の同省議に附せられるがその承認を得る事は殆ど確定的であると見られる、同設立豫算は多分十年度以降四ケ年計畫六十七、八萬圓であつて同校の課目は未だ最後的決定を見ないが土木、機械、電氣等に分れ一學年定員百五十名見當である 市當局は十年度から開校する意氣込みで多分早苗小學校を臨時使用して授業を開始することゝならう

## 北鐵交渉
# 銀行團の保證は事實上不可能
## 蘇聯の要求を一蹴

【東京廿七日發國通】東郷、カズロフスキー兩氏は二十六日午後二時より午後五時半まで第二次會談を行つた、東郷局長はソ聯の提案は物資支拂に銀行團の保證を求めるが、事實上不可能で之を固執するはソ聯側の眞意を疑はしいとて反省を要求し、又物價裁定委員會に第三國人介入の件は絶對に承認し得ぬとソ聯提案を一蹴した、カズロフスキー氏は之に對し確答を與へず、ユレニエフ大使と協議の上二十七日午後二時續行となつた、之で双方の意見一致せば明春早々廣田、ユレニエフ兩氏間に會談の豫定である

## 關東廳辭令 (十二月二十四日)

遞信局技師海軍豫備機關少尉 正六位 松岡太郎
任關東廳海務局技師 敍高等官四等 六級俸下賜
關東廳海務局技師 松岡太郎
海務局海事課長を命ず

### 入港船

扶桑丸は二十八日午前八時二十分▲千歳丸は同正午大連港外着豫定

正誤 二十七日朝刊新機構人事發令記事中、日下司政部長の官等「五等」とあるは「二等」の誤り

### 人事

▲宮本清一氏(砲兵少佐)二十七日入港はるびん丸で來連
▲山本眞三氏(三等主計正)同上
▲蟠川鍊治氏(歩兵大尉)同上
▲湯淺秀雄氏(旅順要塞附三等軍醫正)同上歸連
▲昭和製鋼所新入社員一行八十六名 同上
▲大澤隼氏(ハルビン駐在内務事務官)同上歸滿
▲田邊利男氏(滿鐵々道建設局次長)二十七日出帆あめりか丸で内地へ
▲近藤環太郎氏(内務事務官ハルビン駐在員)同上
▲池田競氏(臺灣生果重役)同上臺灣へ
▲陸軍傷病兵一行六十九名 同上内地へ
▲伍堂卓雄氏(昭和製鋼所社長)廿七日午前八時着列車にて來連
▲岡野勇氏(大連市助役)二十七日午前八時四十分着列車で歸連
▲河本大作氏(滿鐵理事)同上
▲大場鑑次郎氏(關東州廳長官)同上着連後赴旅
▲米内山震作氏(關東州廳内務部長)同上
▲水谷秀雄氏(大連民政署長)同上歸連
▲山田三平氏(遼東ホテル主)二十七日午前九時發あじあにて
▲寺澤耆叡氏(奉天ヤマトホテル支配人)同上歸任
▲迫喜平次氏(電業會社取締役)同上
▲三毛一夫中將(○○○○隊司令官)菱刈長官見送りのため來連中のところ二十七日正午發はとにて歸任
▲上田竹槌氏(鐵路總局安東自動車事務所長)同上

## 蘇聯領事 事務引繼

ソウエート大連駐箚新領事イー・ジエー・ゴルブツオーフ氏は二十七日領事館において代理領事ジーボルド氏から事務引繼を完了した 大連ソウエート領事館には前任領事アイ・デイ・ミハイロフ氏が本年九月末までその椅子にあつたが同氏がモスクワに引揚げて以來は今日まで領事空席となり同氏のセクレタリーたるジーボルド氏が領事事務を處理してゐたものである 新領事ゴ氏は最近まで在ロンドンソ聯大使館附として勤務して居たが本年八月一旦モスクワ外務人民委員會に歸廳し、改めて在大連領事に任命されたものである、氏は領事館で次の如く語る
日本官憲の援助を得て兩國の關係を益々親善の方向に向けることに努力したいと思ひます、滿洲國及び日本に對する豫備知識は新聞で見た程度ですこれからうんと勉强する覺悟です(寫眞は新領事)

# 南大使、國書捧呈
## 滿洲國皇帝より種々御下問
## 勤民樓上莊嚴な儀式

【新京電話】新任南駐滿全權大使の滿洲國皇帝陛下に對する國書捧呈の儀は二十七日午前十時より宮内府勤民樓において行はれた、此日北滿の冬特有のすつきり晴れ渡つた朝九時二十分盛裝せる南大使は谷、守屋兩參事官、板垣、大島兩大使館附陸海武官、吉澤、松隈、佐藤、山本各一等書記官、林出、花輪、筒井の各二等書記官、井上、桝谷、吉田各三等書記官等隨員十六名を隨へ許掌禮處長と宮内府禮車に同車、宮内府に向つた、宮内府警衛車の先導にて同四十分宮内府着、滿洲國各禮官の承光門外にて出迎へる中を大使一行は直に勤民樓候見室に入り少憩、この時滿洲國皇帝陛下には大元帥の御盛裝にて東便殿より勤民樓に入らせられ、二階の式場に臨ませられた、南大使は隨員と共に沈宮相の案内にて二階式場に入り皇帝陛下には左に工藤侍衞處長、沈宮相、許掌禮處長、右に張侍從武官長、謝外相を隨へさせられ式場に臨御、南大使は谷參事官以下隨員を後方に隨へて皇帝陛下と相對して起立、陛下には南大使以下の敬禮を受けさせられ南大使は前進して皇帝陛下より握手を賜はり退下した後、

### 言上書

を朗讀し、林出通譯申上ぐ、茲に大使は谷參事官の捧持した菱刈前大使の御解任狀を捧呈した、皇帝陛下にはこれを受けさせられ謝外相に御自ら御手渡し遊ばされた後、畏くも日本天皇陛下、皇后、皇太后兩陛下、皇太子殿下の御近狀につき南大使に對して御下問あらせられ、御親みの情を示されたと洩れ承はる、これに對して南大使は謹んで御答へ申上げた、更に大使は隨員一同を皇帝陛下に御紹介申上げ、茲に莊嚴なる國書捧呈の儀式を終つて候見室に退けば、沈宮相は滿洲國側宮内府高官を大使に紹介し、少憩後勤民樓前に於て皇帝陛下並に宮内府高官、日本側南大使以下隨員一同と記念撮影をなし同十時二十分宮内府を退下、茲に目出度く國書捧呈を終つて日滿國交の緊密益々固きを加ふるに至つた

## 再度參内 軍司令官として

【新京電話】國書捧呈の大任を滯ほりなく果し午前十時半官邸に歸還した南全權大使は直に勅使許宮内府掌禮處長を別室に招じ隨員一同を交へて三鞭の盃を擧げて同書捧呈の儀式無事終了を祝したが、午後二時關東軍司令官の資格にて南大將は西尾、板垣正副參謀長以下軍幕僚全員を從へて再度參内、滿洲國皇帝に拜謁優渥なる御言葉を賜はり二時四十分退下、次で二時國務院を訪問、鄭總理以下各大臣、各參議等滿洲國要人に着任挨拶をなした

## 懸命の努力 日下司政部長談

【新京電話】關東廳内務局長より關東局司政部長となつた日下辰太氏は新機構實施に付いて二十六日左の如く語る
本日關東廳官制の改正が發布せられ大使館内に關東局が設置される事となり圖らずも私が司政部長の重職を拜命致しました事は實に感激に堪へざる所です、南大使は本日初登廳され我々に對し御懇篤明確なる御訓示があり、我等に新機構の下に奉公すべき方針を訓示された、私はこの御訓示の趣旨を體し又近く赴任さるゝ長岡總長の御指示に依り我が對滿國策遂行に懸命の努力をなしたいと思ひます、關東局の開廳準備に付いては先般來準備委員會を編成して移轉準備に專念したゝめ着々進捗し既に一部の人たちは出京して居るが殘餘の全員も正月の御用始めまでには殆ど新京に出揃ふ筈でこれ等の部員諸君は何れも欣然として赴任し重大なる勤務に服する事を心より喜んで居る次第で茲に各方面の各位が我々に對し從來與へられた御厚意を厚く感謝すると共に將來一層の御支援と御協力を希望して止まない次第であります、又司政部の人事については事務の都合上尚幾分の變更があると思ふが大體はこれで決つた譯であります

## 充分意見を聽き是々非々で進む
### 大場新長官の抱負

南新軍司令官出迎へその他のため新京に赴いてゐた新任關東州廳長官大場鑑次郎氏は同内務部長米内山震作氏及び新任大連民政署長水谷秀雄氏とともに二十七日午前八時四十分着列車にて歸連、直に旅順に歸任新關東州廳に初登廳して新任の感想につき左の如く述べた
日滿朝野の注意を惹いた在滿機構が茲に無事實施され新州廳が誕生し私が新長官に任ぜられたが非才の私、未だ抱負といつたやうなものはなく全然白紙の狀態でこれから各部長、各課長から種々の建策、意見を聽き是々非々主義の下に任務を盡す考へである、時正に非常時、この際上下一致國策遂行に當る時に際し幸ひ廳員一同の努力に依り恙なきを得ば幸ひである

## 關東州廳 開廳式

關東州廳開廳式は大場長官訓令の下に二十七日午前十一時三十分多忙裡の州廳職員二百數十名が參列し擧行された、式は兒玉拓務大臣の告辭傳達に始まり、同大臣の挨拶並に南全權大使の訓示傳達あり、次いで大場長官新任の挨拶を兼ねて新機構下の職員の緊張と努力を望み且つ激勵する所あつた、これに對し田邊警察部長全職員を代表して答へ、最後に長官の發聲で州廳の萬歳を三唱し同十一時五十五分終了した

## 長岡新總長 出張所員に訓示

【東京特電二十七日發】長岡關東局總長は二十七日午前九時から東京内幸町の同出張所で在京職員に挨拶した、此日午前八時過守衛よりも早く賑かな顔を見せて、遲れてやつて來た小宮總理課長、山本出張所主任を面喰はせた、訓示も固くるしいことは一切抜きにして一同に頼む〳〵宜しく頼む!と强く

## 水谷民政署長

【新京電話】關東廳文書課長より大連民政署長に轉じた水谷秀雄氏は同時に事務官長を兼任する事となつたが、關東廳の事務を整理二十六日午後八時發列車に赴き大連赴任は二十八日頃になる模樣

## 監理部長を本官に
### 監督部長は兼任

【東京特電二十六日發】關東軍交通監督部長は官制に無い職名なるため大村卓一氏は監理部長が本官となり、交通監督部長を兼任する手續となつた

## 關東局開局式と新看板

(寫眞は式場と新看板)
關東局では二十六日午後五時三十分日下司政部長を始め局員等勤務室に參集、開局式を行つた

### 蛇角

◇年内にお正月を迎へた新機構、行く人、來る人、眩しき人事異動に歳晩のやうな慌しさ。
◇武勳に輝く菱刈、岡村兩將軍の凱旋行。
◇旅大の一瞬日は、正に感激と萬歳のルツボである。
◇明眸、深謀兩將軍の上に、今後一層光榮あれ、と祈る。
◇小川市長が流れる方向を間違へて非難されて居る。

# 僅か一年の間に九萬人近く增加
## 女百人につき男百四十五人
## 州内・附屬地の人口
十月末現在

關東廳調査課調査によるその管内、即ち關東州及南滿洲鐵道附屬地に於ける十月末現在の總人口は一、四七七、八八九人で前月に比し八、五九二人を、又前年同月に比し八九、〇九五人即ち人口千に付六〇人を孰れも增加した、總人口を男女に分つと男八七四、三六四人で五割九分を占め、女六〇三、五二五人で四割一分に當り

**男の** 女に超過すること二七〇、八三九人にして女百に付男一四五人の割合である

之を國籍別に觀ると滿洲人が最も高率で一五五人、亞いで朝鮮人一一九人、内地人外國人共に一一五人で最も低い、而して男女を前月に比すると男四、八八二人を、女三、七一〇人を、又前年同月に比すると男五五、四九四人（人口千に付六二人）、女三三、六〇一人（人口千に付五六人）を孰れも增加し增加數及增加率共に男は女より遙に高い

また總人口を國籍別に觀ると滿洲人最も多く一、一三六、七四八人で七割七分を占め、亞いで内地人三〇九、四八二人で二割一分、朝鮮人二九、四〇二人で二分、外國人二、二五七人（零分）の順位である

之を前月に比すると滿洲人四、七四七人を、内地人三、八六〇人を、朝鮮人四〇人を孰れも增加し外國人のみ五五人を

**減少** した、また前年同月に比すると滿洲人五一、〇三三人（人口千に付四五人）を、内地人三六、八七〇人（人口千に付一一九人）を、朝鮮人一、〇六七人（人口千に付三六人）を、外國人一二五人（人口千に付五五人）を孰れも增加した、一年間に於ける增加實數は滿洲人が多いが其の增加率に至つては内地人遙かに高く滿洲人の約二倍半以上である、總人口を關東州と鐵道附屬地とに大別すると關東州は一、〇三九、四三三人で七割を占め、鐵道附屬地は四三八、四五六人で三割に當る、これを前月に比すると關東州は四、一三八人を、鐵道附屬地は四、四五四人を孰れも增加した、更にまた前年同月に比すると關東州は四三、四八一人（人口千に付四二人）を、鐵道附屬地は四五、六一四人（人口千に付一〇四人）を孰れも增加した

**既往** 一年間における增加數は州内に比し州外僅かに多いが增加率に至つては約二倍半の高率である

更にこれを國籍別に依つて觀ると内地人は州内一四七、四一〇人で四割八分、州外一六二、〇七二人で五割二分にして州内に比し州外は一一、六六二人の超過を示してゐる、これに反し滿洲人は州内八八八、二四七人で七割八分、州外二四八、五〇一人で二割二分で州内は遙に多い州外における内地人の發展は將來益々その度を增すだらう

### 增加率は鞍山が一位　大連は二萬餘

なほ滿洲主なる都市の市街地における本年十月の人口を昨年十月に比すれば左の如き增加を示してゐる

| | 人口 | 增人 |
|---|---|---|
| 大連 | 三三〇、六七六 | 二〇、九七六 |
| 鞍山 | 二三、三五〇 | 四、八九一 |
| 奉天 | 六八、四五四 | 一二、四五五 |
| 安東 | 六九、五九七 | 三、九四三 |
| 撫順 | 七七、七六七 | 五、一八二 |
| 新京 | 五八、八二五 | 一一、二一五 |

右の内最も人口增加率の著るしいのは鞍山市街で人口千人につき二百九人增の割合、これに亞ぐのが新京の同上一九一人增、奉天の同上一八二人增等で大連の增加率は同上六五人增である

# 哀しき"黃金滿洲"の夢　二題

## 白粉と睡眠劑で　就職難から自殺を圖る

二十七日午前十一時ごろ市内濱町一丁目都旅館に投宿中の客、愛媛縣溫泉郡山野平井二二五松本好夫（二〇）が正午近くになつても起きて來ぬので女中蜷田シゲノ（二〇）が不審に思ひ二階七號室を覗いて見ると口中に白粉を詰め込みその上カルモチン一箱を嚥下し昏睡狀態に陥つてゐるのを發見、直に佐志醫師の應急手當を受け生命を取止めたが大連署司法係栢菅警部補が檢證した

自殺男は松山商業卒業後神戶内外汽船會社に就職したが間もなく健康勝れず退社、最近身體回復したので新興滿洲で一旗あげるべく二百圓を懷中に青雲の志を抱いて去月二十六日來連就職口に奔走したが見當らず、旅順青葉町十五番地に滯在中所持金を殆ど使ひ果したので二十六日來連、市内見物や映畫を見て午後十一時ごろ前記都旅館に投宿、翌二十七日いよ／＼世をはかなんで自殺を決意し今生の思ひ出に所持の十餘圓で吉野町カフエーライオンで遊興し、午前二時ごろ旅館に歸り用意のカルモチンと白粉を服み覺悟の自殺を企てたことが判つた大連署ではその不心得を諭し近く鄕里愛媛縣に送還する筈

## 元主家の娘の名で　少女が酌婦稼業　營利誘拐の魔手潜むか

丁年に滿たぬため主家の娘の名を騙り警察の眼を甘々と瞞着、酌婦稼業をしてゐた女の正體が暴露した――大連署司法係渡邊係官は二十七日午前逢坂町遊廓七福樓抱酌婦濱口フジエ（一九）を召喚取調中であるが、この女の本名は戶主茂久の長女西岡三四子（一七）といひ去る十一月中旬彼女が鄕里の笠岡町カフエースズランこと濱口リン方で女給稼中、滿洲へ行けば黃金の雨が降ると出鱈目な宣傳に乘せられ滿洲行きを志願したが、滿十七歲に滿たぬ爲め酌婦になれぬところから惡計をめぐらし、主家のカフエースズランの娘濱口フジエ（一九）の戶籍謄本を盜み出したうへ印鑑の承諾書まで僞造、すつかり濱口フジエに成り澄まし去る二十八日紹介人の手を通じて來連、前借七百五十圓で逢坂町七福樓に身を沈め、甘々と大連署の眼を掠めて酌婦稼業をしてゐたのであつたところが氏名を騙られた笠岡町のスズラン事濱口リン方では自分の娘フジエが現に家に居るのに大連で遊女になつてゐるといふ噂が立つたので不審に思ひ笠岡警察の手で取調べて貰ふと右の始末と判明、笠岡署も他人の名を騙つた西岡三四子の裏面に營利誘拐の魔手が潜んでゐると睨みこれが取調方を大連署に移牒して來たことからこの不正事實が發覺したもので大連署保安係では近く刑事々件とは別個に嚴重行政處分を行ふ方針である

# 在滿將士に　お正月の慰問袋　女學生三千名から

【東京特電二十七日發】滿洲の第一線を守る將士のお正月を慰めるべく澁谷の實踐女子專門學校高等女學校生徒三千名は五千個の慰問袋に雜誌、シャツ、キャラメル等を詰め優しい慰問狀を添へて贈ることゝなり生徒さん自ら荷造りして陸軍省へ委託直に現地へ發送されることゝなつた

# 軍國二重奏　埠頭に展開
## 白衣勇士と入營の壯丁　あめりか丸て内地へ

歲末の埠頭に展開された軍國二重奏――二十七日朝寒風を衝いて出帆のあめりか丸は白衣の傷病兵士と壯途凜々しい入營壯丁とを乘せて萬歲の歡呼裡に出發したが傷心の歸還兵士は矢島大尉以下六十九名、輸送指揮官の芦田二三男軍醫に引率されデッキに白衣の惜別陣を列べ見送りの市民群に應へてゐたが丁度同船の内地部隊へ入營の若者吉、堀兩君外八名が歡送のテープに彩られてゐるのと一緒になり見送りの人々の胸に力強い感銘を與へた

# 大藏省疑獄事件　廿六日豫審終結決定

【東京二十七日發國通】齋藤前内閣の總辭職の因を爲した中島元商相、黑田前大藏次官並に三土前鐵相等十七氏に係る所謂大藏省疑獄事件は爾來東京地方裁判所で鋭意審理され、その間再審理等も行はれ豫審終結決定は來春に持越されるかとも見えたが兩角豫審判事の懸命の努力の結果、遂に二十六日午後豫審終結決定し、該決定書は二十七日午後五時各被告の手許に送達される事となり事件の搜査に妨害ありとして去る三月二十七日記事揭載を禁じられてゐた同事件の内容は二十六日午後五時を期し解禁される事に決定、斯くて一世を衝動した空前の大疑獄事件の全貌は始めて明かにされる事となつた

# 職業野球俱樂部　顏觸れきまる
## 奉天實業團の津田君三壘手へ　明年二月米國へ遠征

【東京二十七日發國通】日本最初の職業野球大日本東京野球俱樂部創立總會は工業俱樂部で二十六日午後五時擧行資本金五十萬圓、筆頭取締役大隈信常侯、顧問として米野球團のオドール氏が就任した選手左の通り

△投手　澤村（京都商業）青柴（立命館大）スタルヒン（旭川中學）水原（慶應）畑福（專大）
△捕手　久慈（早大出）倉（法政出）
△一壘手永澤（太洋俱樂部）△二壘手三原（早大出）△三壘手新富（門鐵）津田（奉天實業團）江口（享榮商業）
△遊擊手苅田（法政出）
△外野手矢島（早大出）堀尾（ロスアンゼルス）二出川（明大出）中島（早大出）山本（元寶塚）夫馬（早大出）

尚ほ右選手は二月中旬米國へ遠征する豫定

# 關東局
## サインの"南"に集る好奇の視線　新機構への初日景觀

◇…【新京電話】關東局と關東州廳新官制公布の二十六日、署長日下氏以下二十餘名の各課、署長連豫定の午後二時になつても公電が來ないので一同恨めしさうに新看板を眺んでゐる時、某課長

オイこの五、六時間は俺達の首は中ブラリンでまるでルンペンだ

と敎擊を洩すと、僕らの某氏

僅か數時間で首のすげ替へが出來るんだから有難く思はなくちや

と皮肉り一同哄笑苦笑

◇…その中午後三時五十分やつと入電、墨痕新しい看板がかけられると、水谷氏

これは局令第一號で、南大將着任後最初の決裁ですが、安東から奉天への途中車中で戴いたものです

といひながら關東局及關東州廳事務分掌規定を黑框の中から取出す待ちかまへてゐた一同「オー」と聲をたて、南と崩した大將のサインをながめながら

變つたサインですな、覺えて置かねば

と診しさう

◇…水谷氏續いて

これは局令第二號として關東局官制實施最初の局令です

と取出したものは

スウエーデン國紋章使用者罰則に關する局令

即ち同國の紋章徽章又はこれに類似する徽章を濫りに商標等に使用せる者は五十圓以下の罰金又は科料云々の一項の下に南大將の赤字サインがクッキリ書かれてあるもの……

◇…尙同氏が「これで關東廳文書課長としての仕事は終りました」とホッと息をつけば、他の連中もこれに誘はれたやうに肩をおろし新機構實施に一安心の態

# 父のふところへ　傷心の少女歸る
## 肉親の愛に飢ゑ家出

誘はれ易い乙女心の感傷から無斷家出したが無事に父の許に歸つた薄幸の少女――市内入船町三番地滿鐵勤務吉村氏長女ハツエ＝假名（二〇）は三歲の時に母を失ひ、喩に殘る亡き母を思つては母の愛に飢えてゐたが、その後父が再びめとつた後妻によつて滿たされぬ母の愛を僅かながら滿たしてゐたところ、その繼母も昨年春亡くなり、今は父一人子一人の詫しい生活にたゞ一つの賴りとしてゐる父さへも會社の要務を帶びて出張續きで家をあける日が多く、一人の寂しさに閉える彼女は華やかな靑春時代にも拘らず笑を忘れてしまつた

かくて未だ見ぬ故鄕の祖父母に思ひを馳せ、せめて祖父母によつて滿たされぬ肉親愛にひたらうと遂に意を決して無謀にも父の出張中隣家に内地に行きますと告げ二十圓の金を持つて二十三日出帆ばいかる丸で大連を旅立つた

吉村氏は出張から歸つて初めてこれを知り、直ちに水上署に手配を依賴したので下關下船間際に警乘員が保護し廿七日入港はるびん丸で保護送還されて來た無事に戻つた愛娘の姿を見た吉村氏とハツエさんとは淚のうち相擁いて水上署員に貰ひ泣きさせた

# 憧れの日本へ　蒙古少年ふたり
## 三週間の豫定で各地視察　少年隊の制服凜々しく

滿洲國の整備に伴ひ邊陬の外蒙奧地まで友邦日本の眞意が諒解され日本への感謝となつてホロンバイル一帶は素晴らしい日本語熱に滿ちてゐる、そのためには日本を視察研究せねばと二十七日出帆あめりか丸で明日の蒙古を指導すべき蒙古少年二名が日本へ向つた

一行は興安北省警備軍司令部附小沼茂氏に引率され同司令部顧問を父に持つ寺田利興君（一二）が附添ひ、ダシニマハ（金島行秀）君（一三）とダンジン・ジャムソ（竹内立郎）君（一二）の兩君で

蒙古少年隊二年生に籍を置く兩君は少年隊のカーキ色の制服に皮の長靴も凜々しくあこがれの日本へ出發した

金島君の父は興安北省警備司令官少將烏爾金氏、また竹内君の父君は滿洲里の團長丹巴氏である

引率者小沼茂氏は出發に際し語る

豫定は三週間で東京を初め日本の各都市、舊蹟を視察する筈です、蒙古の日本への信賴は素晴しいもので日本を一ぺん視察することになり特に兩君が選ばれて行くことになつたのです、日本を見學の上この兩君が歸つてから外の者にその感想を傳へる筈で聽てはこの人達が將來の蒙古人を指導するとになるでせう

# 國防婦人會　大連支部　設立ちかづく

十二月初旬以來大連に支部設置を急ぎつゝある大日本國防婦人會は各方面より頗る好感を以て迎へられ既に發起人百餘名會員申込豫定約六千に達し目下着々準備を進めてゐるが一月上旬に第一次設立委員會を開き同月中旬迄には早くも發會式を擧行する筈、尙現在迄の發起人の氏名左の如し

青木ハツ、岡部久、荒川ハツヨ、荒木スミ、青柳セキ、乾ミヤ子、石田豐、岩光芳、一宮芳子、池水フク、岩男ナホ、南川賞子、伊保内千代、石本美子、泉ヒロ、岩井靜子、和泉カツ子、井上富美子、今井民子、瓜谷ウメ子、梅原美子、小川エイ、大塚ステ、大久保千里、小川喜代子、岡野眞枝、小澤カツ、樋口ヒデ、大竹豐子、川口トシ、川上シン、川尻ヨキ、河南政子、川崎シモエ、神田カツ子、龜井文子、角田トヨ、春日チヨ、川島絹子、兼光シカノ、加山ナツ、木下トミ、木船勢津、淸原ムラ子、鬼頭トミ子、久保キヨ子、栗木スウ、小林ユキ、小島ナホ、權藤クニ、河本久子、齋藤トミ子、櫻谷辰子、崎山ユカ、三宅ナミ子、佐藤榮子、齋藤タカ、島津カネ、大内光子、鈴木タツノ、菅國子、杉本小花、鈴木トメ、武部晴子、田岡美惠、高木サダ、菅原タイ、立島クミ、武山春二、高橋カツ子、高田ツヤ、田邊小繼、田中信子、高室キヨ、田中竹中俊子、千賀淸子、築地富美惠、土橋楠枝、辻芳子、藤平田信子、中西他喜子、中尾サワ子、鍋島伊智子、長濱英子、中田秀子、西川カネ、根橋恒子、野村靜、野久尾ヨネ子、增田靜子、前田さゐ子、橋本モモエ、長谷部喜代子、林田カツエ、馬場カノ、林田千代、伴野ヌイ、畑中豐野、林喜美、桃谷ハナヨ、長谷川シナ、平田キノ、平田久子、久岡サエ、福井ハル、藤澤ウタ、振角タツ、古田滿龜子、寶性トキ子、堀内會井子、松内悅子、松山コウ、松崎テイ、牧野喜美子、丸山千代子、幹ミヤ子、光岡ソヤ子、宮川チカ、村池千代子、森本柳子、山口コト子、八田鶴子、森川タカ、村田キヌ子、山崎スマ子、安井フジ、山内節、湯ノ口房江、山井ハル、吉峰シゲ、吉原ミネ、渡邊幸、渡邊美惠、脇屋愛子、若本信子、鷺島セン

# 見知らぬ人の出迎へに
## 大連埠頭に案内板新設

大連埠頭に上陸する人を迎へる者に便利な案内板が出來た、上陸した人達で混雜する岸壁、或は待合所内で未だ顏を見知らない人を迎へる者は今まで隨分苦勞してゐるので、第二埠頭では據てからこの便利を圖るため研究中だつたが、今度寫眞のやうな案内板を造つて早速二十七日入港のはるびん丸から利用して出迎への人達から重寶がられ喜ばれてゐる、高さ九尺だからこれを待合所入口に立てると人波の頭を通して直ぐ判るわけで、これから人に揉まれながら「〇〇樣」など、書いた紙を掲げたり人中で「〇〇さん」と大聲をあげて叫び廻り恥しい思ひをしなくともすむわけだ



# 歸省學生や　軍人家族
## はるびん丸で　鞍山への熟練工など

年の瀨も愈々押しつまつた二十七日入港したはるびん丸には休暇を迎へて父母の許に急ぐ歸省の學生五十數名を始め、十二月一日よりの關東軍州内の平常化に夫からの嬉しい便りに今年は一緒に正月を迎へやうといそ／＼とした軍人の家族が十餘家族、また内地の鐵都八幡製鐵所から招聘されて滿洲の鐵都鞍山の昭和製鋼所に行く熟練工二十一家族八十六名を乘せはるびん丸は本年最後の入港をした（寫眞は昭和製鋼所入りの熟練工家族の上陸）



## 吐血して死亡

二十七日午前一時三十分芝罘より入港利通號四等船客趙忠王（四〇）が吐血して死亡してゐるのを發見、海務局より眞柔平醫師が檢證の結果胃潰瘍と判明、同行の支那人に死體を引渡した

## 石炭燃燒の理論と實際

滿鐵商事部内販友會研究部主催にかゝる「石炭燃燒の理論と實際に關する講習會」は好評を博したので販友會では講習會の速記を取纏めて販に附し一般希望の向に頒つ希望者は二十九日迄に商事部地賣課計畫係（二〇・二一三八）迄申込まれたいと（菊版約二〇〇頁特價金五十錢）

## 廿八日御用納

大連地方法院、檢察局並に各警察署は二十八日をもつて御用納めとなし事務取扱ひを休止することゝなつた

## アナ合格者

電々會社のアナウンサー採用試驗合格者の氏名左の如し西林楯城、町田幸平、佐藤照治なほ滿人合格者は二十八日發表の筈

## 天氣豫報
（二十八日）南の風　曇　一時晴

## 各地溫度
（二十七日午前十一時）
大連零下二　奉天零下一〇　旅順零下一　新京零下一三　營口零下八　新義州零下三　哈爾濱零下一五　承德零下六

## 小洋相場
（廿七日前十一時半）金百圓につき九十八圓八十錢

# 親鸞聖人 (85)

吉川英治作
山村耕花畫

登岳篇

## 大衆（六）

椛本中堂は、靜かだつた。

一山の若い學僧たちのあひだに範宴の問題から、座主の慈圓僧正に、がう〳〵と、非難が起つてゐるなどゝは、登岳以來、そこに、常住してゐた僧正も、範宴も、性善坊も、すこしも、知らない事であつた。

中堂の藥師瑠璃光如來のまへに小さな範宴は、朝に夕に、生涯の精進をちかつてゐた。この北嶺の頂きへのぼつてからは、何か、今までよりは、佛の側へ、一歩、近づいて來たやうな心地がして、うれしかつた。

範宴が、師の僧正に仕へてゐるやうに、その範宴のゆく所に添つて、影のやうに、彼を守つてゐるのは、性善坊であつた。

その性善坊は、今日、東塔の南谷まで、使に行つて歸つてくる途中であつた。

「おいつ」

誰か、呼ぶので、

「はい」

性善坊は、ふり向いた。

肱を突つ張つた一人の大法師が、つか〳〵と、寄つて來て、

「中堂の宿房にゐる性善坊といふのは、おまへか」

「さうです」

「おれは、西塔の雙林寺にゐる妙光房淨帳といふものだが」

「はい」

「ま、そこへ掛けろ」

と、妙光房は、岩を指さした。

素直に、腰かけると、

「範宴少納言といふ小童は、おまへの主人ださうだな」

「主從とは、もとの俗縁でございます。唯今では、この性善坊にとりまして、天地にお一人の師の御房でございます」

「はゝゝ」

大法師は、齒の裏が見えるやうな、大きな口を開いて、

「あの、人形みたいな小法師が、おまへの師か。うわはゝゝ……」

肩を搖すぶつて可笑しがるのである。

性善坊は、まじめに、

「はい、私の師は、範宴さま御一人にございます」

「ものずきな奴もある。まあ……そんな事は何うでもいゝ、訊きたいのは、別儀でもないが、その小法師が、近いうちに、入壇いたして、大戒を授かるとかいふ噂がもつぱらにあるが、嘘だらうな」

「さあ？」

「ほんとか」

「ありさうな事に存じます。けれど、嘘かも知れませぬ」

「あいまいな事を云ふな。貴樣が、師のことを、貴樣が、知らんはずはない」

「これは、迷惑なおたづねです。入壇授戒の大法は、一に、御佛のお心にあることです。それを執り行ふ碩學のお眼にかなふた者が授かるものだと伺つてをります。なんで、私のやうな末輩が、知らう道理はありません」

「こいつ、ごま化し言を云うて、この方を、小馬鹿にいたすな」

「決して」

「ぢやあ、嘘か、眞か、はつきりと云へ」

「いへないものは、云へないではございませんか」

まだ、登岳してから、半年も經たない新參なので、性善坊は、できる限り、辭を低く答へてはゐるけれど、根が、侍である。公卿の館にはゐても、太刀をさしてゐた人間の根性として、餘りに、相手が横柄であつたり、人をのんでかゝつて來ると、つい肩つさするものが、こみあげてくる。

## 新春映畫陣（六）

### 封切ものを混合上映の 日活二番館帝國館

日活二番館帝國館では昭和九年度下半期における好調に乘つて十年度も大いに活躍すべく二番館として最も強力なプロを編成すべく計畫してゐたが、正月一週二週は再映に止まらず、九年度作品で一番館に未上映の封切ものを混合し、價は料金に於て大いに戰ふべく、次の如きプロを組んだが、右の内「巖頭の處女」「捕物五月雨格子」「すてうり勘兵衞」の三本は封切ものである（寫眞は「捕物五月雨格子」の伊達里子と市川正二郎）

**第一週** ▲「巖頭の處女」水久保澄子主演、春原政久原作、熊谷久虎監督、現代劇▲「旅姿上州訛」大河內傳次郎主演時代劇、伊藤大輔原作・監督▲「諸謔三浪士」片岡千惠藏主演時代劇、田中務原作、稻垣浩監督▲「捕物五月雨格子」市川正二郎主演時代劇、原健一郎原作・久見田喬二監督

**第二週** ▲「子供萬歲」闘時男主演現代劇▲「平手造酒」大河內傳次郎主演時代劇志波西果原作・監督▲「三日月笹穗切り」片岡千惠藏主演、岩井紫波原作稻垣浩監督▲「すてうり勘兵衞」坂東勝太郎主演、村上浪六原作淸瀨英次郎監督

## ●えいぐわとえんげい●

### ヘレン隅田孃 大連會館に出演
### 「百萬人の合唱」の撮影を終り 二十八日海路來連

映樂館の正月第三週に上映される日本最初の大音樂映畫、日本ビクター・JOスタヂオ共同作品「百萬人の合唱」に德山璉、藤山一郎小林千代子、小唄勝太郎、市丸等日本一流の人氣歌手と堂々肩をならべてジャズ・ダンスとジャズ・ソングで出演してゐるヘレン・隅田孃が突然大連會館にデビユーすることになり、一ケ月の契約の下に廿八日入港の定期船で來連するヘレン・隅田孃はアメリカに生れ、ピアノをエートラップ氏にトウダンスをポリードル女史に就いて習得、一九二二三年ハイスクールに在學中桑港ゴールデンゲートで行はれたレヴユー・コンテストに出演、トウダンス及びタップダンスを演じて二千數百人の中から名譽あるベスト・セブンテイーンのスターシップを獲得、沿岸各都市の大劇場の脚光を浴びた人で、その後ワーナーの特作映畫「フットライト・パレード」に特別出演、唯一人の日本人レヴユー・スターとして稱讃されたが、本年四月兩親と共に歸朝ビクターの專屬となつたものである

ヘレン・隅田孃の歌聲は低い地聲でブルースを歌ふかと思へば、高いソプラノで甘美な歌曲を歌ふ非常に廣い音域を持つてをり、ジャズ・アップしたペップ、豐な表情に富む美しい聲の佳人であるから大連へのデビユーは必ずや若い人々の間に相當の話題を撒くであらう

### 市川猿之助主演 「小栖長兵衛」

太秦發聲映畫が企畫太秦發聲では陽春に放つ帝王篇として劇壇から市川猿之助を迎へトーキー大作を製作すべく池永浩久氏が東寶の秦支配人と共に猿之助丈へ交渉する事になり、題材も猿之助極め附の當り狂言「小栖長兵衞」（岡本綺堂原作）のトーキー化を選んで居るが交渉成立すれば助演者として東寶より夏川靜江、伏見信子らも出演すべく監督は日活專屬を解いてフリーランサーになつた志波西果氏が擔當する筈、因に猿之助は約十年前マキノ映畫「天一坊」「日輪」に主演したが今度はトーキーだけに實現すれば相當センセイションを惹起する事だらう



### 私語線

師走の映畫街は正に血塗れの大活躍對外的には宣傳戰對內的には館內の設備だ、檢閱だ▲更に三四年度總決算に經濟方面に頭を働かし續ける館主支配人▲五彩の繪看板華やかな映畫街も一歩裏に入れば血みどろの戰場だがこの暗やみの戰場を明るくするかのやうに思はれるのが新春フイルムの試寫だ▲二十六日晝間パレには中央館が「戀られた河內山」の試寫を行ひ夜間パレには映樂館が特作水谷八重子の「唐人お吉」を試寫▲二十七日夜間パレには日活館が大河內の「新選組」の試寫……▲活動屋サン達試寫の時だけは一般人より早くお正月が來たやうな氣がして賑かな顏をしてゐる





## お詫び

十二月二十一日弊店使用人中日滿人埠頭構內に於て貨物拔取の嫌疑に依つて大連水上警察署に檢擧されました、是と前後して大連の各新聞に當地に大竊盜團が伏在して埠頭に於ける輸出入貨物の拔荷を常習的に敢行し居り日滿貿易上多大の惡影響を及ぼす云々の記事が掲載されましたが水上署の御取調べの結果右は曩に新聞に報道された樣な組織的犯罪で無く且つ他に連累者も無く各自が自己の業務を利用して拔荷した事が判明しました

本件の記事が新聞に報道される兩三日前當方では既に彼等の不正行爲を探知し密に取調中の處去る二十一日引致されたのであります

斯樣な次第で事件は當初の新聞記事の如く大々的のもので無く極めて微罪でありましても斯かる破廉恥漢を出し其の爲め關係各方面に種々御迷惑を掛け加之社會に尠からず衝動を與へた事に對しては其責任の重大なるを痛感して居ります

右の不始末は全く監督不行屆の致す處で恐縮に堪へず玆に衷心謝罪致します

十二月二十七日

大連武藏町五四
丸重洋行
支配人 堀申吉

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
本紙定價一部金五錢 一ヶ月金壹圓五拾錢 前金一ヶ月金壹圓五拾錢 廣告料一行金壹圓五十錢 字詰一揭載料壹圓十五錢
發行人 鈴木 編輯人 本喜代治 印刷人 村武雄
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社 滿洲日報社 私書函一三五號・振替大連六〇
代表電話 編輯局 四〇〇二・四〇七三 營業局 四七六七・六三四八 廣告部 三六九五・四九一 印刷所 四〇四八・四〇九
支社 東京 大阪 新京 奉天



# 國策審議會の方式 昨日の閣議で決定
## 内閣審議會、同調査局に分れ 未曾有の大規模

【東京特電廿七日發】所謂國策審議會設置方式は廿七日の閣議において決定を見た、これによれば國策審議會は内閣審議會及び内閣調査局の二機關に分れた未曾有の大掛りのもので更に具體的なことは明年一月十日の定例閣議に附議されるであらう、目下計上されてゐる初年度經費四十四萬圓は大部分内閣調査局の經費にして長官一名、參事官十五名(内五名勅任)の外專門委員、調査委員、屬官などを合せると七、八十名に上るべく豫算は主として人件費、調査費、視察費、圖書費に用ひられる、兎も角右本局は諸外國の國家計畫局とも稱すべきもので關係方面の人材を集め鋭意國策の調査研究に當るものであつて設置後の機能は注目されてゐる

## 内閣審議會 同調査局要綱

【東京二十七日發國通】内閣審議會並に内閣調査局の要綱左の如し

内閣審議會

一、名稱は假に内閣審議會とすること

一、内閣に屬し重要政策に就いて審議すべき諮問機關とすること

一、組織

イ、會長は内閣總理大臣が當ること

ロ、委員は十五名以内とし學識經驗あるものを選んで勅命せられる

ハ、國務大臣は委員とならぬこと、但し會議に出席して意見を述ぶることを得

ニ、内閣審議會に關する庶務は内閣調査局が之を掌ること

内閣調査局

一、内閣調査局は内閣總理大臣の管理に屬すること

一、内閣調査局の主管事務は内閣審議會に屬する諸務並に審議會に提出すべき資料、試案等の整理及行政、財政、經濟、產業、教育其の他一般重要政策に關する調査、なほ統帥事項に屬する軍事並に外交の機微に屬する事項は除くが廣義の國防、外交、例へば國防と財政の關係、外交と貿易の關係等は關聯事項として調査の範圍に入る、その他特に内閣總理大臣から命ぜられた重要政策案の審査を行ふこと

一、内閣調査局には長官一名(勅任)參事官十五名以内(内五名勅任)この外に特別の事項を調査する爲め專門委員或は調査委員等を命ずること

一、專門委員又は調査委員は官吏學者實際家等朝野有識の協力を仰ぐこととし各方面の人材を網羅すること

一、部門を分けず參事官をして自由に組合せを行ひその專門事項を擔任調査し調査に當らしめること

一、調査局には常任委員を置く、常任委員は内閣書記官長、法制局長官等を充て内閣調査局と内閣審議會との聯絡に當り右委員は内閣審議會に於いては幹事となる

一、豫算は初年度に於いて四十四萬圓程度平年度三十八萬圓程度とする

## 調査局設置に 各相大賛成
### 力瘤を入れる政府

【東京二十七日發國通】二十七日閣議において大綱の決定をみた内閣審議會及内閣調査局に就いては政府は非常の期待をかけてゐるが就中國策審議の基本調査に當る内閣調査局に對しては政府は特に十二分の機能を發揮せしめたいと力瘤を入れてゐる、卽ち右機關設置の閣議席上に於いても高橋藏相、町田商相より

從來各省割據の弊風を矯正する爲めにも大にこの調査局の活動にまたねばならぬ、自動車工業法の如き各省に關係するものは急速にこの新機關の調査に委れ度い

と熱心に調査局の充實と機能發揮を強調し又後藤内相、内田鐵相、床次遞相の各相からも

調査局に權威あり且つ實行的ならしめる爲にも參事官には學者實業家並に特に貴衆兩院の少壯有爲の議員もメンバーに加へたい

と提議して諒解を求むる所あつた

なほ調査局の主管事務の内審査事項は必ずしも内閣審議會の審議に附せるものでなく内閣で必要と認めた事項につき臨時調査し一新機軸を出さんとするものである

## 規則正しい晩酌 お銚子二本
### 南次郎將軍

點心

◇…在滿新機構の主人公、南次郎大將を稀代の吞ン兵衛のやうに世間では思ひ込んでゐるらしく、東京出發以來到るところで襲擊する新聞記者の質問は言ひ合せたやうに必ず〃酒〃に始まり、釜山などでは一記者が「將軍は酒を一石と何斗何升持つて來ましたか?」といふ奇問を發したので隨行の林關東軍新聞班長もあきれて「お花さんと孫達りを攜へて、ヴエルサイユ會議に行くのとは違ふ」と憤慨してゐた。

◇…將軍のあの巨軀と元氣ではイザ腰をすゑて飲むとなると恐らく底無しの豪酒だらうが、平生の晩酌は規則正しくお銚子二本と定つてゐて度を過さない、二合の酒を傾けて陶然たる境地に到つた時、靜かに一日中に遇つた事、爲した事を回想して反省修養に資するといふ。

◇…また將軍は曾て第十六師團長として京都に在任したことがあるので京阪の銘酒に對して高い鑑識を有し「上方に行つては洋酒などは飲めない」といつて日本酒の芳醇を愛してゐるが而もその好物も今度の滿洲國赴任に自身一合も携行しないところに將軍の覺悟の程が知れる。 × ×

## 政民妥協成る
### 各委員の椅子兩黨で折半
### 委員長顏觸決定

【東京二十七日發國通】紛糾を極めた衆議院全院並に各委員長選擧は遂に政民兩黨の間に妥協成り各委員の椅子を兩黨が折半する事とし兎も角も政民聯携の外形だけは漸く止める事が出來た、選擧結果左の通り

全院委員長 飯塚春太郎
豫算委員長 砂田重政
決算委員長 村上紋四郎
請願委員長 山本愼平
建議委員長 田中祐四郎
懲罰委員長 牧野賤男

# 對滿國策は確乎不動
## 日滿融和に言論機關の協力希望
## 南軍司令官記者團と初會見

【新京電話】統制強化された在滿新機構實施最初の二位一體の長官として二十五日着任した南大將は休養の暇もなく二十七日朝宮廷府に參内滿洲國皇帝に拜謁國書捧呈の大任を滯ほりなく果し更に軍司令官として最初の拜謁午餐を賜つたが午後四時半より官邸において在京記者團と初の會見を行つた

言論界の皆さん方には成るべく早くお會ひしたいと思つて居つたが何分にも

### 公式訪問

等に多忙を極めてその機會を得なかつたが本日の國書捧呈式を以て一先づ公式の式次を終つたのでどうか皆さんの忌憚なき御意見を承りたい

と緊張の中にも滑りなく國書捧呈の大任を果し得た喜びに聖鐵たる軀幹、面上明朗なる笑を湛へ

滿洲國の建設もこれからが愈々本腰だ、我國の對滿國策上何より大切なのは目標をはつきりと決めてかゝる事だ、だから自分も赴任の前

### その目標

に付いて政府と充分打合せて來た、細目に亘つても協議を遂げたが大綱に付いては全く意見の一致を見た

と明確大きな抱負を力強く述べ

何度も云ふやうだが此の大綱を決めてかゝる事が最も大事な事で政府が變らうとも此の對滿國策の大綱は確固不動、永久に變らない、此の點政府當局とも充分諒解を遂げた、細目に關しては諸般の方面に影響があつて今の所言へない、例へば治外

### 法權撤廢

に付いても撤廢する原則は變らないが然し如何なる方法如何なる時期に實施するか大いに研究の餘地がある、滿鐵改組問題に付いても非常に重大な問題で關係する所も大きいから改組するや否やは未だ確定的に決つて居る譯ではない、尤もその大綱に付いては政府と打合せして來た何れ鐵道政策も根本的に決める必要がある、我々にとつて何より大切な事は滿洲國の獨立を尊重すると共に同國の健全な發達に努力する事だ、但し滿洲國が

### 獨立國で

あると云ふ事を忘れてはならない、之は建國の由來を見れば明かであるし聯盟脫退の際に於ける詔勅更に日滿議定書にも明示されて居る所だが從來動もすればこの認識を誤る向きがまゝあるやうだ、此の日滿兩國の根本關係は日本人に限らず滿人にも徹底的に認識せしめるやう力を盡したい、この點特に言論界諸君の御協力をお願ひしたい、次に自分が日頃から痛感して居るのは内地朝野の對滿認識の

### 不徹底さ

だ、そのいゝ例は自分が陸相當時から今日まで多數の内地官民有力者から滿洲視察の歸朝談を聽いたがその對滿認識が區々まちまちだ、卽ち朝鮮から滿鐵線によつて一廻りして來た者は早く滿洲を平時化せよ、滿洲の治安は既に安定して居るではないかと云ふ、又京圖線を經て入滿した人達はまだ滿洲國の治安が整つては居ない、先づ治安の確保に力を盡せと云ふ、更に北滿鐵道を經て奧地を見て來た者はいや實に危險だ、滿洲國の建設などは到底不可能事だ、日本は滿洲から手を引け等の

### 悲觀論者

もあつて一部を以て全體を律するの類で何れも公正な見方ではない、私は内地の者に向つて滿洲國を再認識せよと云ひたいと將軍の鼻息はなかく荒い

更に我々日本人は滿洲人としつかり手を握つて國家の建設に當る事が大切だ、殊に在滿邦人は滿洲人との融和親睦に力を盡す事が肝要である、かりそめにもちつぽけな優越感を持つ事は禁物だ、そんな小國民的な考へでは東洋の平和は願はれない

と愈々將軍は意氣軒昂、その堂々たる體軀に相應しい潑剌たる抱負をほのめかす記者が

閣下は非常に御壯健ですれどもその銳鋒を轉ずれば

いや、有難う、全く儂は健康だよ、その點心配がない、元來儂はいふ事は一氣にシヤツベつて後は何にもない、だから儂の友達は俺の事をナニ、あいつの頭は何時もからつぽだよ、と何時も惡口を言つて笑つたものだよハハ……

## けふ皇帝の賜餐
### 南大使・宮廷府に參内

【新京電話】二十七日朝國書捧呈の大任を無事果し次いで午後軍司令官として再度拜謁を賜つた南大將は同三時國務院において鄭首相始め滿洲國要人と初會見をなし三時半駐滿海軍部を訪問し津田司令官と會見、次で四時半官邸に於いて在京記者團と會見を行つたが同夜は六時よりヤマトホテルに日滿要人百餘名を招待し盛大なる晩餐會を催した、なほ二十八日は午前九時半軍司令部廳舍を巡視、十一時半訓示をなした後、軍並びに大使館首腦者等を隨へて宮廷府に參内、滿洲國皇帝の賜餐を受ける豫定である

# 機構より人物
## 主要人事の成功から見て
## 運用の實績囑望さる

【東京特電二十六日發】今回實施された在滿新機構は政府が樞府の審議に際して一時的の暫定的のものであるとの說明を附したので他日更に第三次の

### 根本的

改革が行はれるものと一般に豫想されてゐる、然るに機構改革を繞りて行はれた在滿機關の人事が悉く成功して南軍司令官を始め板垣參謀副長、長岡關東局總長等何れも好評嘖々たるものがあるので機構よりは人物であるとの要望を現實にし延いて機構の是非善惡などは今更多く問ふ要なしといふ一般の空氣になつて來たことは成行上頗る好都合と見られ政府も漸く安堵してゐる、而も機構改革が内容の如何に關せず人事の異動と共に人心を一新するには十分に役立ち改革を理由とする人事異動か容易に行はれるのでこの點政府も軍部も最も

### 要領を

得たる處置を加ふることを得て效果的の事實を示してゐることが認められる、要するに人事の成功と相俟つて機構改革が偶然の機會に投じたことが成功し、新機構はその人を得たることにより巧に運用され相當の實績を擧げることが出來るであらうと一般に囑望してゐる

## 判任官以下の 人事發令
### 總計百七十八名

二十六日附關東局辭令を以て判任官以下の人事卽ち屬五十四名、囑託五名、警部二十名、警部補七名、雇七十三名、技手十五名、飜譯生三名、通譯一名の關東局官房、同監理部、同司政部、同警務部勤務任命が發令された

## 民政署長事務引繼

大連民政署の新長…

## 關東州廳の新看板

二十七日午前十時名殘り惜しい關東廳の看板が吏員の手で取り下され新しい關東州廳の看板が揭げられた(下は大場長官の初登廳)

## 全力任に當る
### 田邊警察部長談

…は二十八日午前十一時警長室において行はれる

何分新任匆々であり殊に私は不馴れな重職を拜したので未だ纏つた抱負はないが幸ひ大場新長官が警務方面の權威である關係上適切な指示を受け全力事に當る決心である、内外各方面の御後援により無事任務を遂行したい

## 遞信課を充實
### 新京中心に主力傾注

【東京特電二十七日發】在滿機構改革に當り關東廳遞信局では關東局に遞信部設置を希望したが實現せず、關東局監理部に遞信課の設置をみたので遞信局長と遞信課長の兼務は第二段の機構改革が行はれるまで續くことになつてゐる、從つて遞信局においては遞信課を充實して今後は新京を中心として主力を注ぐ方針であるが遞信局の分課及び人事はすべて大體現狀のまゝとして遞信課員も多くは遞信局職員の兼務とする筈である

上新京で働くことにならう、同遞信課を大いに充實したいと思つてゐる、然し一般業務の中心は依然大連にあり遞信局は總て現狀のまゝ落着くであらう

## 人の和が大切
### 中村遞信局長談

【東京特電二十七日發】中村新任遞信局長は廿七日遞信省において左の如く語る

在滿機構改革の眼目は我が對滿國策の強化にあり、而して機構の整備はもとより緊要なるも、更に重要なるは機構の圓滿なる運用を期する人の和にあると信ずる、遞信局に於いては特にその感を深くするので全局員が一身同體となつて崇高なる遞信事務の遂行に當りたい、滿洲は初めてだが遞信局各課長は友人だし心強い、大連に住むが遞信課長を兼務してゐるので月の中以

尙ほ氏は大正十四年東大出身、遞信畑の錚々たる新進で正月五、六日までに出發海路赴任の豫定である

## 土肥原機關長へ 諒解運動
### 市長上京問題

大連工業學校新設費復活に關し大藏省と折衝のため急遽上京した小川市長の行動につき軍部方面より非難相當嚴しであるとの報に接し大連市會では二十八日午後一時より緊急學務委員會を開催しこの問題につき協議を行ふこととなつたが大連市保護者聯合會から二十七日午後當番幹事八丁虎雄、西卷透三の兩氏は土肥原特務機關長を訪問、今回の小川市長の上京は大連市民多年の要望を實現せしむる爲め止むを得ざる緊急の措置であると諒承を求め辭去した

## 妥協成立經緯

【東京二十七日發國通】議長選擧によつて深められた政民の聯携の溝は全院委員長及び各常任委員長の選擧にも影響を齎し政民の兩派は午前九時頃から夫々幹部會を開いて協議したが政友會は民政黨から賴むと云ひ出して貰ひはないと黨内の統制に困ると云ふ實情にあり、また民政黨は賴むと政友會に折れて出ると黨内の統制に困る

と云ふ有樣で爆彈動議及び議長選擧によつて生じた聯携の龜裂を如何にして表面に出さずに行くべきかと秘策を練つた結果、こゝに政友會が全院委員長及び建議決算の兩委員長卽ち臨時議會通り常任委員折半によつて漸く政民の聯携を形式的にも擁え應したが果してこの提攜が休會明議會において重大問題に逢着した場合どれだけの力を持ちどれだけ政府に對して威力を示すかは疑問のまゝ來春の議會に持ち越される事となつた

## 有吉公使突然 南京に赴く
### 汪氏と重要會談

【上海特電二十七日發】有吉公使は二十六日夜突然南京に向つたが…

## 衆議院本會議

【東京二十七日發國通】休憩中の衆議院本會議は政民間において纏れた全院委員長並に常任委員長問題は臨時議會に於けると同樣政友が全院、建議、決算の三委員長を民政に讓ることに政民幹部會間に話が纏まり數時間に亘り揉みに揉んだ委員長問題も漸く解決を見るに至り、政民兩黨議員入場、午後四時八分再開

濱田議長 本日午前十一時參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ奉答文を捧呈致しましたところ重ねて優渥なる勅語を賜りました

とて總員起立裡に

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮チ嘉ス

と朗讀、次いで日程に入り

一、全院委員長の選擧を上程、無記名投票堂々廻りに入り開票の結果、投票總數二四八票の中二二九票の大多數を以て民政飯塚春太郎氏當選、茲に政民聯携の形を備ふることゝなつた、次いで濱田議長は本議會において建議委員を置くことの承認を求め夫々各部において委員の選擧のため三十六分再び休憩に入る、再度休憩中の衆議院本會議は午後五時五分三度開會、直に濱田議長は休憩中各部において選擧せる各常任委員の氏名を書記官をして報告せしめて後

濱田議長 本議會に於ても火木、土曜を本會議日と致しますと議場に諮り異議なく承認なほ明二十八日より一月二十日迄休會、但し議長必要と認めた場合は此の限りに非ずと云ふことに異議なければ本日はこれにて散會致します

と宣し同五時十五分散會した

## 英米獨佛の 對支經濟進出

【上海特電二十七日發】英、米、獨、佛四ケ國の對支經濟進出は頗る顯著でこの二ケ年間の投資總額は二億圓と概算され殊に英、米の積極的態度は注目されてゐる

【南京二十七日發國通】有吉公使は二十六日夜六時有野書記官等を帶同上海發今朝七時南京に到着、小憩の後汪精衞氏を訪問した、二十八日夜當地發上海に歸還の豫定

ワシントン條約廢棄に對し我が態度を說明すると共に懸案の水先案内及び岸本稅務司問題に付き最後的反省を求める爲と觀られてゐる

## 奉天稅務監督 署印花稅收入

【奉天電話】奉天稅務監督署の本年度印花稅收入額は去る十五日までに百五十萬三千八百元を擧げ前期の百十二萬元に比し約三割三十八萬三千八百元の增收にて年末までには百六十萬元の巨額に達する見込みで、これが增收の原因は各縣商工業の復活による商標登記並に各種註冊登記等による印花の使用が激增したためである

## 義倉整理調査【奉天電話】

奉天省公署では水災旱魃其の他萬一の場合に備へるため本夏來各縣公署に對し義倉整理調査方を通達してゐたが新行政區劃の實施その他で調査未完了の縣が多いので今般可及的速かに調査報告方を嚴命した

## 人事

▲青木金作氏(滿鐵白城子建設事務所長)二十七日午後六時三十分着あじあにて來連
▲橘三郎氏(滿鐵囑託)同上遼東ホテルへ投宿
▲角田一雄氏(撫順炭礦經理課注文係主任)同上ヤマトホテルへ投宿
▲福本順三郎氏(大連稅關長)二十七日午後八時發列車にて北行
▲長谷川長治氏(滿洲中央銀行)同上新京へ
▲朝香四郎氏(奉天高女教諭)二十七日午後四時五十分大連發列車にて歸任
▲荒木榮氏(奉天公學校長)同上

## 大觀小觀

國策審議會と内閣調査局、日滿共同經濟委員會と同事務局、之で又相當新しい椅子が出來る譯▲國家の要務が之によつて捗どるとなれば結構であるが、斯樣な組織が出來るために他の方面が忘業しては何もならない▲殊に國策審議會が堂々たる顏觸れを揃へて出現する以上之に强大な權限を與へて他方國務大臣の數でも減らすのが宜からうと思ふが▲閣員は其のまゝで別に閣員待遇の審議委員十數名も出來るとあつては船頭數だけ徒らに多くなる▲屋上屋を架し官僚的組織を複雜にすることは此の非常時に於ける要望と逆行的だ▲むしろ閣員中から少數者を集めて英國のウォア・キャビネット式に行くのが直截簡明である▲繰返して曰ふ國策審議は内閣自體の恒常時任務、之を審議會に預けて國務大臣の實孰にありや▲それを恰も自己の新政策であるかの如く衒ふに至つては甚だをかしい▲企業會社の簇出は滿洲熱の所產物その中には泡沫に近いものも少くないのは困つたものだ▲統制の必要は此にある▲問題が片ついたところへ市長等が着京した▲運が好かつたのか惡かつたのか。

## 社說

### 贈答の世風とその利弊

中元歳暮の年中行事として一般に行はれる物品の贈答は、唯日本傳來の國風なるのみならず世界各國に共通する同工異曲の社交現象であるが、兎角形式に流れ易い近代の世相は、この行事の應用に就いて甚だしく浮華の度を高め、心ある人々をして機會ある毎にその弊害を非難せしめ、更に團體的にこれが廢止に就ての運動をさへ起さしめるやうになつた。據かに時弊に適した好傾向と評するに足る。第一この種の風習は各人をしてその煩に堪へざらしめるのみか、或る家庭に於ては少からぬ無用の失費であつて、之が爲に蒙むる不便は決して鮮少でない。殊にそれが世潮に餘儀なくされた虚禮である場合には、贈答物の性質、贈答の方法、一に形式體裁を粉飾するに過ぎず、甚だしきは甲乙互ひに他の贈答品を遞送交換して自から慰むるのみとなる。かくては交友社交の親情を表示するに於て殆んど意味をなさぬ。

◇

唯だ併しこの行事その者の根本動機を深察すれば、必ずしも一概に俗惡視すべきでなく、自づから美點のその間に存することを見得る。一般家庭間若くは個人間の交遊が質實な時代に於て、偶々手に入れた物を割愛して相思の意を表し、若くは平素世務に忙殺される身の、一年の佳節を利用して久濶の情を溫め合ふなど、生活の社會的連鎖を深廣ならしめる意味において非常に有益である。それは恰も骨肉故舊の間に應酬される信書の往復と同樣、事務的には何等冠するに必要の二字を以てすべきものではないが、互に不忘の情誼を表明する上に言ふべからざる味がある。古よりいふ所の家書萬金に値するの語は、交通不便な時代にも往來至便の現代にも、それが相手に齎らす好印象に於て增減はない。殊に況んや日常生活の總てが事務的となり、事々利を主とし語々理をこれ旨とする複雜繁忙な世態の間に遑々する者に於てをやだ。中元歳暮の贈答もその趣旨とする所は之と異なる所はない。隨つてその贈答する物品の豐儉は問ふに及ばず、それに寄託されたる情誼の深淺を見るべきだ。所謂物微にして志の厚きを傳ふれば足る。

◇

然るに近代の一般贈答は心情の如何よりも形式に重きを置き意此にあらずして彼に在り、幾んど世風なるが故に責を塞ぐに過ぎぬ觀が多い。勿論繁劇なる日常生活である。その間特に相往來して誼を謝し、情を暖むるに違ない世相に處しては、一年の好機を利用して右の缺陷を補ふことは人情の自然であり、社交の通理でもある。それが人間生活の定則であつて、古今その軌を同うするが、併し近代のやうに多くが形式化し利害化し、浮華輕佻の虚禮化するに於てその弊の甚しきものがある。殊にこの弊風の爲に各人各家に經濟的餘毒を波及するが如きは、寧ろ文化生活の塲へ離い負擔と稱すべきである。世間の總てがこの消息を熟知して而も改むる能はず、年々懊惱の間に沒法子を繰返して居るのは賢明でない。

◇

要するに贈答の風はそこに長短是非の二點あるが爲に、直ちに存廢の孰れにも就くこと困難な譯であり、曾て質樸單純なりし社會が時代の進歩につれて變遷した爲の結果であらうが、それだけそれに對する是非の論議は存廢よりも改善の方法に注がるべきだ。その旨趣を精神的にその方法を單純清新ならしむるが好いと思はれる。而してかうした改革は近代生活が益々組織的に、團體的になつただけ比較的案出し易いともいへるが同時にそれを個人的よりも家庭的ならしめる爲に、基督教國におけるクリスマスの如き節會の先例を、廣義に國風化される必要もあるであらう。結局大衆生活に缺くべからざる社交觀念を清新ならしめねばならぬと力說したい。

## 滿洲國官吏消費組合問題

# "商業繁榮を阻み國都建設にも支障"

### 商議、輸入組合聯合會を開催 大々的に反對運動

【新京電話】滿洲國官吏の相互扶助各人の福祉增進の目的を以て設立される滿洲國官吏消費組合に對してはその影響する所甚大であるとして中小商業者間に反對の叫びが揚がつてゐるが消費組合本部所在地たる新京商工會議所並びに輸入組合では二十七日正午よりそれぞれ組合委員會並びに緊急委員會を開催、對策に關して意見を取纏めることになつたが更に全滿的問題として何等かの形において商工會議所聯合會、輸入組合聯合會を開催し大々的に反對運動に入らんとしてゐる、なほ商工會議所、輸入組合側としての消費組合設立反對意見は大要左の如くである

滿洲國官吏消費組合設立は中小商業者輸入組合員に大打擊を與へることは勿論であり、滿洲國の經濟的發展にも支障を來すのではなからうかと危惧される、即ち國策上定められたものに對しては反對は出來ないが現在滿洲國は發展途上にあり全滿各地へ日本の中小商業者の入植時代であり都市建設時代である、かゝる際に滿洲國官吏の生活權保持の爲にのみなされる消費組合の設立は妥當ではないと思考される、先づ中小商業者の經濟的獨立の可能性の充分なるに至つて後設立されるべきものではなからうか、現在に於ける組合の設立は伸びんとする滿洲國の商業に對し大きな不安を與へ且つ國都建設に支障を來たすものである、即ち繁榮せる大都市は中小商業者が中心となつてゐることよりみれば新京のそれにも小商店街の完成に俟つ所多い、然るにこの組合の實現は滿洲國官吏目當に明年度を期して豐樂街に實現せんとする小商店街の前途に甚だしき不安を齎すものであり全滿各地に伸びんとする商業を嫩葉の中につみ取る如きものである

### 奉天商議對策

【奉天電話】滿洲國官吏の消費組合設置問題に關し奉天商工會議所では一般商人に絕大なる脅威を與へるものとて重大視し二十六日滿洲商工會議所聯合會事務所である新京商工會議所其の他全滿商議、實業團體に飛電し各地の情報を取纏めて對策を講ずる事となつたが新京商工會議所は震源地である關係上二十七日午後緊急役員會を開催對策を講ずる旨の返電があつたので新京商議の態度決定を待つて全滿商議聯合會を開催して全滿商人の反對の聲として日滿要路にこれが阻止方を陳情する模樣である

### 大連市煤煙防止委員會

大連市煤煙防止委員會は二十七日午後二時半より議員控室に於て委員十名出席の下に開催先づ武田衛生課長より議の市會で可決を見た防止豫算の報告あり、終つて實行に關する具體的方法に付き協議の上指導員の人選は技術協會に又煙突噴煙並に降下煙塵測量員の人選は衛生研究所に一任することゝなり同四時過ぎ散會した

### 東大總長發表

【東京二十七日發國通】東大總長は二十七日附左の如く正式發表された

帝大教授 長與又郎
任東京帝大總長(一等)
帝大總長 小野塚喜平次
依願免官

## 八相

### あじあの特等

◇自分は二、三日前奉天から大連迄乘つた者です、自分は「場所が定まつて居て定員以外は斷る」といふやうなことでしたので、先を爭はず一番後から乘りました、さて適當の場所を得やうと探しましたが旣に滿員でした。

◇間もなく車掌が乘車券を調べて居た時知つたことですが、子供の武藏守が多い事でした、四歲以下は急行券は要らないことになつて居るやうですが、小學生の制服を着て居る者の無賃乘車が多い、子供は席に坐るのは當然ですが、急行券を拂つた者を立たして先に坐るのは餘りに不合理です。

◇僕は仕方なく立ちました、前に貴婦人風の方が小學生(無賃乘車)を一人連れて坐つて居ました、僕が居たのが見えなかつたのか間もなく「醉ひさうだ」といはれて胃散を飲んでゴロリと橫になつた、がなんと進んで居る方に背をむけて、どういふ氣で寢られたのか知れないが、あれでは更に醉はれるだらう。

◇一人の方の橫が空いて居たので「誰かゐらつしやいますか」と尋ねたところ、紳士風の人が目をむいて「居るぞ」とどなられた、仕方がないので列車の繼目の所のブリッヂの所に立つて居つた、特等席だ、高い特等席だ。二、三度中に入つて見たが、誰一人讓らうとする者が居ない、列車ボーイも通るが知らぬ顏です、結局坊つちやん孃ちやん達は座席にふんぞり返つて居ました。

◇車掌も切符きりのみが任務ではありますまい、讀んで字の如く車を掌る任務を持つてゐる筈です、車の中位見廻つてもらひたい、又滿鐵もあじあには急行券を買はない者は絕對に乘せないやうにしてもらひたい、公然の武藏守が餘り多すぎます、又學生の分際で特急に乘るとは餘りに贅澤です。(一乘者)

# 關東局新規事業

### 大藏省議で承認の分

【東京特電二十七日發】關東局特別會計の主なる新規事業は大藏省主計局で左の如く承認された、金額は二十八日省議決定まで嚴秘に附されてゐるが承認を得ることは決定的である

一、競馬監督(州外に競馬施行)に要する經費
一、製鹽監視に要する經費
一、關東局の警察官派出所十五ケ所新設
一、沿線の工場並びに危險物取締りに關する經費(技手數名)
一、船舶警乘に關する經費(約六萬圓)
一、大連工業學校 經常部七萬圓臨時部六十萬圓(內十年度約十二萬圓)
一、棉花の原種圃二十町歩增設
一、營口專賣局出張所設置(遞信局關係)
一、郵便事業方面で約二十萬圓の經費增(その主なる者は特別速達取扱ひ制度に要する經費)
一、航空無線電信局設置費(大連)
一、無線通信の監視設備費
一、工場設備改善費(周水子飛行場)
一、航空路施設(約九萬圓)
一、電氣事業事務增進其他に關する經費
一、大連沙河口警察署廳舍新營費
一、大連上水道第五期擴張費
一、移民衛生調査に關する費用
一、新京關東局官舍新營費 二、三年計畫で十年度は四十五、六萬圓
一、臨時部で補助費 數項目
一、租稅制度調査費

### 濱田新議長の就任挨拶

廿五日午前十一時廿分より開會された衆議院本會議にて就任の挨拶を述べる新議長濱田國松氏

# 滿洲の企業界は正に黃金時代現出

### —新會社續々と設立さる

滿洲事變以來滿洲における各種產業は急激な勢で發達を遂げたが旣に新設或ひは計畫中の會社のみでも百十七社を算しその資本金は總計五億圓を突破する狀態である、勿論新設會社中には事變前から計畫されてゐた昭和製鋼所、滿洲化學工業等もあり、その他の新設主要會社として滿洲電信電話會社、滿洲電業會社等があるが現在計畫中の主なるものは左の如くである

▲大連組立工場 資本金十七萬五千圓で沙河口鐵工場の隣接地に設け日本車輛、川崎車輛、田中車輛、汽車會社の製品組立を行ふもの

▲滿洲曹達會社 資本金一千五百萬圓で日本法人として本社を大連に設け曹達灰の製造並びに販賣に當る(滿鐵系)

▲滿洲醱酵工業會社 滿鐵その他の出資のもとに資本金百五十萬圓(豫定)滿洲國法人として主として酒精製造並びに販賣に當る

▲滿洲[illegible]金[illegible]鑛會社 滿洲國法人として資本金七十萬圓(豫定)株主には滿鐵その他が當り菱苦土、礬土頁岩、耐火粘土の採掘加工並びに販賣に當る

▲滿洲鉛鑛會社 資本金四百萬圓で滿鐵と日滿興業會社の合同出資とし本社は奉天若くは鞍山に置く

▲滿洲アルミニユーム會社 資本金三千萬圓(豫定)で日本法人として滿鐵その他の出資輕金屬及一般電氣化學工業製品の製造加工並びに販賣に當る

この他旣に幾度か報道された滿洲保險會社、同移民會社、日佛對滿事業公司、奉天工業土地會社等の計畫會社があり、洋々たる滿洲國の前途を如實に示してゐるが、殊に康德元年に入りては滿洲企業界は實に黃金時代現出の觀あり本年一月より十二月末迄に滿洲國實業部に設立屆を

### 提出

した滿洲國公司法に依る會社總數を示すと、二十六社に及び而も總株數二百九十萬二千六百株、公稱資本金一億四千三百六十萬國幣圓に達してゐる、試に本年一月より十二月末迄に設立された公司法による諸企業會社を創立順に示せば左の如し

| 會社 | 百株 | 千圓 |
|---|---|---|
| 橫江證券 | 200 | 800 |
| 滿洲滑石(海城) | [illegible] | [illegible] |
| 蓋平電業 | 20 | 70 |
| 滿洲石油 | 1,000 | 5,000 |
| 昌圖電業 | 11 | 60 |
| 同和自動車 | 1,120 | 6,200 |
| 滿洲綿花 | 400 | 2,000 |
| 滿洲計器 | 300 | 1,500 |
| 滿洲炭礦 | 3,200 | 16,000 |
| 吉磐自動車 | 10 | 100 |
| 吉蘭自動車 | 10 | 100 |
| 滿洲洋灰 | [illegible] | 3,000 |
| 滿洲採金 | 2,400 | 12,000 |
| 琿春鐵道 | 60 | 300 |
| 大德不動產 | 200 | 1,000 |
| 滿日亞麻紡 | 600 | 3,000 |
| 益發銀行 | 100 | 1,000 |
| 功成銀行 | 50 | 500 |
| 克山電業 | 10 | 50 |
| 滿洲行政 | 50 | 250 |
| 開原自動車 | 10 | 50 |
| 滿洲遞信自動車 | 50 | 250 |
| 大安汽船 | 100 | 1,000 |
| 東方電業 | 8,000 | 80,000 |
| 滿洲電業 | 10 | 50 |
| 鳳城電車 | [illegible] | [illegible] |
| 合計 | 29,026 | 143,600 |

### 滿洲工廠總會

【大阪特電二十七日發】二十七日大阪で開催の滿洲工廠株主總會は資本金倍額三百萬圓に增資を可決したほか

八分配當の件、奉天工場長伊瀨知禎介氏取締役に就任の件及び定款一部變更の件

四項目とも悉く原案通り可決した

### 關稅引下陳情

【大阪特電二十七日發】大阪貿易振興會では二十六日滿洲國關稅引下要望に關する陳情書を東京その他日本側要路に發送した

### 滿鐵御用納

滿鐵は例年十二月三十日が御用納めであるが當日は日曜に當るので二十九日に繰上げるが終日勤務である、御用始めは例年通り四日である

### 田中少將新任挨拶

【新京電話】旅順要塞司令官田中稔少將は新任南關東軍司令官に挨拶の爲め二十六日午後五時半着あじあで來京二十七日軍司令部を訪問、南軍司令官、西尾、板垣正副參謀長と會見着任挨拶をなした

### 外務省辭令

【東京二十七日發國通】外務省辭令二十七日發令左の如し

任公使館商務書記官 大使館商務書記官 原 明治郞
命アルゼンチン國在勤 公使館二等書記官 安東 義良
任外務書記官 命條約局第一課勤務 公使館三等書記官 澁澤 信一
任大使館三等書記官 命ブラジル國在勤 外務事務官 工藤 忠夫
任大使館三等書記官 命伊太利國在勤 副領事 田中 彥藏
任公使館三等書記官 命兼副領事南京在勤 外交官補 勝田 直吉
同 三浦 文夫
任大使館三等書記官 命ブラジル國在勤(各通) 外交官補 山口 光
任公使館三等書記官 命瑞典、諾威、丁抹及フインランド國在勤
命間島在勤 副領事 小坂部 蘊

### 陸軍辭令

【東京二十七日發國通】二十七日附陸軍辭令左の如し

陸軍少將 安藤 三郞
步兵中佐 野田 謙吾
步兵中佐 秋山 義隆
砲兵中佐 木谷 資俊
輜重兵中佐 柴山兼四郞
砲兵少佐 橋本 秀信
歐洲へ出張を命ず(各通)

### 同情週間寄附

(二十六日分)

▲廿圓宛松村繁雄、三十里堡新年宴會委員一同▲十五圓九十三錢電業公司有志▲十圓宛羽月治郞兵衛、日本水產株式會社、八田夫人▲六圓三十四錢滿鐵鐵道部庶務課有志▲五圓宛原田孝七、宮崎勇太郞▲四圓七十五錢電業會社大連發電所有志▲四圓廿錢日出町幼稚園▲三圓宛馬場庄江、重富正人、市村源二▲二圓十九錢鐵道工場倉庫係十八名▲二圓宛山本淸三郞、一木小夜▲一圓七十二錢松村委員扱十二名分▲一圓六十錢市役所扱十二名分▲一圓五十錢星ケ浦日曜學校▲一圓十三錢中央試驗所有志▲一圓宛川島四次外四名

計百參拾七圓參拾六錢也

—(二十七日分)—

▲四十八圓四十錢滿洲日報社社員有志▲三十圓宛京屋席島田春及藝妓一同、常盤會▲十圓滿蒙興業株式會社▲五圓八十四錢埠頭事務所有志▲五圓宛天然堂藥局、久保貞吉、古川電氣會社大連販賣店▲四圓三十五錢大連警察署利事係一同▲三圓二十六錢古河電氣會社有志▲三圓宛牛島義光、山崎秀夫▲二圓宛幸田義、大塚冬雄、イワングメニユーク、藤田三平▲一圓宛山路ヨシ外十名

計金百六十九圓八十五錢也

累計金一萬二千百〇一圓四十三錢也

本日局報を添ふ

## 哭くな青春 (79)

三上於菟吉 / 吉邨二郎畫

### 事務所で(その八)

けい子が、さも愛想よげに、微笑みながら見上げる顏を、のつぽで、邪慳な顏をした、黑い上つぱりの女帳場は、じろ〳〵眺め下ろすやうにしてゐたが、やがて、間をおいて、

「原田さん、あんたは、ちよいと見たところ、なか〳〵可愛らしい子だけれど、隨分、ひさを馬鹿にしてゐるところがあるわれえ」

「まあ、をばさん——」

と、けい子は、吃驚したやうな口調で、しぼみかけてゐる目を見開いて、

「私が、あなたを馬鹿にするなんて、そんな事がある筈は、ないぢやありませんか」

險相な中老婦人は、男のやうに肩をそびやかして、鼻で笑つた。

「だつて、お前さんは、さうに約束してゐるぢやあないの。まあ、前の十日分の部屋代は、當分その儘として、あれ以來、毎日その日の分を入れてくれると、誓つたぢやあないの。わたしの方では、あの十日分を、その儘にしておくのだつて、隨分、讓歩してゐるのです。それなのに、その後、ちつとも誠意を見せてくれやあしない。それでゐて、アパートの出入りに、わたしに言葉でもかけてくれることか、なるたけ顏を合せないやうにしてばかりゐる。わたしは、その心持が、憎いのだよ」

けい子は、女帳場の恨み言を聞いてゐる間に、だん〳〵顏がうなだれて來るのだつた。

彼女は、この女帳場とても、容貌こそ、けはしく、とげ〳〵しいものゝ、その本性は、決して惡人ではないことを知つてゐた。何時ぞや、この女の口から、少女時代、繼母の手にかゝつて以來、不思議に不幸で、孤獨な、運命が續いて、たうとう、今も女一人で身を立て過ごして行かねばならぬのだ——といふやうな繰言を、こま細に聞かされたのを覺えてゐる。

この女が、けい子のやうな孃に、こんな憎たらしい口を利かねばならぬのも、やはり成り行きだつた。

けい子は、憤ろしく感じるよりも、たゞ、すまなく情なかつた。

「わたし、決して、そんな積りぢやないのです。だけど、お約束が守れないので、顏を合せるのが恥づかしくつて——」

その時、黑い上つぱりの女の、けはしげな瞳は、ぢつと、不幸な街のむすめの上に、そそがれ續けてゐるのだつた。

突然、彼女は訊ねた。

「どうしたの。この頃、なんだか急に、元氣がなくなつてしまつたぢやあないの?」

けい子は、思ひがけなく、言葉つきこそ荒つぽいが、思ひやりのある言葉を聞かされて、一層、顏をそむけた。

「いゝえ、何でもないのです。此度風邪を引いたのかも知れないわ」

「いゝえ、さうぢやないでせう」

と、女帳場は、かぶりをふるやうにして、

「あなたは、好きなものを澤山喰べなければ、いけないわ」

と、言つたが、上つぱりの下に手を突つこんで、小さな黑皮の蟇口を取り出し、中から何枚かの銀貨を、つまみ出して、けい子の方へつき出すやうにするのだつた。

「こゝに、幾らか要らないのがあるわ、小遣のたしにもつていらつしやい」

けい子は、吃驚した目付きで、帳場の女を眺めた。彼女の、蒼ざめた顏は急に、眞赤に充血し、見開いた目からは、大粒な淚がまろび落ちさうになつた。

彼女は、

「いりませんわ、をばさん!」

と叫ぶやうに言ふと、ぐるりと向き直つて、出口の方へ驅け出してしまつた。



## 後場市況(廿七日)

### 株式 東硬西軟

當市大株は九十圓臺割れを演じ東新、日產は小緩り、五品も三十錢方小戾した

◇定期(單位十錢)

| 銘柄 | 當限 | 先限 |
|---|---|---|
| 五品 | — | 二〇三 |

◇延取引

| 銘柄 | 寄値 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 五品 | 二〇一 | 二〇五 | 二〇〇 | 二〇五 |
| 新豆 | 一二八 | 一二八 | 一二八 | — |
| 錢鈔 | 一二六 | 一二六 | 一二六 | — |
| 氷新 | 一三一 | 一三一 | 一三一 | — |
| 電々 | 一六〇 | 一六〇 | 一六〇 | — |
| 電乙 | 一三三 | 一三三 | 一三三 | — |
| 滿鐵 | 六一〇 | 六一六 | 六一〇 | 六一二 |
| 同新 | 一三五 | 一三五 | 一三五 | — |
| 土木 | 一〇一 | 一〇一 | 一〇一 | — |
| 大新 | 八五 | 八五 | 八五 | — |
| 東新 | 一三六 | 一四〇 | 一三六 | 一四〇 |
| 鐘新 | 一三一 | 一三一 | 一三一 | — |
| 日產 | 一〇四 | 一〇九 | 一〇四 | 一〇九 |
| 朝取 | 一〇三 | 一〇三 | 一〇三 | — |

◇雜取引 日清油 二三〇

### 特產 高粱低落

後場大豆は邦商の賣に南支筋買も利かず弱含を呈し豆粕は買氣薄に軟調を示し、豆油は閑散弱保合、高粱は奧地筋の賣に低落を辿つた

◇定期(銀建)

▲大豆(弱含)單位屋

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 十二月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 一月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 二月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 三月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 四月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

出來高 二百四十八車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(軟調)單位屋

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 二月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 三月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 四月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

出來高 二萬六千枚

▲豆油(弱保合)單位錢

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 四月限 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

出來高 五百箱

▲高粱(低落)單位屋

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 十二月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 一月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 二月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 三月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 四月末 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

出來高 五十四車

▲包米(出來不申)

◇現物(銀建)

| 品名 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 混保大豆(袋物・裸物) | 四四〇〇 | 四三八〇 |

出來高 二百車

普通大豆(袋物・裸物) 出來不申
豆粕 一三五五 一三六〇 出來高 六萬五千枚
豆油 一二四五 一二四〇 出來高 六千五百箱
高粱 出來不申
包米 出來不申

### 錢鈔 鈔票堅調

閑散ながら鈔票は保合商狀を呈した

◇定期(單位錢)

| 限月 | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 期近 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

出來高 百七萬圓

◇現物(單位錢)

| 時刻 | 銀對金 | 銀對洋 | 金對洋 |
|---|---|---|---|
| 一時 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 二時 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 三時 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

出來高(銀對金) 三十一萬圓 (銀對洋) 二萬二十圓

### 商品 麻袋弱保合

◇麻袋

| 銘柄 | 約定期 | 值段 | 枚數 |
|---|---|---|---|
| 鐵筋 | 二月限 | 三八一 | 一〇 |

出來高 一萬枚

◇綿糸 不申

### 奧地市況

奉天奉票對金票 [illegible]
奉天國幣對金票 [illegible]
同 先限 [illegible]
奉天鈔票對金票 [illegible]
新京國幣對金票 [illegible]
哈爾濱國幣對金票 [illegible]
哈爾濱大豆 一月 [illegible] 二月 [illegible] 三月 [illegible]

## 市場電報

株式(單位十錢)

大阪(長期) 大株 鐘紡 日糖 滿新 大新 鐘新 東新 滿鐵 [illegible]
大阪(短期) [illegible]
東京(長期) 大新 東新 鐘紡 日產 滿鐵 帝人 [illegible]
東京(短期) 東株 東新 [illegible]
五品 當 中 先 / 新豆 當 中 先 [illegible]
大阪綿糸(單位十錢) 當限落ち 寄値 引値 [illegible]

長女滿喜子儀赤十字病院入院中の處十二月廿七日午前七時遂に永眠仕り候就ては來る廿八日午後三時西廣場救世軍々營に於て告別式相營み申可く此段紙上を以て御通知申上候
追て花環御供物等の儀は勝手乍ら御斷り申上候
連鎖街西野帽子店主
父 西野悅夫
親戚友人一同

荊妻シノブ儀急性肺炎にて大連赤十字病院に入院加療中の處藥石効なく二十七日午前一時四十分死去仕候間此段謹告仕候
追て二十九日午後一時自宅出棺途中行列を廢し聖德街葬祭場にて告別式執行仕候
昭和九年十二月二十七日
大連市聖德街二丁目一九
夫 大柳菊三郞
親族一同

# 一千尺の山の上で 邦人の抱合心中
## 熊岳城から五里の山中に死體
## 身元その他は不明

【熊岳城】師走のあわたゞしさを外に死路を熊岳城の奥深き山中に求めて抱合心中を遂げた邦人情死事件があつた、廿六日午前八時頃范家屯村（熊岳城を距る東方約五里の地點）の村人が今日此頃の變調な暖かさ日さて裏の山上に松の枝切りに行つた處殆ご絶頂に近き松林の中に邦人男女の死體あるを發見し驚いて下山熊岳城々内警察署に届け出たもので城内警察署では直ぐ日本警察に通告すると同時に袖長指導官は警務二名を、日本警察側より石原警部補外一名の巡捕と山下醫師を伴つて現場に急行した

一行は途中馬車を捨てゝ道なき岩石の山を攀登ること一時間餘全く係官一同を唖然たらしむるに充分だつた、漸くにして現場に着き檢證したる處男女共アダリンを多量嚥下したもので苦悶し取亂した形跡はなく決行した日時は不明なるも大體四、五日前と見られてゐる

附近には遺書と覺しきものさらになく所持品の如きものも持合せてゐない、男の年齢二十四五、面長にして頭髮長く身長五尺四五寸、洋服はメルトン地で縦の棒縞、折襟、帽子は中折鼠色、黒の短靴、鞣革の手袋等身に纏つてゐる、女は年齢二十一二歳中女斷髪で稍丸顔、着物は人絹銘の花模樣極めて大柄一見してカフエーの女給らしきタイプ

檢證も一通り終つて同地村民の應援を得て下山させ更に馬車を得て熊岳城警察に引取り八方に手配した

〇〇旅館を尋ねて見ると今月の八日に男女連れで來熊三日間投宿し八日朝十一時頃綺麗に勘定を濟まし熊岳城の名山たる青龍山を見たいといつて宿の人に聞き出掛けたさうだが或ひはその人ではなからうかと推される宿帳には

男大連若代町二六五　森田茂盛　二十七歳
女鹿兒島縣上園五八　絹江　二十二歳

と記されてあつたので直ぐ大連警察より大連に照會したが全然不明との返電あり〇〇旅館では僞名をしたものと見られてゐる

# 肉親の血を求めて 歳末に泣く二少年
## 奉天に氣の毒な兄弟

【奉天】押し寄せ來る正月を讃美するかの如く、慌たゞしい師走の風に躍る門松が早街頭に現れては威勢のいゝ餅屋さんの掛聲に人々は浮かれ「後幾つ寢たらお正月？」「そうれ五ツよ」可憐な幼兒のさゝやきすらいと朗かな今日この頃なれど世の無情にさいなまれて行く人々が、これ等幸福な人達の影で泣いてゐるのだ、生みの二親に捨てられ、滿人夫婦を父とし母とし、生きとし生き延びて行く哀れな邦人少年、この野田兄弟の小さな胸に秘めたる悲しみの哀話——兄は千代田小學校三年生で員利（一二）さんと言ひ、弟は明けて七ツの鐵夫さん、しかもこの二人の兄弟は、母を同じうして父を異にする義兄弟なのだ、其處にはしなくも醸される涙の過去——員利さんが五ツの秋賴る父親は凋落の風に散る木の葉の如く現世より去りて後に殘された母子二人は生活の糧を求めて郷里を後に遙々滿洲へ——そして松島町の某料理店に働いてゐる中、懇意になつた松田雄一と同棲したのが六つの春——それ以來第二の父は員利さんを虐待してゐたが、その年の暮、父を異にする母の子として新らしい弟鐵夫さんが産れたのである、その爲め母はやつれ、父の慾望は母より去つて若い女へと走り、果ては母子三人を捨てゝ家出

又しても母シズエさんの上に、一家の生計がふりかゝつて來たのだそして街頭に出て働くことになつたのであるが、二人の幼兒を抱へてゐては思ふやうに働けず、其處でかねて知り合の仲だつた青葉町六番地居住の滿人孫玉崑氏に二兒を託して夜の酒場へ、身は二兒のパンを求めて出たのであるが、酒場は情痴と淪落の坩堝だ、二兒を養はねばならぬといふ、悲壯な意志も酒場の空氣に彼女の心は抹消され、流れ行く年と共にアバズレ化したのである、それは本年の三月、つい魔に誘はれて子供には「熱河に行つて澤山お金をもうけて來るから、それまで待つておいで」と無情の一語を殘して若い男と戀の失踪を企てたのである

廣い世界に唯一人賴りに思ふ母は戀に狂つて最愛の吾子を捨てゝ去つたのだ、後に殘されし二人の孤兒は今どうして暮してゐる五年前よりあづけられた滿人の孫さん夫婦を父と思ひ母と思ひ無情の二タ親を怨まずして、尚も皮下三寸に流れる血潮を求めて泣いてゐるのだ、そして二十五日警察を尋ねて母の捜査願を提出した

# 母は歸らねど 子は慕ふ涙
## 哀れ、日本語を知らぬ鐵坊

（寫眞は孫夫妻と可哀想な兄弟）

【奉天】この哀れな兄弟を青葉町六番地大丸アパートの孫さん方に訪れると太陽の光りも入らないスラム街の一隅に、四疊半よりも狹い一室で今起きたばつかりの時だつた、年上の員利さんは

私の父さんは死にましたが、鐵ちやんのお父さんは今何處に居るのか知れません、それにお母さんは、熱河に行くと言つて出て行つたきり、まだ歸へつて來ず心配なので二十五日奉天警察署に捜査願を出しました、今日は外も溫かいやうだが、をぢさん熱河つて寒いところ……

と言つて母の身を案ずるかの如くはるか西の空を仰ぐ眼には涙だ、母を慕ふ子としての純情の涙か、ニブイ光線に光つてゐる

あの鐵ちやんは、日本語を知らないのよ、唯、お母さん、兄さんとしか言へないの、生れてからすぐ孫父さんに養はれて來たものだから……

日本の少年にして日本語を解せない子供鐵坊——これは誰の罪か、父の罪か、母の罪か將亦社會の罪か——世の人の子の親達よ、この哀れな少年をこの儘放任してゐていゝのか

# 奉天の賴母子講界 波瀾の渦巻く
## 更に混沌狀態續く

【奉天】奉天における無許可賴母子は波瀾に波瀾を重ねてゐるがこれが救濟策として救濟聯合會が組織され本多辯護士、江藤、伊藤、尾形、小森、堤某等委員となり各方面と連絡をとり救濟策としてシンヂケートの組織に努力してゐるが奉天中産階級間においてはこのシンヂケート組織に集らず徒らに聲ばかり大にして一向その實はあがらずかへつて聲が大なるため、一部人士間には聲につられて自力更生を無視してゐる者あり、相も變らぬ混頓狀態を繼續してゐる、而して各講長間にはこの委員會の言動を信じ自己の保全をはかる事にのみ汲々として居り犧牲心とては更になく某々氏等の笛に躍つてゐる有樣である二十五日溫泉ホテルに於いて某氏が叫んだ

講長が自覺せずして無暗に關係當局の救濟を一途に賴るのは間違ひである

と指摘してゐるが、只賴母子の整理には各講長の自覺が唯一の手段として殘されてゐるのみである、更に二十五日の賴母子救濟委員會に於いて

賴母子に關聯した犯罪事件があるのを警察では握り潰してゐる

とのプリントに對し谷口保安主任は

決してそんな事はない又犯罪といふが無許可賴母子それ自體が違反行爲である、これを全部處分したら一體どうなるか、どうも最近策動する者が多くて困る救濟よし併し策動は不可である

と語つてをり某有力者も

これは奉天財界の破綻ではない特殊階級の破綻である

と語つてゐる、只要するにこの解決には策動が排され、講長の自覺のみが殘された道とされてゐる

# 菱刈大將凱旋

新京驛頭、鄭首相と別れの挨拶をする將軍

# 吉林の電燈料 値下げ斷行
## 電燈廠の不合理一掃

【吉林】舊吉林電燈廠が破格の値下げだと鼻高々で威張つて居た現在の電燈料金が一キロ二十八錢で之を新滿洲電業會社の平均料金十六、七錢に比較して約五割高となり需要者の度重なる値下げ運動も馬の耳に念佛、遂に其のまゝで滿洲電業會社吉林支店に引繼いで了つた、今度の電業會社は果して之を如何に始末するか無くてはならない、夜の[illegible]が今日迄我慢して來たのだが之が若し食糧品又は他の品物だつたらどう解決するか、一キロ十六、七錢で採算の取れるものを何故に二十八錢も徴收せねばならぬかと之に對して電業會社吉林支店では斯く答へて居る

現在の吉林總電燈數は四萬五千九百八十二燈動力三千一馬力であるが之を過去の如き經營方針で行くなら三十錢取つても收支償はない、何故なら過去電燈廠の從業員特に首腦者は一家揃つて從業員であり仕事はしなくとも給料は取りそして生活費の總てが公金で以て支拂はれて居る引繼ぎを終つた現在でさへ席がなくて給料を取つて居るものが相當多數に上つて居り、これは當然年内には出來ないが新年になれば一大整理を行はなければならない、又電燈料も全滿中一番高價なることは充分に存じて居り、依つて近く本社に出頭し出來得る事なら一月一日より二十錢乃至は二十二三錢位に値下げしたいと思つて居り、何分吉林は遠隔の地なるがため送電費が相當掛るので仲々思ふ樣にはゆかないが我々は充分の努力をして來年中には需要者の滿足を得るだけの整備と要求に應ずるだけの事をしたらと思つて居る少くとも二、三年中には全滿共平均額にする覺悟である

# 遼河特産

【營口】遼河下航民船積載穀類は奥地沿岸の治安の回復に伴ひ意外に糧石出廻るものと期待されて居つたが本年六、七、八の三ケ月に亘り降雨量多く豫期に反したが九、十、十一月に之れを盛返し加へて全滿に不作の聲傳はり穀物先値高を見越して搬出し來り十一月中を以て終航としたが本年三月より十一月中下航戎克の隻數四千七百七十六隻之れに搭載し來つた穀類三十八萬三千四百六十四石で、之れを國幣として各縣に持歸つた金額三百二十四萬八千九百三十八元四角で、この縣別が海城、盤山、臺安、遼陽、遼中、新民、昌圖、法庫、康平、營口、外一縣で夫々三百二十四萬餘元を分布された

# 運轉手學科試驗

【營口】營口警察署では二十六日午前十時より三階講堂に於て自動車運轉手學科試驗を擧行、曩に實地試驗にパスした邦人八名、鮮人二名、計十名受驗して正午終了

# 東北と皇軍に 松・竹・梅を賣つて 純情の姉妹が獻金
## 鬼隊長感激の涙を…

【瓦房店】歳末に際して溫かい同情金を贈つた二少女の美談——瓦房店機關區機關士吉田吉次氏の二女芙美子さん（一〇）三女靜子さん（九）の姉妹は過般學校で東北凶作地の話を聞きお母さんの造つたお正月松竹梅の造花を携へ學校から歸ると日暮まで酷寒と戰ひながら賣り歩き、日曜日には遠く沿線中間驛萬家嶺まで出かけ、賣上金二十一圓二十六錢を得、半額は〃東北冷害地義捐金に贈つて下さい〃と瓦房店警察署に届け、半額は〃生命線を護る忠勇將士に對しせめて年賀郵便ハガキ一枚宛でも買つて下さい〃と瓦房店〇〇隊の兵隊さんに送つた鬼隊長岩崎〇隊長はこの純情のこもつた愛國心の發露に對し、涙を泛べ感謝の意を表したが協議の上何か記念となる意義ある方面に支出したいと語つた（寫眞は吉田芙美子さん靜子さんの姉妹）

# 賞與金を割き 貧農一家を救ふ
## 鮮滿融和の魁・金巡捕

【瓦房店】松樹附屬地正隆街十八番地に居住する張豐年（四七）は日傭業を營み僅かの收入を得て十三歳を頭に四人の子供を養つてゐたが一家の杖とも柱とも賴むべき主人張が病魔に襲はれ貯へのある身でもなく忽ち其日の生活に困窮し、家財を賣り拂ひ高粱、粟等の御粥をすゝつて其の日の糊口を凌いでゐたが、折柄松樹警察派出所朝鮮人巡捕金炳龍氏が戶口調査にいつて見ると飢と寒さに震へアンペラ一枚もなく土間の上に慄へてゐる悲慘な境遇に痛く同情し薄給の中から賞與金の一部を割いて金一封を與へた、此の隱れた金巡捕の善行を耳にした大石部長は末光警察署長に表彰方を申請したが人情紙よりも薄い今の世にこれは亦歳末に對して鮮滿親善融和の麗しいさきがけである

# 學齡兒童の受付
## 一月七日から開始

【奉天】奉天地方事務所では明年度における學齡兒童の入學手續きを來る一月七日から開始することゝなつたが當該兒童は遲滯なく手續きをされたいと

一、昭和十年度において學齡に達する兒童は昭和三年四月二日より昭和四年四月一日までの間に出生せる兒童

二、提出書類
1所定の入學願書（用紙は地方事務所公費係に於て交付す）
2戶籍謄本又は抄本（年月の新舊を問はず必ずその兒童の記載しあるもの）

三、書類提出期間　昭和十年一月七日より同一月三十一日迄

四、注意事項
1戶籍謄本又は抄本の添付なきものは受付を斷ること
2願書用紙入用のものは必ず現住所を申述べられること

# 熱河省境掃匪部隊 各所で大激戰
## 更に第三期討伐戰へ

【錦州】省境の治安確立に出動した伊田〇〇團は第一期歪脖山、第二期柏山方面の肅正なり更に二十五日より第三期〇〇方面の討匪を開始したがこれより先き秋山部隊の若山部隊は廿一日早朝再度二軍戸溝を急襲し優勢なる王振匪と衝突し激戰約二時間の後これを東方山地に撃退した敵の遺棄死體約五十我軍に損害なし、一方西土默特王府方面に出動した、飯村部隊は二十一日午前九時より燒鍋營子附近で匪首藍天林、吳林、小隊子、二生子、徐三省等の率ゆる約七百の合流匪と遭遇し二時間半にわたる激戰の後敵に十五名の死傷を與へてさしめやうやくこれを四散せしめたが同日午後三時に到り敵匪は再び逆襲し來り飯村部隊を包圍攻撃したので直に應戰し更に二時間餘の激戰でこれを撃退したがこの戰鬪で敵の損害約四十名、我軍に死傷なく士氣ますく旺盛である

# 蓄音機の減税を 當局に請願
## 奉天の同業者提出

【奉天】過般の滿洲國關稅改正で蓄音機、レコードその他附屬品輸入稅率は從來の從價二割五分の据置として何等改訂を見てゐないがこれに對し奉天地方蓄音機商組合では當局が蓄音機を目してピアノその他高級樂器と同一視し奢侈品と認定せるためで、文化の進展と共に蓄音機は各方面に行亘り文化の普及家庭慰安に缺かざる貢獻をなし今日では生活必需品に欠ぐ日用品となつてをり、これに從來通り高率課稅を爲すとは滿洲國文化の進展を阻止し民衆をして不健全な娛樂に走らしめるのみか日滿同業者の發展を阻止することは大なりとの理由によりこの程組合長名で蓄音機及びレコードに對しては本稅一割附加稅二分五厘、附屬品は本稅七分五厘附加稅二分五厘に低減方を滿洲國財政部大臣宛陳情した

# 屋上待合室 三十日から使用
## 便利になる奉天驛

【奉天】工費二十四萬圓を投じて本年六月起工し建築中であつた奉天驛屋上待合室は今回愈々完成したので來る三十日から之を使用することゝなつた、同待合室は優に五千人[illegible]所も設けられた堂々たるもので乘車する旅客は[illegible]の出札係で乘車券を求め大連方面行きのものを除く新京、撫順、山海關、吉林方面行きのものは同待合所で列車の發車前改札口より夫々ホームに降りることゝなつてゐるため從來の如くホームにたたずみ寒さに震へるやうなことはなくなつた譯である

# 忠魂碑

【錦州】溝幇子では、溝幇子神社境内に事變戰歿者の忠魂碑を建設すべく工事中であつたがこの程やうやく竣工したので二十五日午前十一時より各方面を招待し盛大な除幕式を擧行した

# 賭博を嚴禁

【奉天】滿洲國側警察署では一兩日前ボーナスの支給をなし既に全般的配給を終了したが一時に澤山の金が手に入つたので警士たちの中には舊弊を脱しきれず未だに賭博をなす者もある模樣で、瀋陽警察廳では綱紀肅正に嚴しき折柄、かゝる行爲は絶對に罷りならぬとボーナス氣分に浮かれる警士たちに廿六日各署を通じ警告を發した

# 營盤驛で衝突

【奉天】二十六日午前七時四十二分頃奉吉線營盤驛に於て第五百二十一號輕油動車が進入し來つたがポイント不定着のため貨物第一番線に進入したので同線にあつた貨車千三號に衝突し兩車輛とも破損した、之が輕油動車に乘車してゐた滿人五名負傷したのでそのうち二名は五百三號列車で皇姑屯病院に送り加療中である

# 各地人事

▲林博太郎氏（滿鐵總裁）廿六日午前三時の急行にて過奉新京へ
▲山崎元幹氏（滿鐵理事）同上
▲江崎滿鐵貨物課長　廿五日來奉
▲入江正太郎氏（電業會社副社長）同上
▲土肥原賢二少將（奉天特務機關長）同赴連
▲四方長治氏（滿鐵旅館係主任）同多數見送りを受け赴任
▲香取眞策氏（市場會社專務）同大連より歸奉
▲金丸富八郎氏（奉取信專務）同上
▲渡邊守成氏（組合教會）廿五日四平街へ廿六日歸奉
▲宇佐美喬爾氏（滿鐵々道部旅客課長）廿六日ひかりにて新京より來奉
▲清水中將（〇〇司令官）廿六日遼陽より來奉
▲伊澤道雄氏（總局次長）廿六日夜新京へ
▲佐藤晴雄氏（總局文書課長）廿六日大連へ
▲大里甚三郎氏（總局人事課長）廿七日ひかりにて歸奉の答

# 豪農の息子を誘拐
## 本溪湖の坑夫に住み込ませて 實家に脅迫狀を送る

【奉天】遼陽柳條寨居住農業金萬慶（二三）は本年六月下旬飄然家出し爾來行方不明となり今日まで所在皆目判明しなかつたが、最近に至り金は奉天を經て目下本溪湖で採炭坑夫になつてゐることを聞き、金の所在調査方を瀋陽警察廳に願出てたので、同廳では各地警察署と連絡、捜査中のところ、金は本年六月下旬煙臺驛で河北省生れ赫成德（二五）なる者に誘拐された事實あり赫を捜査中であつたが廿六日奉天城内に潜伏中の同人を逮捕目下瀋陽警察廳に留置取調中であるが赫は金が豪農の息子であるところから之を物にせんとして、言葉巧みに金を連れ出し、奉天に滯在後本溪湖採炭所に坑夫として住み込ませ、一方金の實家に脅迫狀を再三送つてゐたが遂ひに目的を達せず逮捕されたものである、なほ金は半歳振りに救出され實家に護送された

# 奉天傳染病院 移轉を開始

【奉天】奉天傳染病院は煖房、水道、電氣等内部の設備のため移轉が遅れてゐたが、全部完成したので一先づ丸目事務員外の事務引繼を二十七日午前十時から同病院にて行うた、同病院主任遠藤氏外四十名は來る一月十日移轉を了しこれと共に新傳染病患者を收容するが現在傳染病棟の患者も漸次同病院に移す筈である、尚は傳染病を徹底的に防止するため同病院の患者面會並に附添人を協議の上決定したので從來の如く勝手に面會は出來ないことゝなつた

# 日語は就職の神
## 新京路局の滿人採用

【吉林】新京鐵路局管内の本年度滿人從業員採用豫定人員は總計一千六百五十名にしてこれを新京、吉林、圖們の三ケ所で採用する事となつて居るが目下新正を目睫に控へ更に舊正も遠からずかてゝ加へて本年は農村の疲弊極度に達し失業者の洪水をなして居る折柄此の鐵路局の從業員募集は闇に光を與へた如く失業してその日の生活に喘ぐ命の親とも言ふべく現在迄吉林の應募者は實に六百五十二名に達し此の中には完全な日語を解する者が約百五十名もあるといふ而して鐵路局の採用規定は半年間臨時採用で半年後本採用する事となつて居るが本人の成績に依つては直に本採用となす事になつて居る、尚特に日語を解する者は特別に採用する事となつて居る模樣で事變以來滿人間に謳はれた「日語は就職の神なり」の言葉は茲で立派に事實化し今は何處迄も日語萬能の世である事を物語つて居る

# 飼料が買へず 豚を賣る貧農

【營口】高粱昂騰に依る一般民の窮狀は屢報の通りであるが營口縣下では元來地味の關係上棉花大豆等を栽培し高粱の產額は僅少で農民の大部分は縣外より仰ぎ居る狀態であつた爲め今回の昂騰は彼等の實生活に影響するところ他縣に比べ甚大で、農民の困窮程度も相當深刻なものがあり、又高粱昂騰に伴ひ豚の飼料たる高粱粕の價も一斗六角に昇騰したので豚一頭の飼料二十錢を要する現時に推して飼料購入費すら事缺くこと多くこれがため近來飼育中の豚を賣却するもの激增し豚肉市場に氾濫し値段の下落は高粱と反比例し實に慘めな狀態に立至つてゐると

# 五人組竊盜
## 何れも執行猶豫

【錦州】今秋九月廿七日熱河省建平縣四家子農業胡景安方に侵入し大洋一千二十九元四毛を強奪した原籍靜岡縣駿東郡原里村當時建平縣天義滿鐵傭人芹澤林平（二七）および原籍福島縣大沼郡川口村、當時建平縣葉柏壽滿鐵傭人黑田昇（二四）原籍福岡縣門司市當時平泉縣天義滿鐵傭人植本一雄（二五）原籍廣島縣廣島市宇品町當時建平縣葉柏壽滿鐵傭人中村正弘（二六）原籍鹿兒島縣肝屬郡鹿谷村當時建平縣葉柏壽滿鐵傭人藤島良武（二八）の五名にかゝる強盜事件は錦州領事館において審理中であつたが桝井司法領事ならびに宇井檢事事務取扱の實地檢證により強盜の事實は解消し單なる竊盜罪として二十四日最後の公判を開廷した結果芹澤は懲役二年五ケ年の執行猶豫、黑田、植本、中村、藤島の四名は各懲役一年六ケ月、四ケ年間執行猶豫の判決を言ひ渡され同日夕方いづれも嚴戒の身柄を放還された

# 本年度の滿洲五傑（三）

## ―發表された滿洲陸上競技界記錄―

### 千五百米（五傑平均記錄　四分二一秒二三）（昨年度平均記錄　四分二六秒三四）

| 順位 | 記錄 | 氏名 | 所屬 | 場所 | 會名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 四分六秒八(新) | 濱田　常盛 | 大連ア | 甲子園 | 日本選手權 |
| 2 | 四分二〇秒四 | 大藪　寬一 | 大連ア | 大連 | 日米豫選會 |
| 3 | 四分二一秒二 | 森福　忠友 | 育成 | 甲子園 | 日本中等校 |
| 4 | 四分四〇秒七 | 渡邊　逸 | 大連ア | 大連 | 州內選手權 |
| 5 | 四分四二秒〇 | 樋口三五郎 | 大連ア | 奉天 | 北斗・Y・E・C撫順對抗 |

（從來滿洲記錄四分九秒濱田常盛）

老雄濱田君の活躍に依り秋の日本選手權大會に於て四年連續優勝の榮冠を獲得して王座を死守することが出來たが、後續者少なきため記錄上のナンバー・ワンたり得なかつたことはかへすぐも殘念である。二位の大藪君は千五百米一本で精進せられたが、家事の都合上練習意の如くならず、濱田君に肉薄し得なかつたことは氣の毒であつた。五傑中異彩を放つて居るのは第三位の森福君で、夏の全國中等學校大會に單身出場し堂々二種目に優勝し、その未來を囑望されて來シーズンの活躍が期待されて居る。

### 五千米（五傑平均記錄　一六分四五秒五二）（昨年度平均記錄　一六分四〇秒一）

| 順位 | 記錄 | 氏名 | 所屬 | 場所 | 會名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 一六分五秒六 | 濱田　常盛 | 大連ア | 大連 | 日米對抗戰 |
| 2 | 一六分四三秒八 | 大藪　寬一 | 大連ア | 大連 | 對京都帝大 |
| 3 | 一六分五二秒〇 | 森福　忠友 | 育成 | 甲子園 | 日本中等校 |
| 4 | 一六分五三秒六 | 志水　政市 | 大連ア | 大連 | 州內外對抗 |
| 5 | 一七分一二秒六 | 八重樫桑太郎 | 大連ア | 大連 | 日米豫選會 |

（滿洲記錄一五分四六秒永谷壽一）

期待されて居た權君が、シーズン當初に病に斃れたため、また昨年同樣の不振で、昭和二年永谷君に依つて作られた滿洲記錄に遠く及ばざるの狀態である。然しながら昨年度シーズン不振の志水君も亦權君の病も漸く回復し加ふるに新進森福の出現あり、來シーズンは必ずやこれ等三者に依り五千、一萬の記錄が更新せらるゝであらうことを期待する。

### 百十米障碍（五傑平均記錄　一六秒四〇）（昨年度平均記錄　一六秒七）

| 順位 | 記錄 | 氏名 | 所屬 | 場所 | 會名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 一五秒五 | 米津　午郎 | 撫順 | 上井草 | 對東京文大 |
| 2 | 一六秒二 | 山田　俊男 | 奉天 | 奉天 | 奉天內對抗 |
| 3 | 一六秒三 | 中村　秀雄 | 奉天 | 奉天 | 奉天內對抗 |
| 4 | 一六秒七 | 武內　友章 | 大連ア | 大連 | 州內選手權 |
| 5 | 一七秒三 | 林不二太郎 | 工大 | 奉天 | 學生選手權 |

### 四百米障碍（五傑平均記錄　五九秒五〇）（昨年度平均記錄　一分一秒五二）

| 順位 | 記錄 | 氏名 | 所屬 | 場所 | 會名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 五五秒六(新) | 米津　午郎 | 撫順 | 甲子園 | 日本選手權 |
| 2 | 五七秒一(新) | 山田　俊男 | 奉天 | 甲子園 | 日本選手權 |
| 3 | 五八秒九 | 松本　庸一 | 大連ア | 大連 | 州內選手權 |
| 4 | 一分〇秒五 | 武內　友章 | 大連ア | 大連 | 州內外對抗 |
| 5 | 一分五秒四 | 大塚　莞爾 | 大連ア | 大連 | 州內選手權 |

シーズン當初より元氣いつぱいの米津君は、八月十一日の對京都帝大戰に五六秒八を以て昭和四年これまた對京都帝大戰に於て柏木賓丸君が作つた五七秒六の滿洲記錄を塗り換へたが、この餘勢を驅つて十月二十一日の日本選手權大會の第一豫選に五六秒四に更進し、續いて決勝戰に於て立命館大學の市原君と肩々相摩すの大熱戰を演じ觀衆を總立にせしめたが惜くも胸一つの差で敗れた。然しながらその記錄は日本十傑中、マニラの極東大會に於て市原君が作つた五五秒一の最高記錄に次ぐものであつた。雪辱の意氣に燃ゆる同君の明年度の活躍こそ大いに期待するものがある。第二位の山田君もまた日本選手權大會の第一豫選に於て滿洲記錄を更進せしめたが、同君のけふあるは不斷の練習のたまものであらう。（つゞく）

# ラヂオ　廿八日

## 新京百キロ（MTCY五六〇KC）（午後六時―同十時迄）

六・〇〇（東京より）ニュース
六・二〇　政府公報（滿語）
六・三〇（東京より）講演「本年の國際情勢の回顧と我國民の覺悟」法學博士松田道一
七・〇〇（大阪より）浪花節「法廷に咲く花」天光軒滿月
七・三〇（東京より）ジャズ「もう一杯」（他五曲）テイト・ニュウ・タンゴーアンサンブル
七・五五（東京より）連續講談（第二席）「次郎長外傳＝安倍川の血煙」神田伯龍
八・三〇　時報、ニュース
八・四五（ハルビンより）國民の時間「提倡國民責任心以樹立民族精神增高國際地位」（滿語）北滿鐵路總辦李紹庚
九・一五　ニュース、番組豫告（滿語）
九・三〇　演藝「虹霓關」（滿語）艷春院佩芝
九・五〇　ニュース（英語）
一〇・〇〇（ハルビンより）北滿の時間

## 大連（JQAK 六五〇KC）

### 午前の部

六・三〇　ラヂオ體操
七・〇〇　各地氣溫通報、ラヂオ體操
八・三〇（東京より）經濟市況
九・四〇　經濟市況
一〇・〇〇（奉天より）料理獻立
一〇・四〇　經濟市況、公設市場値段

### 午後の部

一二・〇〇　時報、經濟市況、ニュース・レコード
一・〇〇（新京より）滿洲音樂
二・〇〇　經濟市況
二・五〇（東京より）經濟市況
三・三〇　經濟市況、ニュース
五・〇〇（東京より）子供の時間―お話「スピード物語」楠木卯馬◇コドモのシンブン

## 奉天（MTBY 八九〇KC）

六・〇〇　ニュース、告知事項、職業紹介事項
六・三〇―八・三〇迄新京百キロと同じ
八・三〇　時報、ニュース、告知事項、氣象通報、明日の番組のおしらせ
八・五〇　長唄「廓丹前」唄杵屋勝長、照若、三味線杵屋和壽々引續き　尺八岡田二郎
滿洲音樂（レコード）

### 午前の部

六・五〇（東京より）ラヂオ體操
七・一〇（新京より）ラヂオ體操（日語）
八・三〇（東京より）經濟市況（滿語）
八・四五　天氣實況（日滿語）
一〇・〇〇　料理獻立「正月のお料理」今井桂發表
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一〇・五九（東京より）時報
一一・四〇（東京より）ニュース
一一・五九　時報（滿語）

### 午後の部

〇・〇五　經濟市況（日滿語）
〇・三〇　ニュース
一・〇〇（新京より）演藝（滿語）
二・五〇（東京より）經濟市況、ニュース
三・三〇　經濟市況（日滿語）
四・〇〇　公示事項、ニュース（日語）
四・二〇（新京より）滿語講座―高宮盛逸
四・四〇　日語講座―近藤喜助＝註＝右二講座は本日を以て年內は休講、新年の開講は一月七日の豫定
五・〇〇（ハルビンより）子供の時間
五・三〇　ニュース、番組豫告、（滿語）
六・〇〇（東京より）全國ニュース
六・三〇―八・三〇迄新京百キロと同じ
八・三〇　時報、ニュース、天氣實況、番組豫告
八・四五　國民の時間（新京百キロと同じ）
九・一五　滿洲音樂（レコード）（滿語）
九・三〇（新京より）演藝「虹霓關」（滿語）艷春院佩芝
九・五〇　天氣實況、番組豫告（滿語）

## 新京（MTCY 五七〇KC）

### 午前の部

六・五〇（東京より）ラヂオ體操
七・一〇　ラヂオ體操（滿語）
八・三〇（東京より）經濟市況（日滿語）
八・四五（奉天より）天氣實況
九・三〇　演藝（レコード）（滿語）
一〇・〇〇（奉天より）料理獻立（日語）
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一〇・五九（東京より）時報
一一・〇一　經濟市況
一一・三〇　ニュース（滿語）

### 午後の部

一二・〇〇　經濟市況
一・一五　ニュース（日語）
一・〇〇　演藝「打魚殺家」（滿語）艷春院金子
二・〇〇（大連より）經濟市況
二・二〇　成人講座「孔孟學說和王道國家的印證」（滿語）文教部編關審官文璞
二・四〇　日用品値段（日滿語）
二・五〇（東京より）經濟市況、ニュース
三・二〇　ニュース（日語）
三・三〇（大連より）經濟市況（日語）
四・〇〇　ニュース（鮮語）
四・一〇　ニュース（滿語）
四・二〇　滿語講座、高宮盛逸
四・四〇（奉天より）日語講座、近藤喜助
五・〇〇（ハルビンより）子供の時間
五・三〇　氣象通報、番組豫告（日語）
五・三五　氣象通報、番組豫告（滿語）

## 京城（JODK 九〇〇KC）

### 午前の部

六・五〇（東京より）ラヂオ體操
九・〇〇　氣象通報
一〇・二五　歲末情景（その一）京城黃金町二丁目―朝鮮取引所より中繼―
一一・〇〇　時報、今日のプログラム發表
一一・〇五　マンドリン合奏、京城マンドリン合奏團、指揮清水五彥
一一・四〇　ニュース

### 午後の部

一・〇〇　家庭講座「婦人界の回顧」津田節子
一・五〇　歲末情景（其の二）―京城古市町京城驛より中繼―
三・〇〇　ニュース、職業紹介事項
五・〇〇　お話（大連と同じ）
五・二〇（東京より）コドモの新聞、村岡花子
五・二五（東京より）趣味講座「年忘れ漫談」森曉紅
六・〇〇　ニュース、天氣豫報
六・三〇―八・三〇迄新京百キロと同じ
八・三〇　時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニュース再放送

## 準決勝戰の一　トーナメント式　新進棋戰【其十】

平手　先　四段　加藤治郎
　　　　　四段　梶一郎

【圖は三三王迄の局面】

▲四二銀打　△二五金
▲四三步　△五五成銀
▲四六角　△三五步
▲同銀　△三一飛成
　△四四成銀

迄百四十九手にて加藤氏の勝

▲梶氏持駒　金步步步步步
△加藤氏持駒　金步步步

### 總評　土居八段

□前途有望の兩青年は、本局に於ては特に意義あつて、敗けられぬ棋戰丈けに心血をそゝぎ顧る力の入つた好局である。扨て梶君は相懸りを避けて變化に出たが、持久戰型となつては自營の形が惡い爲に強く戰ふことが困難である。何れの方面でも良いから乘じる機會を捉へる必要がある。

□加藤君が最初五八金の早計策を演じた際、梶君は素早く居飛車の方針を採らば面白い局形となるを逸し中飛車戰を用ひたのは確かに拙策である。然し加藤君が中央の防備に重きを置いた際、更に八筋へ飛車へ飛車を轉換すべきが至當なるを六四步以下五、六兩筋より仕掛けの工夫を急ぎ過ぎ、却つて攻勢に支障を生じ且つ自營益々亂れて指し憎い局勢を招いた。

□中盤以後の形勢を窺ふに、加藤君は自分の得意とする穩健策を用ひて自營を嚴重にし、徐ろに進展を圖つたのは安全な方法である。

□その時梶君は七五角と指し徐ろに六筋を狙へば面白い形となるを六五步打指し過ぎの爲、却つて敵に六筋の位を取られ形勢不利に陷つた、以下實力を發揮して、形勢恢復に努力したが、加藤君が少しも誤らない爲に次第に悲境に陷つたのは、即ち六五步打が敗因である。

### 觀戰記　七段　萩原淳

◇大勢已に決す

加藤氏の二五金打によつて、大勢は已に決した。

梶氏の四二銀打で六七桂と成つては、同飛成で三七馬に當つて見込みがないところから、殘念ながらの四二銀打ちであらう。

最後に四四成銀で、同步なら三四金、四二玉、四三銀で、次に五二飛成で詰となる。

## 日本棋院　大手合戰譜【廿五局】

先相先先番三段　四段　島村利博
　　　　　　　　　　　村田整弘

制限時間各八時間（但し一分以內は切捨）

●一五一そ十　○一五二そ九
●一五五そ十二　○一五六よ九
●一五九る十一　○一六〇ぬ十一
●一六三ほ十九(22分)　○一六四劫トル
●一六七劫トル　○一六八は十九
○五六劫トル●六一同○六八同○七〇劫ツグ

●一五三つ十一(23分)　○一五四つ十二
●一五七か八(3分)　○一五八劫トル
●一六一劫トル　○一六二に十六(1分)
●一六五ぬ十二　○一六六三目ツグ
●一六九ろ十九　○一七〇劫トル

—【8】—

所要時間累計（白 四時三十七分）（黑 六時四十三分）

### 對局者の言葉　（白）百五

十二の時には分らない形勢かと思つてゐましたが、こんなむつかしい事を打たなくても（つ九）にハネツイてゐて惡くないやうでしたが劫材の關係からです

（黑）百五十九は一目損なのですが、（黑）百六十三をきかずに左邊を拔いても、右下隅を取られては足りません、それに此處をきいて居ると（ほ十四）の出に續く劫材が澤山出來ますので―

### 戰の跡　◇白百五十二のツギは、棋勢の優劣に拘はらず試みて見たい筋であるが、黑百五十三と嚴しく劫を挑まれては此處が勝負になつて來た。白としては穩やかに（つ十）にハネツイてから（ほ二〇）の下りを利かせた上（ろ十八）に二子を取つてゐれば敗はなかつたらしい

## 名家聯珠戰（六局の六）

先番　二段　高橋光次
後手　五段　岡部靜石

### 講評　鹿南　水人

白の三十四は、流石に巧い手。これが本局白勝は明確となつた。黑の三十五の防珠は何處も同じ。以下白四十までの打廻しは間然する處のない見事なものであつた。

### 解說　六段　川口直樹

流石に波瀾を極めた本局も遂に岡部五段の鋭鋒新進高橋二段の挽回を許さず終始壓倒的優勢を持續しつゝ、同五段の後手勝に終つた。即ち、白四十の後（甲）の四三勝。本局は最初黑七珠を誤つた爲に、局勢頗る陰を帶びて來たのであるが、それでも、十七珠に至り、當然力戰に入る可き機會に惠まれながら餘りにも萎縮した應手の結果、十八、二十となり、白の二十二以降はもう全く白の獨り舞臺で、黑としては少しの畫策をなす術もなく、そのまゝ白の爲に押し切られたものので、高橋氏性來の實力を發する機會の無い、惜しい一局であつた。次からは、本紙戰も（滿日聯珠戰）と改題せられるのであつて、目下各有段者に依つて盛んに對局されてゐるのであります。乞ふ、御期待を―。

## ラヂオ相談

### 晝間はさつぱりきこえません

【問】旅順です。夜は良く聽えますが、晝間は少しも聽えません。設備は四球ナショナル受信機、階下八疊四角に約四十尺のアンテナ、水道叉は地下にアースを裝置して居ます。アンテナの位置が惡いのでせうか御教示下さい。（旅順初心者）

【答】晝間は夜間に比し受信感度が弱いですから聽えないのです。高さ七米水平部一〇米位の屋外空中線を張ると聽える樣になると思ひます。（電々會社・係）

### 新京百キロ明瞭にきかれぬ理由を

【問】新京百キロ放送云々と新聞ラヂオにて知りましたが、仲々に明瞭な音を聞く事が出來ません、まだ京城、內地直接の方が聲も大きく明瞭に聞き得られます。御面倒ですがその理由など？小生の機械はビーターバン五球式です。（新米生）

【答】受信機は一般に波長の長い放送局を受信すると能率が惡い樣になつて居ます。それで新京百キロ放送は實際感度は有るのですが受信機に大きく聞えないのです、それで同調回路のコイルを一〇回位宛捲き足すか、コンデンサーを〇・〇〇〇一位の固定コンデンサーで橋絡すると良く聞える樣になります。（電々會社係）

### 聽取手續とアンテナの張り方は？

【問】（一）ラヂオを聽取しようと思ひますが手續は如何したらいゝでせうか（二）アンテナはどの方向に張るべきでせうか。高さ及び長さは幾ら位でせうか。（大連SS生）

【答】（一）放送局又は近くの電報電話局においでになると許可願の用紙があります。又記入方法も敎へてくれます。（二）アンテナの方向で受信感度に大した影響がある樣なことはありませんが、大體水平部を放送局の方向に向けると感度は良くなります。電車線に近い所では雜音妨害を少なくするため、電車線に直角の方向に張ることが必要です。高さ七米、水平部一〇米位でよいでせう。（電々會社・係）

# なぜ婦人に多い 冷え性は

## 冷え性から起る病氣と手當

婦人の冷え込みは、勿論夏冬を選びませんが、これから寒くなれば一層冷え込みが多くなるのは當然です。なぜ婦人に冷え性が多いかと申しますと、これは幾分生理的にも婦人は皮下脂肪が厚く

**血液** の循環が不活潑になり易い爲でもあるのですが、夏でも冷える樣なのは勿論病的で原因として大體三つの場合が考へられます。

第一は婦人病で、子宮内膜炎から實質炎、喇叭管炎等の爲、下半身の循環障碍を惹起する場合で、第二は卵巣の女性ホルモン分泌が衰退する場合、その結果生殖器管全體が機能不振となり、血液の循環を妨げるのです。

第三は諸種の原因から來る貧血症で、まづ婦人は家庭にあつて運動不足に陷り易く、その爲に消化不良、便秘を起し、造血素の不足や血球細胞の破壊から貧血することが多く、またお產に伴ふ惡性貧血等もあります。

つまり冷え性は右の樣な原因から派生した、一つの枝葉的症狀ですから、その原因をなほさぬ限り幾ら毛糸の腹卷や懷爐で、外部から暖めた所で癒りません。

**放置** すれば障碍は次第に增惡して、內臓疾に生殖器管の痼疾を誘發して、不妊症や妊婦ならば惡阻や流產の原因ともなります。

昔から冷え症の治療には、振出し藥や腰湯などが用ひられますがこれは一種の刺戟療法ですから、度々繰返しては効果が薄くなり、根本療法ではありません。

勿論內部的原因あるものに對しては、醫師の診療を受けなくてはなりませんが、血液增生、榮養補給の方面からの家庭療法としては、ヘーフエ・エンチームを應用した若素(わかもと)を常用するのが簡易で効果的で、しかも經濟的にも僅少の負擔ですみます。

若素(わかもと)は多種の優秀な活性エンチームと、非常に豐富な榮養素とを含み、それらが一つの綜合作用として、消化促進、食慾催進、體力精力增進の著しい効果を發揮しますので、自ら生殖器管の機能をも活潑にし、ホルモンの合成分泌を促し、血液の循環を旺んにするのです。

殊に含有營養素中には、鐵、銅、ビタミン等の造血素をも多分に含んでゐるので若素(わかもと)は他の造血劑で効果の少なかつた惡性貧血にも用ひて見るべきで、また生殖器管の機能が活潑にされて不妊症の婦人が永年望んでゐた子寶を得たといふ樣な例もあります。

### 惡阻と食慾

多少の惡阻は妊婦初期にはつき物ですが、抵抗力が弱いとそれが增惡して、妊娠中絶をしなければならぬ樣になります。

抵抗力の保持には、食慾の增進を圖ることが第一で、この場合インシュリンの注射が多く用ひられますが若素(わかもと)を服用すれば、食慾素と呼ばれる植物性インシュリンを含有する許りでなく、多くのビタミンや、優秀なコロイド榮養素を含んでゐますので、惡阻症狀を輕減し、食慾を增進して、妊婦の榮養を保持する上に、非常に有効であります

# 恐ろしい妊婦の風邪は 多くは榮養の缺陷から

★ ★ ★

妊娠やお產は病氣ではないとはいへ、婦人一生の健康から見れば全く非常時に相當する場合で、平生なら何でもなく終る風邪なども妊婦にとつては仲々の大敵で、咳嗽が永びいたりすると、それ程苦痛とも思へない樣な風邪が

**意外** の流產や早產を招いたりする事があります。それは咳嗽の度每に甚だしい腹壓を來たして、子宮が刺戟壓迫を蒙るからで、もし發熱でも伴ふ樣だと、それこそ母體も胎兒も危險に直面してゐるわけです。

熱が高ければ妊婦でなくとも全身の衰弱から、肺炎や腎臓炎を起したとしますが、殊に妊婦は普通でも腎臓が、胎兒と二人分の排泄を引受けて、重い負擔を蒙つてゐるのですから、發熱すれば障碍を起すのは當然で、かうなると母體の不用な水分や鹽分の排泄が妨げられ、惡阻を增惡したり、顏や手足に浮腫が出來、また頭痛や眩暈を起し、流產や難產の原因となるのみか出產時に痙攣して母子の頓死を招く恐ろしい子癇を起すことも往々にしてあります。

しかも妊娠中は、胎兒に榮養を奪はれるばかりでなく

**末期** になれば異常に膨脹する子宮の爲に胃腸が壓迫され、消化作用が妨げられて、榮養の不足は一層甚だしくなり、母體の抵抗力が衰へるので、風邪許りでなく、結核や心臓病等にも犯され易く、以前からそんな病氣があれば、なほ更惡化しますから、妊婦はまづ胃腸を強化し、榮養を補給して、抵抗力の保持を圖ることが何より肝要です。

榮養といつても、世間に普通考へる樣に、肉や卵の蛋白性のもの許りでなく、却つて灰分や鐵分などの無機物や、ビタミンB・D等が胎兒の發育上多く消費されますが、普通の食品からこれを補ふといふことは、胃腸の働きの不活潑な妊婦にとつては、困難な場合も多いので若素(わかもと)の如く無機物やビタミンを多く含んだ榮養劑で、しかも胃腸を強壯にし食慾を進め、便通を調節する効果を兼ね有する綜合劑を用ひて、榮養の不足を補ふのがいゝのです。

若素(わかもと)の特長は、主として細胞厚形質賦活作用にあるので、即ち肉體の根本單位である所の細胞組織に活力を與へて、すべての機能を一樣に旺盛にするのですから、單に胃腸許りでなく、腎臓、肝臓、副腎、腦、心臓等がいづれも活潑に働く樣になり、含有してゐる廣汎な榮養の吸收と相俟つて、妊娠による障碍を除去し、衰弱疲勞を防止し、自然に感冒を防ぐ許りでなく、惡阻や貧血をも輕減することが出來るので、妊婦にとつては、非常に重寶な藥であります。

若素(わかもと)は錠劑二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓、粉末三十日量一圓六十錢といふ一日量數錢にも充たぬ價廉で東京芝公園大門際、榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇〇番)から頒布され滿洲國でも各藥店で販賣してゐます。

## =療病實話= 妊娠の貧血から 車中で卒倒した私

=愛知 鎌田 靜

只今妊娠九ケ月で御座います。藥を買ひに走るやらで(中略)この前の妊娠末期頃から、時折貧血を起して苦しみましたので、その苦しみを今度はどうかして逃れ度いと(中略)××を飲みましたが駄目です。

七月の始め里の母が病氣だといふ電報を受取つて、驚いて見舞に出かけ(中略)ガソリンカーで滿員で立つてゐましたら、難な氣分になつて(中略)我慢してゐるうちに倒れてしまひました。

大曾根驛まで著いたので、主人に抱へられて下車して、待合室のベンチに寢て帶を解くやらこの騷ぎに驛員の方が來て、水と藥を下さつたので、戴きますと暫くすると大變樂になりました。三十分も經つて、ベンチに腰をかけて見ますと、まだ頭の奥の方が痛むので又橫になつてゐますと、先程の驛員の方が來て、どうですかもう一度おあがりなさいと又下さつたので、戴いて寢てをりますと胸の氣持がよくなつて(中略)驛員の方にお禮を申上て、先刻のお藥はどういふお藥ですとお尋ね致しましたら、「錠劑わかもと」と教へて戴きました。今迄新聞や雜誌で名前は知つてをりましたが一度も服用した事がなかつたので(中略)早速一壜買つてと、主人が驛前の藥店で求めて呉れたのを持つて、次の汽車で(中略)

「錠劑わかもと」を服み始めてから不思議に思つたのは、今迄は三日に一度位しか便通がなかつたのに、每朝ある樣になり、氣分が勝れて、看病で睡眠時間も少いのに母が大分快くなつて歸る迄、八日間一度も貧血を起しませんでした(中略)只今では便通も每日きまつてありますし、貧血も起らないその上、夏のことで妊娠で身體が衰弱して來てゐたのが、此頃氣分が出て三度の御飯もおいしく頂けて喜んで居ります(下略)

# 交通地獄から救ふ新整理規則誕生
## 大連署保安係の草案成り
## 將來は自働整理機も現れる

十年後のグレート大連を目標に常盤橋及び日本橋放射線、浪速町伊勢町十字路、浪速町大山通十字路西廣場、其の他市中中樞の交通整理方法に就ては大連署保安係で計數的基礎の上に立ち研究を進め、又は内地各都市の

### 範
を取り入れるなど種々の角度から整理の完璧を期して大童の調査を續けつゝあつたが、いよ〳〵交通整理規定の新規則の下に、街頭の混雑を防止し血腥い事故を驅逐することゝなつた、同規定は既に大連署保安係で草案成り、近く關東州廳に稟申する筈であるが、案の内容は第四章第十六條によつて成り、同署が内地一流都市に範を垂れ可なり大規模の整理方法を企圖してゐることが窺はれる

近年の如く人口膨脹に急激なる大連市の交通整理には信號整理機の力に俟つ外はなく、現に大連署保安係では十二月中旬から浪速町伊勢町十字路に手動式交通信號機を臨時に設置し、テストを行つてゐるが、これとて過渡的辨法で、今後ますます伸びゆく大大連の交通整理には自動式信號整理機によらねばならぬ大連署で作つた整理規定には

### 既
にこの時代の到來を豫想し、自働式信號機による整理方法まで規定されてゐるので、近き將來にはこの自動式が市中要所々々に設置され大都市としての形態を整へるものと期待されてゐる

陽日出度く相和して昭和十年の初春を迎へる筈である【寫眞ハルビンの中央寺院】

# 帝制謳歌の「サボールの鐘」
## 除夜百八の鐘はハルビンから全滿ファンに放送

●…鬼も笑ふ初春の轍と目まぐるしい大晦日の岐れ目、ボーンと鳴り續いて陰々と響く百八の鐘の音は江戸の情緒を殘した淺草寺の鐘である、この江戸の「除夜の鐘」に對抗し、滿洲らしい除夜の鐘の音を全滿の人に送るべく、種々講究中だつた電々會社では從來大連常安寺から送つた陽性の鐘の音の外に、除夜を送るにふさはしい北都ハルビンはサボール(中央寺院)の鐘の音を、マイクを通じて全滿のラヂオ受信者に放送することになつた

●…サボールの鐘の音こそ今は槿花一朝の夢を追ふに過ぎないが過ぎし日ロシアの帝制華やかなりし頃極東政策の源泉地として當時殷賑を極めたハルビンにカランく〳〵と陽性の音を響かせ、帝制ロシアを謳歌したといふ由緒深い鐘で、本年三月帝制を布き明日の世界へ飛躍せんとする滿洲帝國が康徳二年を迎へんとするに當り意義深い除夜の鐘である

●…大連放送局は用意萬端遺憾なきを期してゐるが、三十一日は午後十一時五十五分より同十二時まで五分間、マイクを通じてこのサボールの鐘を市民の耳に響かせ、續いて元旦の午前零時零分より同五分まで五分間は例年の如く大連常安寺の鐘を市民に送り、陰

# 關東軍將士へ日章旗を贈る
## 駿州學友會の稻葉氏

【東京二十七日發國通】東京市中野區上高田一ノ二〇七駿州學友會附屬寄宿舍監事稻葉駿風氏(五七)は二十七日午後陸軍省を訪れ、日章旗一千二百枚及び武運長久祈念票一千一百本を在滿の關東軍將士に寄贈したいと申出た

氏は富士山麓に生れ毎年數十回登山、山上に於て日の丸の國旗を前にして理論を超越し國民精神の涵養に役立つものがあることを經驗し、此の珍らしい寄贈をなしたもので、當局でも直ちに關東軍へ發送することゝなつた

# 名殘りの視察
## 資源館の岡村將軍

凱旋途上來連した菱刈、岡村兩將軍は二十七日早朝自動車で赴旅、同正午岡村少將は菱刈將軍に先だつて歸連、星乃家において晝食をしたゝめた後、午後二時星乃家を出發、中央試驗所並びに沙河口衞生研究所を視察して同三時半滿洲資源館に到り、約三十分に亘つて同館を視察、同四時星乃家に歸還した

なほ菱刈將軍も同五時旅順より星乃家に歸還した(寫眞は滿洲資源館視察中の岡村將軍)

# 滿鐵社員夫人に呼びかく
## 國防婦人會

大連國防婦人會設立準備會では滿鐵社員夫人連に呼びかける爲め、二十七日午後二時からヤマトホテル應接室に於て長谷部少將を迎へ茶話會を催した

入田副總裁夫人をはじめ各課長級以上の奧さん十六名參集、長谷部少將より國防婦人會の趣旨および大連支部設立の必要に關する說明があつた後、座談的に色々意見を交換し、更に一般社員婦人の參加を勸誘することを申合せ頗る有意義に同四時ごろ散會した

# 忘年會節約
## 義金を贈る

滿鐵總務部庶務課では忘年會を節約し七十圓九十錢の金を得たので廿貧困兒童救濟資金の一部として

# 三十里堡邦人會も

七日大連市役所にこれを寄附した

三十里堡邦人會では歲末の宴會費を節約し二十七日大連市役所社會課を通じ金三十圓を東北凶作義捐金に、金二十圓を市内貧困兒童救濟資金に寄附した

# 戎會の義金

大連戎會では二十七日大連市役所社會課を通じ貧困者家族へ金百圓、缺食兒童へ金百圓、忠靈塔基金へ金百圓、交通警察官へ五十圓、合計三百五十圓を寄附

# 非常時新年遙拜式
## 沙河口工場で執行

滿鐵沙河口工場では例年同工場在鄉軍人分會等で分散的に擧行した新年遙拜式を本年は非常時一九三五年の劈頭に相應しく全工場員二千六百人打つて一丸となし元旦午前九時から同工場で遙拜式を擧行する事となつた

當日は從前行つた事のない在鄉軍人に御下賜の勅諭を同工場長が捧讀して全工場員の祖國愛を昂める事となつた、同工場では廿四日から廿九日まで精勵整頓週間として全工場員一致して昭和九年最後の努力を拂つて居る

## 大連市役所
新年祝賀會は元旦午前十時三十分市會議場において擧行又恒例の大連市新年祝賀式は午前十一時半より左の式次第に依り大連神社において擧行

(一)時刻場所　午前十一時半より大連神社境内に於て(一)開式(一)國旗掲揚(一)國歌奉唱(一)新年遙拜(一)市長年頭の辭(一)天皇陛下萬歲三唱の歌合唱(一)市長發聲(一)國旗降下(一)閉式

## 大連民政署
拜賀式次第
(一)午前十時署員一同參集御眞影奉拜(一)右終つて祝宴場に集合の上署長發聲にて聖上萬歲(一)午前十時三十分より同十一時迄の間において各國領事税關長主なる内外人の參賀を受く、但し一般人にて御眞影を奉拜せんとするものは相當の服裝を要す

# 銃後の人に愬へる
## 皇國女性の鑑佐藤邦さんの叫ぶ
## 救護を要する人々

自分の弟を立派な軍人に仕上げるために留守宅の家庭をうら若い女手一つに支へて雄々しくも職業戰線に鬪つてゐる滿鐵文書課佐藤邦さん(二〇)の氣高い心掛けが一度び報ぜられるや、俄然佐藤さん姉弟への感激の書狀引きもきらず寄せられつゝあるが、佐藤さん一家と同樣長男を兵隊に拔き取られたために貧困のどん底に喘いでゐる家庭はまだ他にも相當ある模樣である、本年百五十名の甲種合格者につき十二月一日既に入營した者及び來春一月二十日入營する者の家庭について大連民政署兵事係の調査したところによると、次のやうな例が擧げられてゐる

▲大連市日出町橋本實君(假名)は來春一月二十日步兵第三十聯隊に入營するとになつてゐるが同君は今迄一家の柱石として働いて居り、家庭の生活は同君の雙肩にあり、同君入營後の家人の生活は忽ち路頭に迷はねばならないと

▲既に十二月一日飛行〇〇隊に入營した福田源吉君(假名)は祖母一人、孫一人の家庭で、市内霞町にさゝやかな居を構へてゐたが福田君入隊後祖母カネ(七〇)さんの暮しは全く立たないので兵事係より救援の手を延ばし一日三十錢の米鹽代だけを給與してゐる

▲關東廳體育研究所に勤務して居り其處から直ちに步兵第四十三聯隊に入營した入田正君(假名)は市内巴町に母ムメノさんと暮して居たが、母親は五十の坂を越えた老人で自活の道を斷たれてゐるので、これまた兵事係より救護の手を延ばしてゐる

▲市内兒玉町中野孝方(假名)古田五郎君(假名)は十二月一日〇〇〇〇隊〇〇大隊に入營したが同君は滿洲電業會社大連支社に勤務し相當の俸給を得て居り鄉里新潟縣中頸城郡鳥坂村字上堀之内にある母ツカ(六五)さんと病弱な姉二人の生活を支へて居たが今後仕送りの道が斷たれたので鄉里役場に對し大連民政署より要救護の通牒を發した

▲同樣通牒を發したものに大連市若狹町中村豐君(假名)の家庭がある、同君の鄉里は大阪市港區八幡屋元町三丁目一二二番地で、母一人が同君の仕送りを得て生活してゐた、同君は一月二十日步兵第四十九聯隊に入營することになつてゐる

# 滿洲國攪亂の元兇
# 陳海濤ら逮捕さる
## 哀れ强盜に轉落した元檢察官

【ハルビン特電二十七日發】滿洲國内部攪亂の目的を以て大同二年九月南京政府對滿義會から特派された元吉林高等法院檢察官陳海濤一味の足跡について滿洲國當局が各方面に手配して搜査中であつたが、去る二十二日ハルビン道外巡化街二一、日の出旅館において强盜の嫌疑で逮捕した三名の滿人を取調べた結果、陳海濤及び部下二名なることを

### 自白し
たのでハルビン警察廳は凱歌を揚げた

陳は湖南省生れ三十七歲で吉林法政大學卒業、南京法政大學に入り、三十歲で卒業と共に長春地方檢察廳に入り、その後吉林高等法院檢察官となり、滿洲事變後は吉林省公署特務として活躍したが、大同二年六月南京政府監察院長居正氏が親戚に當るので滿洲を脫出して國民黨中央黨部に入り、汪精衛氏の信任を得て對滿義會において滿洲國の實情報告をなし、全會一致で滿洲國攪亂のため特派されることゝなり、二十萬元を與へられて王雲才、何子濤と共に入滿、王はチチハル、陳はハルビン、何は吉林を中心に攪亂計畫を樹て實行に着手し、陳は先づ滿洲國國防騎兵團副官姚星吾に連絡をとり、同人の紹介で三省匪を手なづけ、數回に亘り軍資金を送つたが、この畫策中吉林の何は病死し、チチハルの王及び張は官憲の手が廻つたことを知つて逃亡したので、彼は最後まで殘り部下二名と共に潛行運動を續けたが、南京政府との連絡がとれず、軍資金が缺乏したので强盜をはじめ各所において殺人强盜四回を重ねた、十八日白晝七道街張景子方を襲び妻女孫氏を射殺金品を强奪したので足がつき二十二日逮捕されたもので

### 峻烈な
取調べに對し遂に陳海濤、吳茂弟(二一)張介濱(二〇)なること及び滿洲國攪亂陰謀の一切を自白した、なほ右三名の逮捕と共に彼等が賣飛ばす目的で誘拐して來た滿人少女五名も救出された

# 義人の感激
## 紅綬褒章を傳達されてきのふ本社宛謝電

【東京特電二十七日發】義人村上久米太郎氏に對し畏きあたりより「自己の危難を顧みず人命を救助したるもの」に賜はるべき名譽の紅綬褒章御下賜の恩命あり、林陸相は二十七日午後官邸に村上氏を招致して右褒章を傳達して後、懇篤に其の殊勲を慰問した、村上氏は曩に少尉に任ぜられ今回又此の破格の恩命を拜受し、重ね〴〵の光榮に感激して辭去し直に本社宛左の發電をなした

本日陸軍大臣より紅綬褒章を拜受し感謝に堪へず、御同情御禮申上ぐ在滿各位に對し貴紙を通じて宜しく願ふ

# 間島荒しの長河好
## 延吉縣で捕る

【間島特電二十七日發】間島から敦化方面にかけて猛威を振つた匪賊團頭目長河好は大膽不敵にも自ら滿洲國軍に紛れ込み決死の一芝居を打たんとしてゐたところを延吉縣明月溝の我が憲兵隊に捕へられた、當人は部下五、六百名を有する匪の者とて我が軍警は歡聲をあげてゐる

# 暗闇の中から電車に飛込む

二十七日午後八時頃六號系統電車(運轉手于起彬)が大正廣場を發して河原町派出所裏競馬場北側にさしかゝつた際、突然暗闇の中から一日本人が飛込み、電車の急停車も間に合はず無殘にも右腿を切斷された、沙河口署より中澤司法主任が檢證する一方直に同人を市内宏濟街博愛醫院に收容したが出血多量のため生命は覺束ない

線路の傍に下駄と眼鏡をキチンと揃へてゐる外は遺書は勿論一錢の持合もなく何等手掛りとなるものはないが、一見廿一、二歲で頭は丸刈、カスリの着物に汚れたメリヤスを身に着けてゐるところから見て漫然と渡滿したが、職はなくルンペンに成り果て、年の瀨は迫るし寒さを凌ぐ場所もないため悲觀の結果、覺悟の自殺を圖つたものと思はれる、沙河口署では各署に手配し身元調査中である



# 東京市勝訴
## 佛貨公債問題

【東京二十七日發國通】昭和六年末以來係爭中の東京市の佛貨公債事件は一、二審共東京市の勝訴となり、原告の麴町區富士見町原田勳治氏は上告して爭つて居たが、二十七日午前大審院民事一部池田裁判長から上告棄却の判決言渡しがあつて東京市の勝訴となつた

# 大柳氏夫人

富久公司代表社員大柳菊三郎氏夫人シノブさんは急性肺炎で赤十字病院入院中の處二十七日午前一時死去した告別式は二十九日午後一時半聖德街葬祭場で行はれる

# 奉天豆タク
## 二十臺を許可されて正月元旦から營業

【奉天電話】滿洲内燃機株式會社では豫て奉天における豆タクの營業許可願を提出中であつたが、愈々二十七日附許可された、然し豆タクの營業は空車の辻まちは許可されず、車庫營業のみの許可で、車庫も南五條通りに設置し、來る一月一日より取り敢ず車二十臺で營業を開始する事となつた、豆タクは普通二人乘にて料金も從來のタクシーに比して安く、市内片道四十錢、往復五十錢である

# 電車衝突す

二十七日午後二時四十五分大正廣場を發して敷島廣場に向つた〇三號系統二六號劉仁(二〇)の運轉する電車が滿鐵本社前停留所を發し紀伊町に向はんとした際、自働式ポイントの不具合から小崗子より寺兒溝に至る一號系統に異線侵入をなしたところへ、恰も寺兒溝を發して本社前停留所に差しかゝつた一號系二九號韓行昌(二〇)の運轉する電車が衝突し大騷ぎをなしたが、結局乘客には被害なく三號系電車の前部中面を破壞したに止まつた、事故の原因並びに損害については目下取調べ中(寫眞は現場にて)

# あじあ大延着

【新京電話】二十七日午後五時三十分新京着の豫定のあじあは奉天發車後間もなく機關車に故障を起し約一時間四十分遲れて午後七時十分新京に到着した、あじあ運轉開始以來の大延着である

# けふのメモ

▼聖德會施飯　每日午前九時より太子堂にて
▼正月用畫幅陳列卽賣　幾久屋二階に於いて
▼市役所御用納式　午後十一時
▼クリスマス祝祭　午後六時半より救世軍婦人ホーム會館にて
▼市民クリスマス　午後六時より青年會館にて
▼社員會座談會　岡村少將を中心に午後四時半から社員俱樂部
▼大連地方法院御用納め　法院、檢察局、各警察署本日を以て御用納めとし事務取扱ひ休止

# 安樂椅子

稅關の眼を誤魔化す脫稅の新手口――大連驛の朝の混雜にまぎれて一人のボーター風の男が、見たところ寸分違はぬ同型の荷物二個を持參、一個を稅關檢査所と小荷物受附所との境に置き巧にカムフラージュして、他の一個は眞面目に檢査をうけた。

……◇……

その二個の荷物を重ねて得々と小荷物係員に差出した、之をみてゐた慧眼の係員〃この荷物にはサインがないやうだが〃〃いやこれは消えたんだ〃〃ではもう一度〃〃そんな……〃と雲行き漸く險惡になつた頃、突然現れた一人の男、件の男に向つて〃ヤイ、手前はオレの荷物をどうしようてんだ、ねえと思やこんなところにある〃と卷舌で怪しい荷物を持ち去らうとする。

……◇……

この爭ひをヂッと眺めてゐた稅關吏、否應なしに二人を引立てたが、件の二人〃旅順に荷物を送るのにお前等檢査する權利があるか〃と喰つてかゝつたが、結局荷物を開いてみると禁制品がどつさり入つてゐたので二人とも恐れ入つたとは油斷も隙もならない話。

# お門違ひながらチヨツト說明
## 内地への土產リンゴを船で食べてはなりません

燻蒸檢査の實施と共に滿洲苹果の内地輸出は解禁となり當業者にホッと一息つかせたが、リンゴを手土產に内地に歸る旅客の不注意から滿鐵々道部に全く御門違ひの苦情が續々と持込まれ、鐵道部當局を面喰はせてゐる、これについて一係員は左の如く說明した

檢査濟のリンゴの籠は自由に内地に持つて歸れるが、これを船の中で一つでも喰べたらその檢査品は無効となつて輸入禁止となるから船で喰べる分は別に買込んで欲しい、また燻蒸檢査證明附のものでも、安東通過の場合は何の效果はなく、安東通過リンゴは朝鮮總督府の取締規則によつて禁止されてゐるのだからこの點誤解しないやうにして欲しい

# 由比正雪 (130)

悟道軒圓玉演　武田一路畫

## 勇士と勇士

金井半助は原山の戰場に於て武士たる者に似合ず他人の功績を無視して立身致した卑劣千萬なる陣佐左衛門方よりの使者と聽き面白からず思ひながら會見すると、明朝細川の上邸内佐左衛門の小屋まで御越下されたしとの口上。

これには半助も不思議に思つたが、承知したと答へて使者を戻した。その翌日の事、此所は丸の内大名小路細川越中守侯の邸。通用門にかゝつた年齡二十四五になる壯漢。時は五月の下旬で當今の午後二時頃、白縮に巴の紋の附きし帷衣に鱶色の大小、左手に水口製の笠を提げ、

「御門番にお願ひ申す、自分は金井半助と申する者であるが、これより陣佐左衛門の小屋まで參る」

と斷つて門を入る。それを見た門番が、

「お戻りの節は陣殿の名刺を御持參下さい」

「承知いたした。シテ陣の小屋は當邸内の何の邊にあるか」

「佐左衛門殿のお住宅でございますか」

「されば陣の巣は何處か」

門番も驚いた。千五百石を取る陣佐左衛門を陣々と呼び、それに住宅を巣だと云ふ、一體此の人は何者だと顏を見たが、顏には戸籍の謄本は貼つて無い。

「陣殿のお住宅は茲を眞直ぐに行かれると馬場に出ます。それを右に添つて十二、三間お出でになると左側のお小屋がそれでございます」

「さやうか、御免を蒙る」

會釋して此所を一直線に行くと果して馬場がある。そこで七、八人馬をせめてゐる。半助は立止まつて見た。すると一人、ヒラリと馬から下りて半助の前に出て、

「金井殿か」

言はれて見ると、その人は陣佐左衛門であつた。

「オー貴公は陣殿であつたか、お招きによつて推參致した」

「宜くこそお出下された、コレコレ金藏口を取れ」

馬を馬丁に渡して額に滲む汗を拭ひながら先に立ち、自分の住宅へ半助を案内した。陣は千五百石取つて細川の家臣の内にては大身です。從つてその住宅も立派、江戸邸の内にて住んでゐる家を小屋と云ふ。大名では領地があつて其の領地に在る住宅が本宅、江戸は出稼ぎ……大名の家來に出稼ぎをする者はありませんが、總て江戸邸の住宅を小屋と云ふ。之は假住宅と云ふ事ださうです。

「コレ〳〵珍客が見えられたぞ。俺の戰場の友だ。よつて麁相いたすナ」

斯う陣は家來に申し附けた。そこで半助は案内に從ひ南に庭を見る客室に通ると、吹入る風の涼しいこと。半助はそれへ坐して庭を見ると、夏草は咲亂れ、樹木の青葉の露滴らんばかり。

「千五百石を取ると巣も立派だナオ、好い風が吹いてゐるぞ」

と言ひつゝ茶を喫んでゐるところへ出て來たは佐左衛門。

「原山總攻撃の節はお互に血を浴びたが、傷も負はず凱旋いたしたは目出度い事だ。今日は粗酒一獻お侑め申し、且つ打ち寬いでお話しいたしたくお招き致したが早速の御入來忝けなく存ずる」

これから結構な料理を出して待遇する。半助は遠慮もせず盃を擧げてゐたが、此時に佐左衛門が、

「まだ何れにも御仕官は爲されぬか」

「イヤ自分の如き愚者を抱へる大名はござらぬ。併し偶には自分を扶持いたすなぞと申すものもあるが自分には望みもあり、その望みを聽き入れるものあれば奉公いたす」

「何う云ふ望みを抱いて居られるか。それを承はりたい」

「些と望みが大きいでナ。先づ自分の望みに應ずる程の大名はござるまい。それ故今以て浪人いたし居る」

「ウム、シテ其望まれる食祿は」

「再度のお尋ねゆゑ申すが、先づ一萬石かナ」

これを聞いた佐左衛門はカラカラと豪傑笑ひをして、

「戲れを申されるナ」

「イヤ戲れに此のやうなことは言はぬ」

と半助は平然たるもの。

---



## 滿日案內



### 映畫案內

滿洲日報 夕刊
大連市東公園町一番地 發行所 株式會社滿洲日報社



# 適當の時期を見て内部改廢か定員增加
## 課長の椅子に對して人員不足
## 新機構の整備未し

【東京特電二十六日發】發表された新官制實施に伴ふ關東局の人事は關東廳の職員をその儘受繼ぐ機構の下に勅任官は中村財務局長の轉出の外定員通り配置されたが、奏任事務官は州廳と局に分れた爲め人員不足を來たし州廳では各課長を補充し得たけれども關東局では司政部長が行政課長を兼務し又監理部は兩課長共に兼務で專任課長なき有樣であり、課長の椅子が多くなつた爲め當分空席とすることになつた、右は今回の改正に當り事務官定員增加の議があつたけれども中央官廳たる對滿事務局が新設された上に現地機構が膨脹することは改革の趣旨に反し又舊關東廳を新機構にその儘引繼ぐ建前を以て豫算踏襲に決し議會の協贊を經なかつた關係もあり、改廢異動を行はず凡て舊關東廳の現在員を以てした理由に基くもので、この儘では機關全部の整備とはならず、何れ適當の時期を見て内部的改廢を爲すべきか然らざれば定員增加の必要あり、更に一部官制の改正が行はれる筈

## 長岡總長大使館參事官兼任

【東京二十六日發國通】關東局總長長岡隆一郎氏は駐滿大使館參事官をも兼任する旨二十六日發令された

兼任對滿事務局總裁秘書官　步兵少佐　有末精三
内務事務官兼内務書記官　益田甲子七
任對滿事務局庶務課長　大藏事務官　竹内德治
任對滿事務局事務官兼殖産課長　拓務省朝鮮部第二課長　由越道三
任對滿事務局事務官、行政課長を命す
領事官補　瀧川欣也
任對滿事務局事務官、殖産課兼行政課勤務を命す
拓務事務官　從六位　厚地法人
兼任對滿事務局事務官
叙高等官五等
對滿事務局行政課勤務を命す
外務事務官　正七位　武内滿次
兼任對滿事務局事務官、對滿事務局庶務課勤務を命す
專賣局副參事兼大藏事務官　從七位　渡邊武
兼任對滿事務局事務官
對滿事務局殖産課勤務を命す
陸軍步兵少佐　岩畔豪雄
對滿事務局殖産課兼對滿事務局行政課勤務を命す
陸軍一等主計　東福清次郎
補對滿事務局事務官
對滿事務局庶務課勤務を命す
陸軍步兵少佐　河村參郎
兼補對滿事務局事務官
對滿事務局庶務課勤務を命す
海軍少佐　佐々木高信
兼補對滿事務局事務官
對滿事務局庶務課勤務を命す

兼補關東局事務官
陸軍步兵中佐　村治敏男
憲兵少佐　橫山憲三
憲兵少佐　高田典文
兼補關東局事務官
大藏省銀行局長
從四位勳三等　川越丈雄
任對滿事務局次長
叙高等官一等

# 日滿警備の上から五位一體の重任へ
## 新機構内の岩佐憲兵司令官

【新京電話】新機構が實施せらるゝに及んで南大將が關東長官の職名を脫して二位一體の首腦となり岩佐憲兵司令官は新に關東局警務部長を兼任し附屬地内の警察行政及び大使を通じて關東州内の警察行政をも管掌し更に從前の大使館警務部長として領事館警察をも司り全滿警務機構の三位一體の首腦者として臨む事となつたが、同司令官はこの外日滿共同警備に參劃の見地から國鐵路警に對する指揮權並に滿洲國警察官に對する指導權をも把握し、日滿協同警備の上からは五位一體の重責に當ることとなつた

叙高等官二等
從三位勳二等　大村卓一
任關東局監理部長
叙高等官一等
從四位勳四等　大場鑑次郎
任關東州廳長官
叙高等官二等
關東局事務官
任關東局理事官兼關東局事務官
從七位　蠣川久太郎
叙高等官七等
遞信局書記官
正六位　中村純一
任遞信局長兼關東局事務官
叙高等官四等
關東局事務官
從五位勳六等　水谷秀雄
兼任關東專賣局長
叙高等官三等
滿洲國駐劄特命全權大使秘書官　鹽原時三郎
兼任關東局事務官
關東局事務官兼
關東專賣局長　御影池辰雄
免兼官
陸軍步兵中佐　鈴木宗作
陸軍步兵少佐　井上官一

## 勅語奉答文

【東京二十六日發國通】衆議院本會議において議決せる勅語奉答文左の如し

恭シク惟ルニ 車駕親臨シテ茲ニ第六十七回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケサセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ 臣等感激ノ至ニ勝ヘス 臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ 上 陛下ノ聖旨ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス 衆議院議長臣濱田國松誠恐誠惶謹ミテ奏ス

## 人事發令

【東京二十六日發國通】滿洲新機構の人事は二十六日左の如く發令を見た

從四位勳三等　長岡隆一郎
任關東局總長
叙高等官一等
正五位勳四等　日下辰太
任關東局司政部長
叙高等官五等
正五位勳二等功五級　岩佐祿郎
兼任關東局警務部長

# 日英折衝繼續
## 米國代表の歸國後

【ロンドン二十五日發國通】スタンドレーアメリカ代表、加藤參事官、ドーマン、セリグマン米國々務省隨員の四氏はウエノトアースクラブにおいてゴルフ試合を行ひ二十四日にはスタンドレー、チアツトフイールド中將、リッツル英海軍少將、松平大使等がスインドレーフオーストでゴルフの試合を爲し、スタンドレー氏は兩試合とも社交的にて會談等といふものではない、海軍交涉は休會以來變化なしと語つたが會議は表面休會中だがゴルフ試合の形式で三國會談が行はれるものと觀るべく、アメリカ側は二十九日の米代表の歸國後日英折衝が繼續される諒解ありと觀られる

# 菱刈、岡村兩將軍昨夜大連へ凱旋
## 驛頭の盛んな歡迎

關東軍司令官、特命全權大使、關東長官として在滿一年と四ケ月、この間幾多の功績を殘した軍事參議官菱刈大將は同じく在滿二年有半赫々の武勳を稱へられる關東軍參謀副長岡村少將と共に愈々故國へ晴れの凱旋の途次滿洲に於ける最後の名殘を惜むべく鶴見書記官、今岡副官、丸山副官を帶同石丸侍從武官、張軍政部大臣、入田副總裁、山内電々總裁と同車二十六日午後六時着あじあにて來連した―その少し前から降り出した冬雨は歸滿の將軍を迎ふるに似合しく驛頭には土肥原特務機關長、奥村運輸部出張所長、大竹關東倉庫長、加藤航空官、鈴木一中配屬將校をはじめ在連將校の外、陸軍側よりは高柳中將、岩井少將、長谷部少將、牧野海軍少將、並に大連市長代理吉野總務課長、大連民政署長代理井上庶務課長、滿人代表張本政氏、又滿鐵側山西理事、中西地方部長、江崎貨物課長、西山電々監査役、市内各中等學校、早苗高小、青年團婦人團員其の他我等の明朗將軍に最後の訣別を告げんと日の丸の小旗を手にして押し寄せた市民約一千名プラットホームを埋める歡迎の人の波だ、六時三十分嵐の如き歡呼の聲に迎へられて凱旋列車あじあが構内に滑り込む、やがて最後部客車より例の慈顏に笑みを滿へ長劍の柄をひしと攫んだ菱刈將軍がプラットホームに降り立ち次いで岡村前參謀副長、今岡、丸山副官再び捲き起る官民の熱誠籠る萬歲！に丁重な擧手の禮を以て應じ出迎への土肥原特務機關長、山西理事等と挨拶を交した後井上大連驛長案内の下に堵列せる日の丸の歡迎陣に一々頭を下げて〃有難う〳〵〃と感激の色を浮べつゝも一抹の惜別の表情を漂はしながら驛前で自動車に乘車、三度起る歡呼の怒濤に送られて星ケ浦ヤマトホテルに向つた

（寫眞は大連驛に着いた菱刈、岡村兩將軍）

# 有機的機能の發揮が必要
## 進一歩の新機構に關し……
## 岡田首相の聲明

【東京二十六日發國通】對滿機構改革實施に際し岡田首相は談話の形式を以て左の如き聲明書を發表した

對滿關係機關調整の懸案が解決せられ茲に滿洲現下の事態に適合する新機關が中央に於ても現地に於ても打ちたてられた事は我國對滿國策の運用に一時期を劃するものとして誠に欣快に堪へない、滿洲國に對する我が國の國是は同國創建以來今に變る事なく我が國は同國の盟友としてその獨立を尊重しその健全なる發達を衷心から願ひ不斷の援助を盡し又日滿兩國が不可分的な緊密關係を持して力を合せ共存共榮の實を擧げん事を以て根本方針として來たのであつた、而して我が關東州及び南滿洲鐵道附屬地の地域は滿洲國と政治經濟文化總ゆる方面に於て密接な關係を保つのみならず歷史的にも深い因緣が結ばれてゐる所であるから其の地の施政は滿洲國と最も緊密の關係がある、從つて此の地方の施政諸機關と滿洲國駐在の帝國諸機關とが互によく相連繫して有機的に活動することは我對滿國策遂行の上に重大なる意義を爲すものであるそれで曩には關東軍司令官、駐滿全權大使、關東長官は同一人を以て充てらるゝ制を執り以て當時の必要に應じたのであつたが、爾後滿洲國の進歩著しく諸制の整頓と産業、經濟の發展に伴ひ此の制度に更に一歩を進め各機關の組織にまで立ち入つて之を綜合的に調整し其の有機的連繫の機能を增大すると共に政府中央部に於ても對滿國策施行の中樞となる機關を設けて各廳對滿行政事務の統一保持を圖り、國策の綜合統一的實施を充分にする必要が痛感されるに至つた、そこで此の夏以來各方面の關係者が議を練り思ひを凝らして考究を遂げ、茲に新機構の整備成立つた次第である、過程に於いては多少の經緯もあつたけれども今茲に目出度く新機關が輝かしい使命の第一歩を踏み出すに際しては私は關係當路者が盡く眞劍開誠の心意氣を以て協力一致以て對滿事務局及び關東局の新しい機關がその有機的に組織せられた機能を充分に發揮して將來の我對滿國策實施に一段の效果を奮し日滿兩國間の幸福と繁榮とに貢獻し延いて東洋平和の確立を期せんことを衷心望んで止まない

# 國策の遂行に懸命の努力
## 日下司政部長談

【新京電話】關東廳内務局長より關東局司政部長となつた日下辰太氏は新機構官制實施に付いて二十六日左の如く語る

本日關東廳官制の改正が發布せられ大使館内に關東局が設置せられる事となり圖らずも私が司政部長の重職を拜命致しました事は實に感激に堪へざる所です、南大使は本日初登廳され我々に對し御懇篤明確なる御訓示があり、我等に新機構の下に奉公すべき方針を訓示された、私はこの御訓示の趣旨を體し又近く赴任さるゝ長岡總長の御指示に依り我が對滿國策遂行に懸命の努力をしたいと思ひます、關東局の開廳準備に付いては先般來準備委員會を編成して移轉準備に專念したゝめ着々進捗し既に一部の人たちは出京して居るが殘餘の全員も正月の御用始めまでには殆んど新京に出揃ふ筈でこれ等の部員諸君は何れも欣然として赴任し重大なる勤務に服する事を心より喜んで居る次第で茲に各方面の各位が我々に對し從來與へられた御厚意を厚く感謝すると共に將來一層の御支援と御協力を希望して止まない次第であります　又司政部の人事については事務の都合上尚幾分の變更があると思ふが大體はこれで決つた譯であります

尚日下司政部長は二十八日旅順に赴き三十日夜同地において司政部に轉ずる諸官吏の送別會に臨み來春四日の御用始、新京に來任の筈

# 冷酒を酌んで
## 關東局の開廳式

【新京電話】新機構官制發布の公報は二十六日豫定より遲れ午後三時五十分東京より電話を以て通達された。午前中關東廳出張所の看板を棄て既に旅順より到着待ち構へた日下内務局長以下水谷文書課長等各課長は公報入電と共に給仕に命じ關東局及關東州廳出張所の看板をかけさせ午後四時十分舊關東廳水谷文書課長の手より新官制發布に伴ひ

一、關東局事務分掌規定
一、關東州廳事務分掌規定
一、關東局令公布式
一、關東州廳令公布式
一、其他廳令、訓令、告示

等百六十四項を發表した、右は今二十七日より實施される、尚ほ二十六日午後五時三十分より目下建築中の新廳舍で關東局開廳式を擧行したが日下司政部長以下各課長、課員集合冷酒をくんで新關東局の洋々たる前途及對滿國策遂行機關としての重要なる任務を認識し各人の自力を強め職務に全力を盡すを誓つた

# 瞬間に早變り
## 關東局東京出張所

【東京特電二十六日發】二十六日改革實施當日の麴町内幸町の關東廳出張員事務所は、山本主任以下數日前からすつかり用意して關東廳が關東局になる一切の手順を完了し、文書の表紙迄改めて待ち構へ實施發表の通知を待つてゐると午後三時半内閣から電話がかゝつてこの一瞬間に全部關東局に早變りした、早速内閣の辭令書に書いて貰つた關東局出張員事務所の新しい看板がかけ變へられる

上京中の中村財務局長は札幌稅務監督局長に榮轉し、一番の當り籤を引いて何處かへ飛び出す小宮經理課長は愈々局長なしの關東局經理課長になつて局の臺所を切つて廻す役目を引受け恰も明年度豫算が新に豫算の主務省となつた大藏省で查定を終るといふので忙しく主計局へ飛んで行く、事務室では拓務省と絕緣してから皆調子が變だといつてゐたが、對滿事務局が元の内務省から社會局の跡に移ることの出張所も一緒になれといふのぢやないかと中央官廳との寄合ひ世帶を些か氣に病んでゐる



# 寄合世帶の店開き
## 小粒で辛い對滿事務局

【東京特電二十六日發】愈々對滿事務局は開店した、内務、外務、大藏、陸軍、海軍、拓務六省の持寄り世帶、高等官十五名、判任官十三名、雇員十五名、小粒ながらもぴりゝつと辛い新機關對滿事務局である、この光榮の新機關は縱六尺、幅五寸の眞新らしい看板を除けば舊内務省のバラックの一部大會議室外四室を改造したに過ぎない、庶務、殖産、行政の三課が一室、他の一室は衝立で仕切つて總裁室と次長室に當てゝある、川越次長は語る

未だ實際の仕事にかゝらないので何とも云へないが對滿政策の統一確立が第一だ、何しろ六省の聯合艦隊だから結束が最も大切だと思ふ、仕事に就いては充分の確信を持つてゐる

# 朝野を擧げての援助を希望する
## 林對滿事務局總裁談

【東京二十六日發國通】林對滿事務局總裁は二十六日左の如く語る

今回對滿關係機關の調整が愈々實施されるに際し、自分が初代の對滿事務局總裁の重任に當る事となり、今更義務の重大な事を感じてゐる次第である、今回の制度改正の目的は既に屢々發表された通り日滿關係の實情に應じて組織を改善し、政府總掛りで、然も統一的に對滿國策を強化實行せんとする點に存するのであつて、この目的の爲に中央政府に於ても一つの中心機關を創設し、從來拓務省の所管に屬した對滿行政事務の殆んど全部をこれに取り入れる外新たに最も重要なる事務として各廳對滿行政事務の統一保持に關する事項を司る事となつたのである、從つてその機構も亦從來の官廳とは趣を異にし、その職員は關係各廳より精銳の士を招き又關係各省との連絡を保ち、その連絡を緊密にする目的の爲めに別に參與官及び事務官の制度を置く事としたのであつて斯くて對滿事務局は各方面に亘る對滿行政事務の圓滿なる統制に當らんとする重要な使命を果し得るものと信ずるのである、就任に際し自分は職員一同が渾然融和一致協力して職務に精勵せん事を期すると共に朝野を擧げて今回の制度改正の本旨を理解し充分なる援助を與へられん事を希望して止まぬ次第である

# 俺はボンクラだが……
## 岩佐關東局警務部長談

【新京電話】新機構の最も重要任務に就く憲兵司令官は左の如く語つた

警務機關の統一實施は國家の體面上甚だよい事だ、岩佐はぼんくらだが部内の人は皆偉い人が多いから官制に依つて仕事をして呉れると思ふ、官制上に付いて私としては意見を持つてゐるが既に決つた事だから何も云はない、大體岩佐は警務部長の職を拜辭したいのであるがこれをやめれば憲兵司令官もやめねばならず遂にお受けした譯で、要するに私の如きは各課の人達が仕事をして行くのでそれについて押されて行けばよいのである

# 水谷民政署長
## 大連赴任廿八日？

【新京電話】關東廳文書課長より大連民政署長に轉じた水谷秀雄氏は同時に專賣局長を兼任する事となつたが、關東廳の殘務を整理二十六日午後八時旅順に赴き大連赴任は二十八日頃になる模樣

# 支那現銀輸入

【上海特電二十六日發】國民政府は香港上海銀行を經て目下交涉中にある英支借款の中より先づ現銀二百元は條件附きで香港から直に輸入する模樣である

## 關東廳辭令（十二月二十四日）

遞信局技師海軍豫備主計少尉　正六位　松岡太郎
任關東廳海務局技師
叙高等官四等
六級俸下賜
關東廳海務局技師　松岡太郎
海務局海事課長を命ず

## 大觀小觀

議會は豫想さるゝ幾多の波瀾を内藏して休會となる▲休會明けに何が出るかは此の二旬の間の策動と情勢に因る▲政府を追究するだけを能事とする政黨、議會をゴマ化すことを方針とする政府では議會政治の刷新なぞは到底及びもない▲大連市長及び市會議員が現地の官廳を省略して直接政府に打つかつてゐる▲大藏省が查定で否認したものを復活要求しやうといふのだ▲發言權を失つた拓務大臣に代つて大藏省を相手とするところはなか〳〵大きい▲まさか大連市を政府の直接監督下に置かうとするほどの遠大な考へ方ではあるまいが▲兎に角これ等の人々は政治家であり過ぎる、そして上京を好み過ぎる▲罹災地に復興景氣といふものが伴ふ、これは物資の不足と、需要の旺盛による供給者の暴利を物語る▲東北の貧農に供給する肥料を獨占するものがある▲更に義捐を賣名に利用するものがあり、甚だしきは義捐の名によつて私利を計るものもある

# 壯烈・鬼神も哭く

# 皇國女性の鑑

## 婚期を失して一家六人の柱石となり 救護を謝絶して愛弟を營舍に送る

## 稀に見る軍事美談

杖とも柱とも賴む長男である弟を立派な軍人に仕上げたいとの燃えるやうな祖國愛の一念から、多くの縁談をかたつぱしから斷り、民政署よりの留守宅救護の手をも謝絶して、一家五人の家族の生計を支へ、剩つさへ一人の弟をば中學に通はせ、他の一人の病弱な弟の治療まで引き受けて、雄々しくも職業戰線に立つて戰ひ續け、一方在營中の弟には絶えず激勵の手紙を送つて入隊後一年ならずして上等兵にまで進級させた、眞に皇國日本女性の鑑として鬼神をも慟哭せしむるに足る一職業婦人が大連に居る

この姉この弟 皇國女性の鑑、佐藤邦さんと姉にも劣らぬ上等兵佐藤龍男君

この女丈夫こそ滿鐵總務部文書課浄書係として十年以上も勤續してゐる佐藤邦(二八)さんである、佐藤さんの家族は市内白金町二十番地の社宅に、現在○○○○第○○隊○○隊に在營中の弟龍男君と大連一中の四年生まで行つて

**病氣** の爲に休學した正雄君(一七)大連中學一年在學の弘君(一三)妹千枝子さん(一四)それに母ハマさん(五四)の總勢六人暮し、龍男君は昨年十二月一日入營するまでは沙河口研究所に勤務し、姉の邦さんと二人で協力して一家の生計を支へ辛うじて弟二人を中學に通はせて居つた

ところが此の一家にとつての大黒柱龍男君は昨年度の徴兵檢査で見事甲種合格となり、十二月一日には愈々入營せねばならぬこととなつた、母ハマさんは可愛い息子が天晴れ御國の御役に立つ日が來たので、今まで父なき後を苦勞して育て上げた甲斐があつたと亡き父監治氏の位牌にその喜びを告げたのではあつたが、一方龍男君を大黒柱と賴む一家にとつては龍男君を拔きとられることは全く致命的な痛害であつた、當時暗澹とした雰圍氣は此の

**一家** を閉し愈々弟達をも中途で退學せしむる外ないとまで覺悟をきめたのであつた、此の一家の苦境を知つた知人達は事情を具して龍男君の入營延期を願つたらどうかと再三勸めた、だがこの問斷乎として龍男君の入營を主張し續けたのは姉邦さんである

〃家の貧しいことを理由として入營を延期させる事なんか死んでも出來ない、世の中にはもつと〱困つてゐる人がいくらでも居る、たとひ私は身を粉にしても龍男の分まで立派に働いて一家を支へてみせます、そのためには縁談が一年や二年晩くなることなんか何んでもありません〃と、ともすれば滅入り込まうとする母を

**勵ま** して自分から龍男君の入營の晴着を縫つてやり、遂に昨年十二月龍男君は後髪を引かれる樣な氣持ちで、だが姉に勵まされ乍ら勇んで入營したのであつた

## この姉にして此弟

### 給與金を全部貯金した龍男君 それをも受けぬ健氣な邦さん

龍男君の入營當時此の家庭の困窮を救はうとした民政署兵事係では邦さんの健氣な言葉によつて一時救護の手を差控へてゐたが、弟正雄君が本年の九月ごろから病氣のため

**學業を** 退き專ら醫者の治療を受けてゐることを聞いて再び此の十二月初旬同家を訪れて國家の保護を受けるやう勸めたが、やつぱり邦さんは

私達よりももつと〱困つてゐる家庭を先にして下さい、私の一家は必ず私が支へます、國家のために軍人となるのに國家から救援を受けることは矛盾してゐます

といつかな聽き入れようとはしない、邦さんのこの健氣な氣持ちはいつか弟龍男君の心にしみて、入營後は一意專心軍務に精勵し、天晴れ隊中の模範兵となり入營後一年を經ぬ十一月の初めには拔群の成績で上等兵に進級し、初年兵教育係の名譽をかち得た 更に龍男君は入營後隊から受ける僅かな給金を一錢も費消せず今年十一月半頃までには九十二圓餘の郵便貯金をなし、たま〱十一月二十四日一日の

**休暇を** 與へられたのでその金を下げて來連弟の治療費にしようとしたが、姉邦さんは〃それはあなたの樂しみとして持つてゐなさい、治療費は私の働いたお金で必ずどうにかしますから〃といつて受けとらなかつた

## 御國は磐石 この姉弟を見よ

### 民政署兵事係の談

民政署兵事係では語る

ともすれば輕佻に流れようとする近頃の娘さん達の中に、あの佐藤邦さんの健氣な氣持ちには全く泣かされました、日本女性のほんたうの鑑みでせう、私の方ではなんとかして救護の手をさし伸べようとしてどれ程努力したか知れません、だのに斷じてそれは御國のためになりませんからといつて斷つて居るのです、聞くところによると邦さんは滿鐵でも模範社員として非常に優れた成績を擧げられてゐるさうで又弟の龍男君も姉さんに劣らず模範兵ださうです、かうした女性の居る間は日本も磐石の上に置かれてゐるも同然です

## 慈母の感謝

### 娘と息子の誠に泣きつゝ……ハマさんは語る

佗しい生活を送りながらも邦さんに勵まされてどことなく活氣のある暮しをしてゐる同家を訪へば、邦さんは固く口を閉して語らず、母ハマさんが代つて涙乍らに語る

父が六年前に亡くなつてからといふものはこの娘には全く苦勞をかけました、男優りな氣性で一家を勵ましてくれるので、こんなに年は取つても元氣で居られるのです、この十一月二十四日休暇を得て歸つて來てくれた時は肩の星も一つ殖えて居りましたので私は嬉しくて〱泣いてしまひました、沙河口驛から林檎の籠を一籠下げて汗を一杯かき乍ら驅け足で來たんですよ、弟の治療費にといつて貯金を下げて來ましたが邦がどうしても受取りませんでした、私は傍で聞いてゐてたゞ涙が出るばかりでした

# 來年度特別大演習

## 鹿兒島縣を中心に施行する

## きのふ陸軍省發表

【東京二十六日發國通】閑院參謀總長宮殿下には二十六日午後一時三十分參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ、昭和十年度陸軍特別大演習につき奏上

**勅裁** を仰ぎ、種々御下問に奉答御退出あらせられた、仍つて陸軍省では同日午後三時左の如く發表した

【陸軍省發表】參謀總長宮殿下には十二月二十四日明年度師團對抗演習施行に關し、又十二月二十六日明年度特別大演習施行に關し夫々上奏御裁可を受けられたり、昭和十年度特別大演習は秋季南九州地方に於て御施行あらせられる御豫定にて、又昭和十年師團對抗演習は陸軍大將植田謙吉統監の下に秋季南鮮地方に於て施行せらるゝ豫定なり

**中心** 右發表の如く大演習は鹿兒島縣を中心として宮崎、熊本兩縣の一部に亘る豫定で、大本營は鹿兒島市、參加部隊は第六、第十二兩師團及び特殊部隊である

# 非常時忘年會

およそ滿洲に關する限り不景氣知らずの好材料が頤を並べて、一九三四年掉尾の跳躍に期待をかけたミナト大連の財界—商店街は歳末大賣出しに、花柳界は忘年會に……何れもゴールドラッシユの凄い夢を描いて……當つた!當つた!素晴らしいホームランだ!

# 箱切れ十四回

## 線香揚高遂に五十萬本突破か

## 素晴らしい本壘打

**毎** 日午後二時、三時といふに、早くも大連檢番三百六十八人の藝妓は箱切れて、それ以後に申込んだ忘年會は女拔きの淋しい宴を張られねばならぬ、といふ物凄い花柳景氣の出現、こゝに落ちた幾十萬圓の黄金がまた動脈を走る血液の如く、いろんな形に變じて街へ〱と巡回作業を試み、一九三四年歳暮の景氣こそ、新興滿洲ならでは見られぬ豪華版だ

さて、財界のバロメーターと云はれる花柳界の蜜蜂から覗いたインフレ景氣の實體を解剖して見よう……滿洲未開の地に網の目のやうな鐵道が敷設される、空地といふ空地は大建築で埋められる、かくて工業界や、工事界に落ちる

**巨** 額の黄金の洪水は何時とはなしに大連へ〱と流れて來る、と一番總感に感ずるのは何んといつても花柳藝妓の數字だ

大連三業組合で調べた本年十二月一日から二十五日現在に至る花代揚高は四十五萬六千五百六十九本、金額にして六萬二千六百二十七圓(藝妓數三百六十八人)で昨年同期に比べると花代十萬六千九百三十九本、金額五萬二千七百七十三圓といふ物凄い激增振り、この間藝妓の箱切れ十四回といふ豪勢さで、歐洲大戰當時の好景氣再來を思はしむるものがある、忘年會も二十日から二十五、六日までがクライマックスで、これ以後宴會數も餘程減少するであらう

ホク〱ものゝお茶屋さんでは一ケ月の半分まで藝妓の箱切れといふこんな景氣は近年珍らしいですよ、今年は東北地方の冷害義捐金問題などで忘年會の出鼻を挫かれた形ちですが、それでこの景氣ですから、普通なれば大正七、八年の景氣に勝るものです、例年だと二十五日以後は忘年會も影を潛めるが、今年はまだ〱續く豫想で、この調子だと檢番の線香揚高は五十萬本を突破するでせう、しかし流石非常時の忘年會といふか、宴會の數や箱切れが續く割合に花代の揚り高が尠いことで、これは二次會、三次會が減つて、約束時間だけでお客樣がさつさと引き揚げて行かれるからです、非常時忘年會風景ですね……

**一** 皮の突ッ張つた話—方大衆向き歡樂街逢坂町遊廓の景氣もこゝ數年來見ないといふ繁昌、こゝでは街の料理屋で宴會をやり、二次會三次會を逢坂町へ繰り込むといふ從來の手數を省いて、一次會から二次會、三次會まで通しの忘年會をする新傾向が顯著となり、これも非常時遊廓風景の一つ……

## スピーディー・暮の巷

# 七千圓のトランク

## 馬車ニーヤが乘せ逃げの早業

二十六日午前九時入港の長平丸で天津より歸滿した現住所鎭縣西海口伊邊診(五一)は荷物を積んで大連驛に行くべく西埠頭より出て馬車を呼び、一番大切なトランク一個を馬車に乘せ、他の荷物を取りに行つた留守に、馬車夫にトランクを持逃げされ蒼くなつて水上署に屆出た

トランクの中には現金十四、五圓の外に二千圓と五千圓、計七千圓の電信爲替が在中してゐると、水上署では各署に手配し不埒な馬車夫を嚴探中

かに窃取されて小崗子署へ屆出た市内荒しの貴金屬犯人が數日前沙河口署に捕はれて一安心の所

# 空巣二千兩

## こんどは證券狙ひ

市内蓬萊町三九の四一梅本傳氏方では二十五日午前十時から午後四時半までの間に證券(額面百圓のもの)二十八枚、勸業債券、復興債券價額九十五圓、銀の金具止め一個其他毛布類を家人の留守中何者今度は有價證券狙ひの新手の窃盗が現はれたので、小崗子署では犯人の逮捕に極力努めて居る



## 〃間諜行爲〃で 滿人二名逮捕

【モスクワ二十五日發國通】タス通信は二十五日ハバロフスクの報道として滿洲國人二名が間諜行爲で逮捕された旨を傳へてゐる

## 北鐵沿線に 匪賊頻に出沒

【ハルビン二十六日發國通】去る二十四日北鐵南部線三岔河驛を距る約五里の地點に匪賊數名が現れ滿洲國軍に逮捕され嚴重取調を受けてゐるが西部線砂崗圖驛の西北方一滿里の地點に去る二十四日約四十名現れ、更に喇嘛甸子北方八里の地點に騎馬匪賊二十數名現れ滿人一名を人質として拉致した、急報に依り討伐隊出動目下追撃中である

## 吉林窮民激減

【吉林二十六日發國通】地方治安のバロメーターたる當地の窮民收容所は一時收容者數百に上り悲しい繁昌振りを呈してゐたが最近俄に激減收容者僅かに數十名に過ぎず結氷期に至つて靜謐に歸する地方治安を如實に反映してゐる

## 大連市役所の御用納式

大連市の本年度御用納式は二十八日午前十一時より、又明年度御用始式は一月四日午前十時より市會議場に於て擧行される

## 婦人ホームのXマス祝祭

救世軍育兒婦人ホームでは二十八日午後六時半より同ホーム會館に於いてクリスマス祝會を開催する事となつた

## 三十年來の

# 苦難時に 意外・この景氣

### 愛して頂戴が利いたか 在旅商人ほく〱

例年に無い暖氣つゝきで正月氣分が出ない今年の旅順は、機構問題で大世帶の關東廳が廢止され、廳員の半數約五百餘名の轉出と又近年潮の如く押寄せて來た大連の出張販賣の顧客奪取等々、三十年來此方一大苦難の年の瀬を迎へてゐる旅順の歳末風景……

商人を……〃このスローガンで多大の同情を惹いた事と豐かに氣張つた福引賞品の陳列らしい

○……市中の參加商店約七十餘軒で福引景品附の大賣出しの結果、昨年の總賣上げ高約九萬圓、それに市場を始め加盟せぬ各商店の賣上を合すれば約十四萬圓内外と見做されてゐたが、今年の賣上げが二十五日迄の計算に依ると、聯合賣出し商店だけで既に六萬圓の賣上高を確實に示してゐるのは何んといふ奇現象であらう

○……この原因は商工青年會の奮起に依る各商店への警告が一般商人を刺激し〃愛して下さい旅順の〃

二十六日の關東州廳官制と人事の發表で差控へてゐた轉出者の買物も二十七日からは一齊に購入される模樣だから、この割合は少く見積つても約三割の増加を示す事は確實なもの、旅順として今年位不況不振の條件が備はつてゐる事は無いのである、夜を日に繼いで襲撃して來る大連商店の出張販賣も旅順人の心理をシッカリ捉へたその巧妙振り、暖氣に誘はれ購入地を大連に求める點、機構問題にからむ購買力の減退等は見逃せぬ害勢であつた、それにも拘らず意外な良成績を擧げつゝある事は在旅人の最も注意すべき點だ

隨つて兩三日が全く大事な時、殘る見込の約三割といふ顧客、關東局轉出者の購買者引止策こそ旅順商人に與へられた現下の重要點だと、こゝを先途とお客樣吸引に大童の態だ

## 新京行のトップ

### 文書、官房、經理三課 けふ懷しの旅順を出發

【新京二十六日發國通】新京行に決定した文書、官房、經理の三課は新機構による新京行のトップを切つて二十七日旅順發新京に赴くことになつた、尚ほ新京行の部門の大體は明春一月四日の御用始めまでには關東局に出揃ふ樣準備を進めてゐる

### けふ廢廳式

三十年の歴史に別れを告げて新しき門標を掲げ新機構にスタートする歴史的關東廳廢廳式は二十七日午後擧行の豫定

## 舊關東廳の 高等官・判任官主任級 滿鐵總裁招宴

林滿鐵總裁は二十六日午後六時から大連市淡月に舊關東廳判任官主任級を、又二十七日夕滿洲館に同高等官一同を招待して關東廳員としての送別宴を開く筈

## 滿洲國青年官吏

### 風水害義金を贈り 名も告げず立去る

【大阪特電二十六日發】二十六日朝大阪府廳外事課を訪れて風水害義捐金の足しにして下さいと百圓を差出した滿洲服の青年があつた右は滿洲國亂石山三多石鎭警吏徐一叢(二七)と言ひ、民俗學を研究して東洋人は互に協力せねばならぬと信じてゐます、と僅かに語つたのみで立去つたが、記者が梅田驛の朝日屋旅館を訪れた時は既に出發した後で、女將は

二十二日午後着いてお役所が半どんだつたので今日迄態々待つて居られたのです、言葉が解らないので何處へも出られませんでした、奉天までの切符を買つて六時の下りでたちました

## 滿洲國要人の 揮毫展覽會

### 東京、大阪で開催

【新京二十五日發國通】本年の氣候不順は日本に在つては東北地方滿洲國に於いては北滿地方に少からざる災害を齎したことは周知の通りでこれが救濟に關しては各方面共夫々恢復に向つて努力されつゝあるが、大同報及び滿洲國通信社の兩社合同主催にて鄭總理始め各大臣、要人の揮毫多數を得、一月中東京、大阪兩地において大展覽會を催すと共にこれを頒賣して賣上金を日滿兩國の罹災民救援費に寄附する事となつた、因に鄭總理は率先この擧に賛成し多數の揮毫を快諾した

## 重壓を脱して又この難關

### 滿洲國官吏消費組合で 邦商側ちかく陳情

【新京二十六日發國通】滿洲國官吏消費組合成立の報を齎し新京輸入組合に久米主事を訪へば〃前からその噂は聞いてゐましたが、全く拔打的でしたね〃と語る

滿洲國官吏消費組合が成立したとて事外國に關する問題だから、我々の立場からは理論上如何とも出來ないが、邦人小賣商が打撃を蒙る事は事實ですから何等かの對策を講ぜねばならぬ、まして關東廳や滿鐵の消費組合がある以上はこの問題のみを特にどうと言つても始らないが、こゝに一つ重大な問題として爲政者に考へて貰はねばならぬ事は、事變以來滿洲に於ける邦商の發展は素晴らしいもので舊東北政權時代重壓に重壓を加へられた邦商がその重壓から脱しただけで今日の如き發展を見つゝある際、消費組合の成立に依つてこれが發展を阻害するやうな事は考慮すべき問題と思ふ、殊に日滿議定書の精神に基き日本は國策として滿洲移民を重大視してゐる以上、これが自由商業移民發展の阻害されるやうな事になれば、日本側當局者としても無關心ではゐられないであらう、自分としては新京輸入組合の一問題としてゞはなく滿洲

**輸入** 組合聯合會並に全滿商工會議所の問題として關東局並に關係當局に事情の報告と對策陳情書を提出する事にしたいと思ふ、取敢ず輸入聯合會へ電報で報告したが、年明けを待つて何等かの形式で日本當局へ陳情と考慮を乞ふ積りだ

# 千惠プロ日映と提携
## 『利根の川霧』より 歳末映畫界再び混亂

日本時代劇映畫界一方の雄片岡千惠藏を盟主とする千惠藏プロダクションは先般來日活との間に圓滿を缺き、十一月中旬に日活との決裂を傳へられたが日活系四社聯盟の調停によつて一度は日活に復歸することゝなつてゐた處、去る二十一日又復日活との間に紛爭を起し卽日日活と絶縁、日本映畫配給會社と提携することを聲明、同時に日本映畫配給會社では獨自の立場で次の如き宣傳文を全國新聞關係に送付した

大河内傳次郎と並んで、日活を支へてゐた千惠藏プロダクションの去就は、昨今映畫界の最大の問題であつたが、昭和映畫株式會社の成立によつて、事態は一應片附いたやうに見えてゐたところ、俄然形勢は一變し、千惠プロは遂に日活と袂を別ち、名實共に獨立プロダクションとなり、その配給は日本映畫配給株式會社がなす事に決定した、第一回の配給は千惠プロ新春の超特作、稻垣浩監督のオール・トーキー「利根の川霧」と決まつたが、日映では千惠プロの時代劇に第一映畫の現代劇と、これで堂々日本一の全プロが組める事となつた、尙「利根の川霧」には第一映畫から羅門光三郎、雲井龍之介、芝田新、大倉千代子等のスターが大擧應援してをり、言はゞ千惠プロ第一映畫共同作品の如きものである(寫眞は問題の「利根の川霧」の一場面千惠藏と第一映畫の大倉千代子)

# 新春映畫陣(五)
## 初めて本格的混合プロ發表 大都映畫の寶館

大都映畫の封切館たる寶館では十二月中旬發聲裝置の設備を行ひ、三五年度の映畫界に飛躍すべく準備を進めてゐたが、正月第一週よりは斷然混合プロを編輯して大都ファンを地盤に大いに日活、松竹新興の封切館と成績を爭ふべく計畫を進め新春三週間のプロを次の如く發表した

**第一週** ▲大都映畫特作時代劇、益田晴夫監督、阿部九州男主演、北見禮子、藤間林太郎助演「次郎長身代り旅」▲特作現代劇、大江秀夫監督、隼秀人、琴糸路主演「鮮血の掟」▲パラマウント映畫「凸凹サーカス戰爭の卷」

**第二週** ▲大都特作時代劇、石山稔監督、海江田讓二主演オール・スター・キャスト「やくざ系圖」▲大都明朗現代劇、大江秀夫監督、伴淳三郎、琴路美津子主演「微笑む友情」▲パラマウント映畫「暗黑街の女」

**第三週** ▲大伴龍三監督、特作時代劇、桂章太郎主演「髭の傳五左辻往來」▲特作現代劇、大江秀夫監督、隼秀人、琴路美津子主演「銀鱗の花籠」▲外國映畫一本

以上の如く寶館としては始めての本格的混合プロであるが、何の程度まで成績をあげるかは業界興味の的である

# 日活京都のスターが寫眞で駐滿軍を慰問

酷寒朔風の北滿に生命線を守る滿洲派遣部隊慰問のため、京都スタヂオ御室では將兵慰問の方法が講ぜられてゐるが、日活では逸早くスターの正月の晴れ姿を撮影したスチールに手拭、慰問文を送るべく情報係が中心になつて活動してゐる

# 新興新春第二陣 撮影を開始

新興キネマの正月封切映畫は既に完成したが新春第二陣映畫として目下準備中或は着手せんとするものは左の通りである

◆「波」山本有三原作、村田監督
◆「白銀の王座」内田監督、島耕二、小杉勇、市川春代共演
◆「春雪白日夢」八尋不二原作、藤田監督、河津淸三郎、高津慶子、毛利峰子共演
◆「ちや〱馬補八」山内英三原作、押本監督、大谷日出夫、歌川八重子、衣笠淳子共演
◆「釣鐘草」吉屋信子原作、川手監督、藤立のぼる、林家美枝、東榮子共演
◆「民衆の太陽」桂川流二原作、上野監督、田中春男第一回主演、森静子、江川なほみ共演

獨創的であり、又相當金がかかつてゐることがはつきりわかる宣傳をするのは何といつても日活館が筆頭であるが▲吉例の新春プロ編輯の豫想投票は本年も非常な成功で、締切り日までに四千五百餘名の應募者があつた▲中で五週までのプロを適確に當てた人が數名あつたが殆ど女性ファンで男は唯の一人▲何れにせよ五千人近くの人々に日活館の正月プロを完全に數へ込み日活館のファンに獲得したことは大成功と云へよう▲尙ほ日活館では吉例によつて正月元日よりの入場者一萬一人に金刀比羅サマのお札を贈ると

（明治卅八年十二月五日第三種郵便物認可）

（日刊）

# 滿洲日報

朝夕刊共十二頁

大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社
私書函一三五號・振替大連六〇



# 日滿經濟提携へ更に前進

# 經濟委員會構成、目標

## 兩國政府、同數の委員を任命

## 事務局をも別に常置

【東京特電二十七日發】日滿經濟ブロツク完成と兩國の完全なる合作のため來春設立さるゝ日滿經濟委員會の目標及び構成は大體次の如くであるといふ

一、日本國政府及滿洲國政府は相互の產業經濟の統制を强化確保する目的を以て常設日滿共同經濟委員會を設置す

一、同委員會は兩國における經濟分野の相違性並に特殊性を認識調和し且つ相互に相手國の企業組織に急激なる變動を及ぼさざるべきことを前提として双方の共同の繁榮策を樹立すべきことを目的とす

一、同委員會は日滿兩國政府において任命する同數の委員を以て構成し且つ委員の下に更に隨員を置く、隨員は當該分擔事業の專門家を以て充つ

一、同委員會の事務處理を敏活ならしめるため委員會外に事務局を常置す

# 對滿經濟政策建直し

## 經濟委員會の設置に伴ひ

【東京特電二十六日發】政府は豫て行政機構改革と併行して在滿經濟機構の根本的建直しを圖り、曩に廣田外相は國際產業通商事項に最も造詣の深い川島特命全權公使を滿洲に派遣して日滿經濟統制並にこれを運行すべき機關の設置に關する根本策樹立を調査せしめたが更に本月十五日柳井東亞局第三課長を同地に派し日滿經濟委員會の設置に伴ふ新條約方式案に關する現地の調査をなさしめ同課長は二十六日午後三時二十五分歸任、直ちに外相に復命報告した、かくて外相は南全權と連絡をとりつゝ其の要望たる日滿產業協定の具體案作成に着手し明年早々滿洲國と正式交涉を開始する筈であるが、日滿經濟委員會設置の曉は從來の滿鐵本位の對滿經濟政策に劃期的改革が行はれ懸案の滿鐵改革も必然的に問題となるであらう

## 勅語奉答文可決

【東京二十七日發國通】二十七日の貴族院本會議は午前十時十五分開會、近衛議長開院式の勅語に對する奉答文を朗讀して議場に諮り全院起立して之を可決、次いで日程に入り

一、全院委員長の選擧　投票の結果、投票總數二百十九票中、二百十四票で德川圀順公全院委員長に當選、次いで

一、常任委員の選擧　につき各部において選擧のため午前十時四十分休憩、午前十一時二十八分再開、近衛議長勅語奉答文捧呈のため參內した所、優渥なる勅語を賜はつたとて總員起立裡に左の勅語を捧讀する

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

次いで各常任委員選擧の結果を書記官より報告、近衛議長は明年一月二十日迄休會の件を諮り異議なく承認同三十七分散會した

### 貴族院奉答文

貴族院議長　臣近衛文麿誠恐誠惶謹テ
叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス
玆ニ第六十七回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ　臣等謹テ叡旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ皇猷ヲ贊襄セムコトヲ期ス　臣文麿恐懼ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス

# 南大使、國書捧呈

## 滿洲國皇帝より種々御下問

## 勤民樓上莊嚴な儀式

【新京電話】新任南駐滿全權大使の滿洲國皇帝陛下に對する國書捧呈の儀は二十七日午前十時より宮內府勤民樓において行はれた、此日北滿の冬特有のすつきり晴れ渡つた朝九時二十分盛裝せる南大使は谷、守屋兩參事官、板垣、大島兩大使館附陸海武官、吉澤、松隈、佐藤、山本各一等書記官、林出、花輪、筒井の各二等書記官、井上、桝谷、吉田各三等書記官等隨員十六名を隨へ許掌禮處長と宮內府に

禮車に　同車、宮內府に向つた、宮內府警衛車の先導にて同四十分宮內府着、滿洲國各禮官の承光門外にて出迎へる中を大使一行は直に勤民樓候見室に入り少憩、この時滿洲國皇帝陛下には大元帥の御盛裝にて東便殿より勤民樓に入らせられ、二階の式場に臨ませられた、南大使は隨員と共に沈宮相の案內にて二階式場に入り皇帝陛下には左に工藤侍衛官長、沈宮相、許掌禮處長、右に張侍從武官長、謝外相を隨へさせられ式場に臨御、南大使は谷參事官以下隨員を後方に隨へて皇帝陛下と相對して起立、陛下には南大使以下の敬禮を受けさせられ南大使は前進して皇帝陛下より握手を賜はり退下した後、

言上書　を朗讀し、林出行走謹んでこれを滿洲國語にて御通譯申上ぐ、茲に大使は谷參事官の捧持した菱刈前大使の御解任狀及び南大使に對する御信任狀を捧呈した、皇帝陛下にはこれを受けさせられ謝外相に御自ら御手渡し遊ばされた後、畏くも日本天皇陛下、皇后、皇太后兩陛下、皇太子殿下の御近狀につき南大使に對して御下問あらせられ、御親みの情を示されたと洩れ承はる、これに對して南大使は謹んで御答へ申上げた、更に大使は隨員一同を皇帝陛下に御紹介申上げ、茲に莊嚴なる國書捧呈の儀式を終つて候見室に退けば、沈宮相は滿洲國側宮內府高官を大使に紹介し、少憩後勤民樓前に於て皇帝陛下並に宮內府高官、日本側南大使以下隨員一同と記念

撮影を　なし同十時三十分宮內府を退下、茲に目出度く國書捧呈を終つて日滿國交の緊密益々固きを加ふるに至つた

### 關東局開局式と新看板

（寫眞は式場と新看板）
關東局では二十六日午後五時三十分日下司政部長を始め局員會議室に參集、開局式を行つた

## 再度參內

### 軍司令官として

【新京電話】國書捧呈の大任を滯ほりなく果し午前十時半官邸に歸還した南全權大使は直に勅使許宮內府掌禮處長を別室に招じ隨員一同を交へて三獻の盃を擧げて同書捧呈の儀式無事終了を祝したが、午後二時關東軍司令官の資格にて南大將は西尾、板垣正副參謀長以下軍幕僚全員を從へて再度參內、滿洲國皇帝に拜謁優渥なる御言葉を賜はり二時四十分退下、次で二時國務院を訪問、鄭總理以下各大臣、各參議等滿洲國要人に着任挨拶をなした

## けふ皇帝の賜餐

### 南大使・宮廷府に參內

【新京電話】二十七日朝國書捧呈の大任を無事果し次いで午後軍司令官として再度拜謁を賜つた南大將は同三時國務院において鄭首相始め滿洲國要人と初會見をなし三時半駐滿海軍部を訪問し津田司令官と會見、次で四時半官邸に於いて在京記者團と會見を行つたが同夜は六時よりヤマトホテルに日滿要人百餘名を招待し盛大なる晚餐會を催した、なほ二十八日は午前九時半軍司令部廳舍を巡視、十一時半訓示をなした後、軍並びに大使館首腦者等を隨へて宮廷府に參內、滿洲國皇帝の賜餐を受ける豫定である

## 充分意見を聽き

## 是々非々で進む

### 大場新長官の抱負

南新軍司令官出迎へその他のため新京に赴いてゐた新任關東州廳長官大場鑑次郎氏は同內務部長米內山震作氏及び新任大連民政署長水谷秀雄氏とともに二十七日午前八時四十分着列車にて歸連、直に旅順に歸任新關東州廳に初登廳して新任の感想につき左の如く述べた

日滿朝野の注意を惹いた在滿機構が茲に無事實施され新州廳が誕生し私が新長官に任ぜられた [illegible] やうなものはなく全然白紙の狀態でこれから各部長、各課長から種々の建策、意見を聽き是々非々主義の下に任務を盡す考へである、時正に非常時、この際上下一致國策遂行に當る時に際し幸ひ廳員一同の努力に依り遺憾なきを得ば幸ひである

## 關東州廳

## 開廳式

[illegible] 下に二十七日午前十一時三十分多忙裡の州廳職員二百數十名が參列舉行された、式は兒玉拓務大臣の告辭傳達に始まり、同大臣の挨拶並に南全權大使の訓示傳達あり、次いで大場長官新任の挨拶を兼ねて新機構下の職員の緊張と努力を望み且つ激勵する所あつた、これに對し田邊警務部長全職員を代表して答へ、最後に長官の發聲で州廳の萬歲を三唱し同十一時五十五分終了した

## 長岡新總長

### 出張所員に訓示

【東京特電二十七日發】長岡關東局總長は二十七日午前九時から東京內幸町の同出張所で在京職員に挨拶した、此日午前八時過ぎ守衛よりも早く朗かな顏を見せて、遅れてやつて來た小宮經理課長、山本出張所主任を面喰はせた、訓示も固くるしいことは一切抜きにして一同に對し"宜しく賴む"と強く明るい調子で述べ、冷酒を酌んで新機構の前途を祝した後各宮家に伺候した

## 懸命の努力

### 日下司政部長談

【新京電話】關東廳內務局長より關東局司政部長となつた日下辰太氏は新機構實施に付いて二十六日左の如く語る

本日關東廳官制の改正が發布せられ大使館內に關東局が設置される事となり關らずも私が司政部長の重職を拜命致しました事は實に感激に堪へざる所です、南大使は本日初登廳され我々に對し御親切丁寧なる御訓示があ [illegible] べき方針を訓示された、私はこの御訓示の趣旨を體し又近く赴任さるゝ長岡總長の御指示に依り我が對滿國策遂行に懸命の努力をしたいと思ひます、關東局の開廳準備に付いては先般來準備委員會を編成して移轉準備に專念したゝめ着々進捗し既に一部の人たちは出京して居るが殘餘の全員も正月の御用始めまでには殆んど新京に出揃ふ筈でこれ等の部員諸君は何れも欣然として赴任し重大なる勤務に服する事を心より喜んで居る次第で茲に各方面の各位が我々に對し從來與へられた御厚意を厚く感謝すると共に將來一層の御支援と御協力を希望して止まない次第であります、又司政部の人事については事務の都合上尚幾分の變更があると思ふが大體はこれで決つた譯であります

## 水谷民政署長

【新京電話】關東廳文書課長より大連民政署長に轉じた水谷秀雄氏は同時に專賣局長を兼任する事となつたが、關東廳の殘務を整理二十六日午後八時旅順に赴き大連赴任は二十八日頃になる模樣

## 關東局判任官

### 人事の決定

【新京電話】關東局判任官約二百五十名の人事は二十六日夜深更銓衡を開始したが二十七日迄に全部完了の見込み

### 民政署長事務引繼

大連民政署の新舊兩署長の事務引繼は二十八日午前十一時署長室において行はれる

### 入港船

扶桑丸は二十八日午前八時二十分▲千歲丸は同正午大連外海着豫定

# 衆議院の各委員長

# 政友遂に獨占

## 政・民正面衝突不可避

【東京特電二十七日發】議長選擧の對立によつて一頓挫を來せる政民聯携は其の後全院委員長及び各常任委員長の割當てに於いて尚一脈の聯携を繫がうとする計畫が行はれ民政黨は前議會通り全院、決算、建議の三委員長を自派の手に收めんと欲したが政友會は既に議長選擧において民政黨が政友會と抗爭せる以上、斯くの如き妥協は全く無意義であつて却て民政黨の術策に陷るものであるとなし二十六日行はれた兩派の交涉會は遂に決裂となり兩派各候補者を立てることゝなつたので、各委員長は全部政友會の獨占に歸し兩黨聯携工作は茲に全く無效に陷り今期議會は政民兩派の正面衝突を來すこと不可避となり延いて情勢險惡を加ふるに至つた

### 衆議院本會議

【東京二十七日發國通】二十七日の衆議院本會議は午前十一時五分開會、植原副議長開會を宣し、直に休憩

### 委員長顏觸

【東京二十七日發國通】衆議院の全院委員長と各常任委員長は政友會の獨占に決定した

全院委員長　田口文次
豫算委員長　砂田重政
決算委員長　寺田市正
請願委員長　山本愼平
建議委員長　丹下茂十郎
懲罰委員長　牧野賤男

# 國策審議會と

## 內閣調查局の要綱決定

【東京二十七日發國通】二十七日の閣議に於て國策審議會並に之に伴ふ內閣調查局の要綱を左の如く決定した

### 內閣審議會

一、名稱は假に內閣審議會とすること
一、內閣に屬し重要政策に就いて審議すべき諮問機關とすること
一、組織
イ、會長は內閣總理大臣が當ること
ロ、委員は十五名以內とし學識經驗あるものを選んで勅命せられる
ハ、國務大臣は委員とならぬこと、但し會議に出席して意見を述ぶることを得
ニ、內閣審議會に關する庶務は內閣調查局が之を掌ること

### 內閣調查局

一、內閣調查局は內閣總理大臣の管理に屬すること
一、內閣調查局の主管事務は內閣審議會に屬する諸務並に審議會に提出すべき資料、試案等の整理及行政、財政、經濟、產業、教育其の他一般重要政策に關する調查、なほ統帥事項に屬する軍事並に外交の機微に屬する事項は除くが廣義の國防、外交、例へば國防と財政の關係、外交と貿易の關係等は關聯事項として調查の範圍に入る、その他特に內閣總理大臣から命ぜられた重要政策案の審查を行ふこと
一、內閣調查局には長官一名（勅任）參事官十五名以內（內五名勅任）この外に特別の事項を調查する爲め專門委員或は調查委員等を命ずること
一、專門委員又は調查委員は官吏學者實際家等朝野有識の協力を仰ぐこととし各方面の人材を網羅すること
一、部門を分けず參事官をして自由に組合せを行ひその專門事項を擔任調查し調查に當らしめること
一、調查局には常任委員を置く、常任委員は內閣書記官長、法制局長官等を充て內閣調查局と內閣審議會との聯絡に當り右委員は內閣審議會に於いては幹事となる
一、豫算は初年度に於いて四十四萬圓程度平年度三十八萬圓程度とする

## 北鐵交涉

# 銀行團の保證は事實上不可能

## 蘇聯の要求を一蹴

【東京廿七日發國通】東鄉カズロフスキー兩氏は二十六日午後二時より午後五時半まで第二次會談を行つた、東鄉局長はソ聯の提案は物資支拂に銀行團の保證を求めるが、事實上不可能で之を固執するはソ聯側の眞意疑はしいとて反省を要求し、又物價裁定委員會に第三國人介入の件は絕對に承認し得ぬとソ聯提案を一蹴した、カズロフスキー氏は之に對し確答を與へず、ユレニエフ大使と協議の上二十七日午後二時續行となつた、之で双方の意見一致せば明春早々廣田、ユレニエフ兩氏間に會談の豫定である

## 監理部長を本官に

### 監督部長は兼任

【東京特電二十六日發】關東軍交通監督部長は官制に無い職名なるため大村卓一氏は監理部長が本官となり、交通監督部長を兼任する手續となつた

## 蘇聯領事

## 事務引繼

ソウエート大連駐剳新領事イー・ジエー・ゴルブツオーフ氏は二十七日領事館において代理領事ジーボルド氏から事務引繼を完了した　大連ソウエート領事館には前任領事アイ・デイ・ミハイロフ氏が本年九月末までその椅子にあつたが同氏がモスクワに引揚げて以來は今日まで領事空席となり同氏のセクレタリーたるジーボルド氏が領事事務を處理してゐたものである新領事ゴ氏は最近まで在ロンドンソ聯大使館附として勤務して居たが本年八月一旦モスクワ外務人民委員會に歸還し、改めて在大連領事を任命されたものである、氏は領事館で次の如く語る

日本官憲の援助を得て兩國の關係を益々親善の方向に向けることに努力したいと思ひます、滿洲國及び日本に對する豫備知識は新聞で見た程度ですこれからうんと勉强する覺悟です（寫眞は新領事）

## 社員會座談會

### 岡村少將中心に

滿鐵社員會では二十八日午後四時半から社員俱樂部において凱旋途上にある岡村前關東軍參謀副長を中心にした座談會を開くが、當日は社員會側より多數出席ある筈



## 關東廳辭令（十二月二十四日）

遞信局技師海軍豫備機關少尉　正六位　松岡太郎
任關東廳海務局技師　敍高等官四等　六級俸下賜
關東廳海務局技師　松岡太郎
關東廳海事課長を命ず

## 岡村前副長

### 旅順訪問

前關東軍參謀副長岡村寧次少將は二十七日午前十時自動車にて來旅要塞司令部、關東州廳を訪問挨拶更に白玉山に參拜正午大連に引返した

## 田中少將新任挨拶

【新京電話】旅順要塞司令官田中稔少將は新任南關東軍司令官に挨拶の爲め二十六日午後五時半着あじあで來京二十七日軍司令部を訪問、南軍司令官、西尾、板垣正副參謀長と會見着任挨拶をなした

●正誤●　二十七日朝刊新機構人事發令記事中、日下司政部長の官等「五等」とあるは「二等」の誤り

### 人事

▲宮本清一氏（砲兵少佐）二十七日入港はるびん丸で來連
▲山本眞三氏（三等主計正）同上
▲幡川錬治氏（步兵大尉）同上
▲湯淺秀雄氏（旅順要塞附三等軍醫正）同上歸連
▲昭和製鋼所新入社員一行八十六名　同上
▲田邊利男氏（滿鐵々道建設局次長）二十七日出帆あめりか丸で內地へ
▲近藤壤太郎氏（ハルビン駐在內務事務官）同上
▲池田巍氏（臺灣生果重役）同上臺灣へ
▲陸軍傷病兵一行六十九名　同上內地へ
▲伍堂卓雄氏（昭和製鋼所社長）廿七日午前八時着列車にて來連
▲岡野勇氏（大連市助役）二十七日午前八時四十分着列車で歸連
▲河本大作氏（滿鐵理事）同上
▲大場鑑次郎氏（關東州廳長官）同上着連後赴旅
▲米內山震作氏（關東州廳內務部長）同上
▲水谷秀雄氏（大連民政署長）同上歸連
▲山田三平氏（遼東ホテル主）二十七日午前九時發あじあにて
▲寺澤晉叡氏（奉天ヤマトホテル支配人）同上歸任
▲迫喜平次氏（電業會社取締役）同上
▲三毛一夫中將（〇〇〇〇隊司令官）菱刈長官見送りのため來連中のところ二十七日正午發はとにて歸任
▲上田竹槌氏（鐵路總局安東自動車事務所長）同上

年內にお正月を迎へた新機構、行く人、來る人、眩しき人事異動に歲晚のやうな慌しさ。
◇
武勳に輝く菱刈、岡村兩將軍の凱旋行。
◇
旅大の一兩日は、正に感激と萬歲のルツボである。
◇
明朗、深謀兩將軍の上に、今後一層光榮あれ、と祈る。
◇
小川市長が溺れる方向を間違へて非難されて居る。

## 社説

# 贈答の世風とその利弊

中元歳暮の年中行事として一般に行はれる物品の贈答は、唯日本傳來の國風なるのみならず世界各國に共通する同工異曲の社交現象であるが、兎角形式に流れ易い近代の世相は、この行事の應用に就いて甚だしく浮華の度を高め、心ある人々をして機會ある毎にその弊害を非難せしめ、更に團體的にこれが廢止に就ての運動をさへ起さしめるやうになつた。確かに時弊に適した好傾向と許するに足る。第一この種の風習は各人をしてその煩に堪へざらしめるのみか、或る家庭に於ては少からぬ無用の失費であつて、之が爲に蒙むる不便は決して鮮少でない。殊にそれが世潮に餘儀なくされた虚禮である場合には、贈答物の性質、贈答の方法、一に形式體裁を粉飾するに過ぎず、甚だしきは甲乙互ひに他の贈答品を遞送交換して自から慰むるのみとなる。かくては交友社交の親情を表示するに於て殆んど意味をなさぬ。

◇

唯だ併しこの行事その者の根本動機を深察すれば、必ずしも一概に俗惡視すべきでなく、自づから美點のその間に存することを見得る。一般家庭間若くは個人間の交遊が質實な時代に於て、偶々手に入れた物を割愛して相思の意を表し、若くは平素世務に忙殺される身の、一年の佳節を利用して久濶の情を温め合ふなど、生活の社會的連鎖を深廣ならしめる意味において非常に有益である。それは恰も骨肉故舊の間に應酬される信書の往復と同樣、事務的には何等冠するに必要の二字を以てすべきものはないが、互に不忘の情誼を表明する上に言ふべからざる味がある。古よりいふ所の家書萬金に値するの語は、交通不便な時代も往來至便の現代にも、それが相手に齎らす好印象に於て増減はない。殊に況んや日常生活の總てが事務的となり、事々利を主とし語々理をこれ旨とする複雜繁忙な世態の間に遑々する者に於てをやだ。中元歳暮の贈答もその趣旨とする所は之と異なる所はない。隨つてその贈答する物品の豐歉は問ふに及ばず、それに寄託されたる情誼の深淺を見るべきだ。所謂物徼にして志の厚きを傳ふれば足る。

◇

然るに近代の一般贈答は心情の如何よりも形式に重きを置き意此にあらずして彼に在り、殆んど世風なるが故に責を塞ぐに過ぎぬ觀が多い。勿論繁劇なる日常生活である。その間特に相往來して誼を謝し、情を暖むるに遑ない世相に處しては、一年の好機を利用して右の缺陷を補ふことは人情の自然であり、社交の通理でもある。それが人間生活の定則であつて、古今その軌を同うするが、併し近代のやうに多くが形式化し利害化し、浮華輕佻の虚禮化するに於てその弊の甚しきものがある。殊にこの弊風の爲に各人各家に經濟的餘毒を波及するが如きは、寧ろ文化生活の堪へ難い負擔と稱すべきである。世間の識者が同時にこの消息を熟知して而も改むる能はず、年々慣習の間に浸法子たる繰返して居るのは賢明でない。

◇

要するに贈答の風はそこに長短是非の二點あるが爲に、直ちに存廢の孰れにも就くことは困難な譯であり、曾て質樸單純なり社會が時代の進歩につれて變遷した爲の結果であらうが、それだけそれに對する是非の論議は存廢よりも改善の方法に注がるべきだ。その旨趣を精神的にその方法を單純清新ならしむるが好いと思はれる。而してかうした改革は近代生活が益々組織的に、團體的になつただけ比較的案出し易いともいへるが同時にそれを個人的よりも家庭的ならしめる爲に、基督教國におけるクリスマスの如き節會の先例、廣義に國風化される必要もあるであらう。結局大衆生活に缺くべからざる社交觀念を清新ならしめればならぬと力説したい。

# 滿洲國官吏消費組合問題

# "商業繁榮を阻み國都建設にも支障"

## 商議、輸入組合聯合會を開催 大々的に反對運動

【新京電話】滿洲國官吏の相互扶助各人の福祉增進の目的を以て設立される滿洲國官吏消費組合に對してはその影響する所甚大であるとして中小商業者間に反對の叫びが揚がつてゐるが消費組合本部所在地たる新京商工會議所並びに輸入組合では二十七日正午よりそれぞれ組合委員會並びに緊急委員會を開催、對策に關して意見を取纏めることになつたが更に全滿的問題として何等かの形において商工會議所聯合會、輸入組合聯合會を開催し大々的に反對運動に入らんとしてゐる、なほ商工會議所、輸入組合側としての消費組合設立反對意見は大要左の如くである

滿洲國官吏消費組合設立は中小商業者輸入組合員に大打撃を與へることは勿論であり、滿洲國の經濟的發展にも支障を來すのではなからうかと危惧される、即ち國策上定められたものに對しては反對は出來ないが現在滿洲國は發展途上にあり全滿各地へ日本の中小商業者の入植時代であり都市建設時代である、かゝる際に滿洲國官吏の生活權保持の爲にのみなされる消費組合の設立は妥當ではないと思考される、先づ中小商業者の經濟的獨立の可能性の充分なるに至つて後設立されるべきものではなからうか、現在に於ける組合の設立は伸びんとする滿洲國の商業に對し大きな不安を與へ且つ國都建設に支障を來たすものである、即ち繁榮せる大都市は中小商業者が中心となつてゐることよりみれば新京のそれにも小商店街の完成に俟つ所多い、然るにこの組合の實現は滿洲國官吏目當に明年度を期して豐樂街に實現せんとする小商店街の前途に甚だしき不安を齎すものであり全滿各地に伸びんとする商業を萎業の中につみ取る如きものである

# 不自然な高物價

## 組合設立により反省を促す 發起者の一人語る

なほ消費組合設立について設立發起人の一人たる某日系官吏は語る

我々が今度發起して消費組合設立するに至つた理由はいふまでもなく新京の物價が沿線の他地方に比して法外に高く、これを無税地の大連より高いのは普通としても、その割合が物によつては倍額に達してゐるものもあり平均三割高を示してゐる事實に當面してゐる結果である、それに新京の商人は概して得意に對するサーヴィスがなつてゐない、現に市内の比較的大きな百貨店に入つてもその店員達の商賣に對する不親切さは全く驚くばかりで初めて新京の地を踏んだもの、異口同音に發する言葉である、如何に過渡的時代とはいへ萬事整備しかけてゐる國都新京としてかうした不自然な高物價で推移することは甚だ好ましくない、吾々は生活上の自衞の爲に強てより然るべき對策を講ぜねばならぬと考へてゐた次第だつたが偶々事茲に至つたことは新京商店街の現況に照して決して偶然ではない、これによつて市中商店の購買力が幾分減るか知らないが少くとも一般消費者にとつてその高物價緩和の爲に多少とも貢獻が出來ることと信ずるもので組合が一見小さ過ぎるやうにみえるかも知れない、運用資金の捻出方法は組合利用の擴大と共に自ら生れやう更に吾々一個の希望としてはこれによつて依然として新興都市の景氣に醉つてゐる市内商店の反省を促したいことである

新京商工會議所其の他全滿商議、滿洲商工會議所聯合會事務所である實業團體に飛電し各地の情報を取纏めて對策を講ずる事となつたが新京商工會議所は震源地である關係上二十七日午後緊急役員會を開催對策を講ずる旨の返電があつたので新京商議の態度決定を待つて對策を講ずることゝなり明年早々全滿商議聯合會を開催して全滿商人の反對の聲として日滿要路にこれが阻止方を陳情する模樣である

# 奉天商議對策

【奉天電話】滿洲國官吏の消費組合設置問題に關し奉天商工會議所では一般商人に絶大なる脅威を與へるものとして重大視し二十六日滿……

# 機械關係の人物が缺乏

## 鐵路總局員採用試驗了へ 大里人事科長語る

【安東電話】鐵路總局は今や滿洲國鐵道の延長が躍進的增加をみるとともに素晴らしい發展を見つゝあり、從事員においても著るしい增員を見つゝあるが恒例に依つて滿鐵が内地各學校新卒業生採用に際し總局としても大學專門學校二百名、中學校約五百名の採用試驗を行ひ、既に決定を見た總局人事科長大里甚五郎氏は採用試驗や宇佐美局長と事務打合せのため約四十日東京にあつたが二十七日午前十時過安歸任の途語る

今年は特に事務員も技術員と同時に採用試驗を行つた多數應募者のあることを豫期して各學校長へ人員の推薦を依頼して約千名の採用試驗を行つた譯だ特に感じたことは機械關係に人の缺乏を見てゐることだそれには軍需工業の盛んなことに由來してゐることゝ思ふが事務方面にも非常に眞劍で良い人が澤山あつた、鐵道省から入れるといふことは今のところではないが北鐵を引受ける樣になるか或は特殊な技術員を要する樣なことがない限り先づ輸出を見る樣なことはないだらう、現在國線に從事してゐる滿人の教育は當初から意を用ひてゐるところで滿洲國各部門が日滿合作の意味から指導し留學生を内地におくつてゐる樣であるが總局も從事員中優秀な者を内地へおくることに決定した第一着手として七名を選拔一年半の豫定でおくると同時に幹部級の者二十名ばかりを五十日の豫定でおくる筈で近く正式發表を見て來春三月出發することになると思ふ、その他日本人にしても外國ばかりでなく内地留學の制を設けてその教育につとめたいと考へてゐる、益々尨大となる國線の運營には良き幹部の養成が必要だ滿人從事員も今では日人と融合につとめ立身のため喜々として業に勤めてゐる

衝を重れた安東省甲斐總務科長は二十七日午後二時四十分歸安したが語る

省設立以來活動を續けやつと成功した、この外來年度にはまた二百萬圓位の救濟事業費を得ばならぬと思つてゐるがこれは急がないのでしッかり案を樹てたいと思つてゐる、兎に角省の事業の第一歩として大成功だつた

# 聽取料再檢討

◇電々當局が新京百キロ放送實施と共に每月一圓也の聽取料をファンの意思を無視して强制的に徵收する放送局の專權不合理極まることは何人も是認する所である。

◇電々當局は新京五七〇KCの長い波長は受信出來ない器械が多い事は御存じ無きや、當局は内地中繼に專ら意を用ひて居るやうだが、當地では多球式所持者が多いから直接スムースな内地や京城を聽く方が遙かに好調子である爲、中繼の恩典に浴するものはほんの一部に過ぎないのみならず、中繼は費用が省けるのに料金增徵は不合理である。

◇又放送時間の延長、ローカル的なもの等を看板にしてゐるが、ローカルカラーといつても滿人に對するサービスであつてカチヤ〳〵ピイ〳〵にヒステリカルな聲色を放送されては寧ろ耳ざはりに過ぎ無い、過去一箇月の試驗に依ると放送設備や内容に於て何等改善されてゐない、またファン待望の百キロがどれだけ利便を齎したか、効果においては殆ど從來と大差ない。

◇又ラヂオ聽取者は裕福階級だからー圓位は苦痛で無いといふが人の懐中を打診して値をきめるとは怪しからぬ、要するに一圓の價値あらしむれば文句は出ない筈だ、効果のないものを認むる譯に行かない。

◇なほ大衆的な内地野球放送中繼の如き一言一句聽き洩らさじと努めて居る時、中途で特產相場の御知らせ等而も丁寧に二回も反覆されては全くいやになつてしまふ、それらはほんの一部の人士に過ぎないから終了後に放送して澤山では無いか、かういふ放送振りや施設を改善せず、而も時代逆行の突飛な料金制では滿洲におけるラヂオの發展は期待し得ぬ。（雷知男）

# 市長等の運動は新機構を無視す

## 各方面に批難起る

曩に在滿機構問題の紛糾に際し小川大連市長が市會議員諸氏と、もに上京して政界各方面に策動を試みたことに對し軍部方面では同市長等が所謂文主武從論を振り廻して機構改革に反對運動を行つたものと解してゐたが小川氏は所謂大連市政擴充運動が主要目的であつたと辯解したので更に關東廳方面からは問題紛糾の機會に乘じて市制擴大を圖るが如きは全く事態を辨へない言動であるとして反感を招き折角の市政擴大策も却て可能性を減少した結果となつた、ところが今回又大連工業學校建設費が大藏省の査定により否認さるゝや、その復活運動と稱して小川市長、大内市會議長は二三の市會議員とともに上京して政府關係方面を運動中であるが、運動の趣旨そのものは何人にも異論のないことであるとはいへ現地の官廳を差し措いて直接政府に交渉することはその當を得ない、殊に新機構も確立して文武一體の行政が面目を一新した際大連市長等の此の行動は新機構の精神を全く無視せるものであるとして關東局及び關東州廳双方に於いて批難の聲が揚げられてゐる

# 貨幣の純分低下や不兌換政策は採用せぬ

## 銀流出問題に關し蔣介石氏語る

【上海二十七日發國通】銀流出に伴ふ金融界の不安動搖に就き蔣介石氏は二十六日支那紙記者に左の如く語つた

最近上海に於ては銀問題に就てデマが横行し爲めに人心は動搖し金融方面は著しくその影響を受けてゐるがこれ等デマは悉く投機業者の捏造であり、余は一再ならず財政部をして聲明を發せしめた、國際銀價と我國の銀價の差額は著しく大きくこれが爲に生ずる銀流出の防止に對しては平衡税政策をとつた、今後も必要に應じて必要の手段を講ずる心算だが併し如何に國際銀價との開きが大きいからとて貨幣純分低下乃至不兌換政策の如きは我國の國狀から見て社會政策上採用の意思は毛頭ない

# 東邊道復興案

## 年内決定を見ん

【安東電話】東邊道復興救濟案については過般來安東、奉天兩省聯合で鋭意研究を進め約一週間ほど前より兩省當事者間で兩省案をもつて新京に向ひ民政部當局と協議の結果民政部は斷然復興の擧に出ることに贊成し、兩省案を基礎に民政部案を樹て、國務院會議に諮ることゝなつた、二十六日中に決定を見る筈で協議、具體案は同會議で可及的急速に實施される筈である、事窮民救濟に關するだけに年を越すことを得ず決定が急がれたものであるが、折衝のため赴京してゐた安東省別宮總務廳長は二十六日午後二時四十分歸任し語る

民政部は双手をあげて贊成したが國務院の議にかけねばならぬので一日遲れて決定をみる筈だ忙がしくて思ふやうにはかどらなかつたことは殘念だが今年中には具體的決定をみる筈である安東、奉天兩省に亘つて約十五縣がその對象となる筈である

# 義倉整理調査

【奉天電話】奉天省公署では水災旱魃其の他萬一の場合に備へるため本夏來各縣公署に對し義倉整理調査方を通達してゐたが新行政區劃の實施その他で調査未完了の縣が多いので今般可及的速かに調査報告方を嚴命した

# 織物七十八組合

## 滿洲國關税引下運動

【大阪特電二十七日發】突如滿洲國關税の新税率發表が行はれるや内地業者は豫期に反するところ多しとなし、大阪貿易振興會は兩國貿易關係強化の獨自的見地から、既定方針通り引下要望運動を行ふことに決してゐるが、更に全國各地有力織物同業七十八組合を以て組織する滿洲國關税引下期成同盟會でも同一趣旨に基いて速かなる目的達成のため積極的に乘出すべく大阪織物同業組合内の同盟會本部では明春二月中旬を期し各組合代表を大阪に招集して具體的意見を取まとめた上、關税引下運動の大烽火をあげんとして諸般の準備が進められてゐる

# 窮農救濟に百萬圓

## 現物返濟で融通

【安東電話】滿洲國民政部では間島、吉林、安東三省における窮農救濟策として來年收穫者に一割の利子をつけて現物で返濟せしむることゝして百萬圓の融通を決定した、これは北滿における春耕資金と異つた性質をもち救民を主とする……

# 奉天税務監督署印花税收入

【奉天電話】奉天税務監督署の本年度印花税收入額は去る十五日までに百五十萬三千八百元を擧げ前期の百十二萬元に比し約三割三十八萬三千八百元の增收にて年末までには百六十萬元の巨額に達する見込みで、これが增收の原因は各縣商工業の復活による商標登記並に各種註册登記等による印花の使用が激增したためであると

# 大連工業學校豫算

## 四ケ年計畫六十七、八萬圓 早苗小學校を使用

【東京特電二十七日發】大連工業學校設立費は二十六日大藏省主計局議の承認を得たので廿七日の同省議に附せられるがその承認を得る事は殆ど確定的であると見られる、設立豫算は多分十年度以降四ケ年計畫六十七、八萬圓であつて同校の課目は未だ最後的決定を見ないが土木、機械、電氣等に分れ一學年定員百五十名見當である

市當局は十年度から開校する意氣込みで多分早苗小學校を臨時使用して授業を開始することゝならう

# 外務省辭令

【東京二十六日發國通】外務省辭令二十六日附發令

任總領事　外務書記官調査部第二課長　水澤孝策
香港在勤を命ず

# 哭くな青春 (79)

三上於菟吉　吉邨二郎畫

**事務所で**（その八）

けい子が、さも愛想よげに、微笑みながら見上げる顔を、のつぽの女帳場は、じろ〳〵睨め下ろすやうにしてゐたが、やがて、間をおいて、

「原田さん、あんたは、ちよいと見たところ、なか〳〵可愛らしい子だけれど、隨分、ひとを馬鹿にしてゐるところがあるわれえ」

「まあ、をばさん――」

と、けい子は、吃驚したやうな口調で、しぼみかけてゐる目を見開いて、

「私が、あなたを馬鹿にするなんて、そんな事がある筈は、ないぢやありませんか」

險相な中老婦人は、男のやうに肩をそびやかして、鼻で笑つた。

「だつて、お前さんは、さうに約束してゐるぢやあないの。あの十日前の十日分の部屋代は、當分待つて、あれ以來、毎日の分を入れてくれると、誓つたと思ふわ。わたしの方では、あの十日分を、その儘にしておくのだつて、隨分、讓歩してゐるのです。それなのに、その後、ちつとも誠意を見せてくれやあしない。それでゐて、アパートの出入りに、わたしに言葉でもかけてくれることか、なるたけ顔を合せないやうにしてばかりゐる。わたしは、その心持が、憎いのだよ」

けい子は、女帳場の恨み言を聞いてゐる間に、だん〳〵顔がうなだれて來るのだつた。

彼女は、この女帳場とても、容貌こそ、けはしく、ごきつい……ものの、その本性は、決して惡人ではないことを知つてゐた。何時ぞや、この女の口から、少女時代、繼母の手にかゝつて以來、不思議に不幸で、孤獨な、運命が續いて、たうとう、今も女一人で身を立てゝ過ごして行かなければならぬのだ――といふやうな繰言を、こま細に聞かされたのを覺えてゐる。

この女が、けい子のやうな娘にこんな憎たらしい口を利かれなければならぬのも、やはり成り行きだつた。

けい子は、憤ろしく感じるよりも、たゞすまなく情なかつた。

「わたし、決して、そんな積りぢやないのです。だけど、お約束が守れないので、顔を合せるのが恥づかしくつて――」

その時、黒い上つぱりの女の、けはしげな瞳は、ちつと、不幸な街のむすめの上に、そそがれ續けてゐるのだつた。

「ぢやあないの？」

けい子は、思ひがけなく、言葉つきこそ荒つぽいが、思ひやりのある言葉を聞かされて、一層、顔をそむけた。

「いゝえ、何でもないのです。乾度風邪を引いたのかも知れないわ」

「いゝえ、さうぢやないでせう」と、女帳場は、かぶりをふるやうにして、

「あなたは、好きなものを澤山喰べなければ、いけないわ」

と、言つたが、上つぱりの下に手を突つこんで、小さな黒皮の蟇口を取り出し、中から何枚かの銀貨を、つまみ出して、けい子の方へつき出すやうにするのだつた。

「こゝに、幾らか要らないのがあるわ、小遣のたしにもつていらつしやい」

けい子は、吃驚した目付きで、齡上の女を眺めた。彼女の、青ざめた顔は急に、眞赤に充血し、見開いた目からは、大粒な涙がまろび落ちさうになつた。

彼女は、

「いりませんわ、をばさん！」

と叫ぶやうに言ふと、ぐるりと向き直つて、出口の方へ駈け出してしまつた。

# 後場市況（廿七日）

## 株式

東硬西軟　當市大株は九十圓臺割れを演じ東新、日產は小堅り、五品も三十錢方小戻した

◇定期◇（單位十錢）

| 銘柄 | 寄 | 當限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| 五品 引中 | ― | ― | 二〇三 |

◇延取引◇

| 銘柄 | 寄値 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 五品 | 二〇一 | 二〇五 | 二〇〇 | 二〇五 |
| 新豆 | 三一八 | 三一八 | 三一八 | ― |
| 錢鈔 | 三一六 | 三一六 | 三一六 | ― |
| 氷新 | 二〇二 | 二〇二 | 二〇二 | ― |
| 電々 | 一七〇 | 一七〇 | 一七〇 | ― |
| 滿鐵 | 一一三 | 一一三 | 一一三 | ― |
| 同新 | 六一〇 | 六一六 | 六一〇 | 六一二 |
| 土木 | 一二八 | 一二八 | 一二八 | ― |
| 大新 | 一〇三 | 一〇三 | 一〇三 | ― |
| 東新 | 八一〇 | 八一〇 | 八一〇 | ― |
| 鐘新 | 一三六 | 一四〇 | 一三六 | 一四〇 |
| 日產 | 一三一 | 一三一 | 一三一 | ― |
| 朝取 | 一〇四 | 一〇九 | 一〇四 | 一〇九 |

◇離取引◇

日清油　二三〇

## 特產

### 高粱低落

後場大豆は邦商の賣に南支筋買も利かず弱含を呈し豆粕は買氣薄に軟調を示し、豆油は閑散弱保合、……

◇定期◇（單位錢）

| | 寄付 | 高値 | 安値 | 大引 |
|---|---|---|---|---|
| 期近 | 一二六〇 | 一二六〇 | 一二六〇 | 一二六〇 |
| 出來高 | 百七萬圓 | | | |

◇現物◇（單位錢）

| | 銀對金 | 銀對洋 | 金對洋 |
|---|---|---|---|
| 一時 | 一二六〇 | 一二五〇 | 九六五 |
| 二時 | 一二六〇 | 一二五五 | 九六〇 |
| 三時 | 一二六〇 | 一二五〇 | 九六五 |
| 出來高 | 銀對金 三十一萬圓 | 銀對洋 二萬二十圓 | |

## 錢鈔

錢票堅調　閑散ながら鈔票は保合商狀を呈した

大豆（袋物）出來高　二百車
普通大豆（裸物）出來不申
豆粕　一三五五　一三六〇
出來高　六萬五千枚
豆油　一二四五　一二四〇
出來高　六千五百箱
高粱　出來不申
包米　出來不申

## 商品

麻袋弱保合

| 銘柄 | 約定期 | 値段 | 枚數 |
|---|---|---|---|
| 麻袋 | 二月限 | 三八一 | 一〇 |
| 出來高 | 一萬枚 | | |

綿糸　不申

## 奥地市況

| | | |
|---|---|---|
| 奉天奉票對金票 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 奉天國幣對金票 | 一〇〇 | 一〇〇 |
| 同 先限 | ― | ― |
| 新京國幣對金票 | ― | ― |
| 哈爾濱國幣對金票 | ― | ― |
| 哈爾濱大豆 一月 | ― | ― |
| 二月 | ― | ― |
| 三月 | ― | ― |

# 市場電報

## 株式（單位十錢）

大阪（長期）

| | 寄値 | 引値 |
|---|---|---|
| 大株 | 九二 | 九一 |
| 鐘紡 | 一三四〇 | 一三三五 |
| 日糖 | 七〇七 | ― |
| 滿新 | ― | ― |

| | 寄値 | 引値 |
|---|---|---|
| 大新 | 九九 | 九八 |
| 鐘新 | 一三五 | 一三四 |
| 滿鐵 | 六三 | 六三 |
| 東新 | 一四一 | 一四八 |

大阪（短期）

| | 寄値 | 引値 | 高値 | 安値 |
|---|---|---|---|---|
| 大新 | 八九 | 九四 | 九五 | 八七 |
| 東新 | 一三九七 | 一四〇八 | 一四〇八 | 一三九七 |
| 鐘紡 | 一三三一 | 一三三五 | 一三三五 | 一三三一 |
| 日產 | 一〇七 | 一〇九 | 一〇九 | 一〇八 |
| 帝人 | 一五七 | 一五四 | 一五八 | 一五四 |
| 滿鐵 | ― | 六二 | 六二 | 六一〇 |

東京（長期）

| | 寄値 | 引値 | 寄値 | 引値 |
|---|---|---|---|---|
| 東株 | 一三七 | 一三八 | 東新 | 一四七 / 一四五 |

| | 當 | 中 | 先 |
|---|---|---|---|
| 五品 | ― | ― | ― |
| 新豆 | ― | ― | 三一〇 |

東京（短期）

| | 寄値 | 引値 | 高値 | 安値 |
|---|---|---|---|---|
| 東新 | 一三九八 | 一四〇〇 | 一四〇一 | 一三九五 |
| 鐘新 | 一三三一 | 一三四〇 | 一三三六 | 一三三〇 |
| 日產 | 一〇一 | 一〇八 | 一〇一〇 | 一〇一 |
| 滿鐵二新 | ― | ― | 六三 | 六二 |

# 一千尺の山の上で 邦人の抱合心中
## 熊岳城から五里の山中に死體
## 身元その他は不明

【熊岳城】師走のあわたゞしさを外に死路を熊岳城の奥深き山中に求めて抱合心中を遂げた邦人情死事件があつた、廿六日午前八時頃范家屯村（熊岳城を距る東方約五里の地點）の村人が今日此頃の變調な暖かき日とて裏の山上に松の枝切りに行つた處殆ど絶頂に近き松林の中に邦人男女の死體あるを發見し驚いて下山熊岳城々内警察署に屆け出たもので城内警察署では直ぐ日本警察に通告すると同時に神長指導官は警務二名を、日本警察側より石原警部補外一名の巡捕と山下醫師を伴つて現場に急行した

一行は途中馬車を捨て、道なき岩石の山を攀登ること一時間餘全く係官一同を啞然たらしむるに充分だつた、漸くにして現場に着き檢證したる處男女共アダリンを多量嚥下したもので苦悶し取亂した形跡はなく決行した日時は不明なるも大體四、五日前と見られてゐる

附近には遺書と覺しきものさらになく所持品の如きものも持合せてゐない、男の年齡二十四五、面長にして頭髮長く身長五尺四五寸、洋服はメルトン地で縦の棒縞、折襟、帽子は中折鼠色、黒の短靴、縣革の手袋等身に纏つてゐる、女は年齡二十一二歳中女斷髮で稍丸顔、着物は人絹銘の花模樣極めて大柄一見してカフエーの女給らしきタイプ

檢證も一通り終つて同地村民の應援を得て下山させ更に馬車を得て熊岳城警察に引取り八方に手配した

○○旅館を尋ねて見ると今月の八日に男女連れで來熊三日間投宿し八日朝十一時頃綺麗に勘定を濟まし熊岳城の名山たる青龍山を見たいといつて宿の人に聞き出掛けたさうだが或ひはその人ではなからうかと推される宿帳には

男大連岩代町二六五　森田茂盛　二十七歳
女鹿兒島縣上園五八　絹江　二十二歳

と記されてあつたので直ぐ樣警察より大連に照會したが全然不明との返電あり○○旅館では僞名をしたものと見られてゐる

# 肉親の血を求めて 歳末に泣く二少年
## 奉天に氣の毒な兄弟

【奉天】押し寄せ來る正月を讚美するかの如く、慌たゞしい師走の風に躍る門松が早街頭に現れては威勢のいゝ餅屋さんの掛聲に人々は浮かれ「後幾つ寢たらお正月?」「そうれ五ッよ」可憐な幼兒のさゝやきすらいと朗かな今日この頃なれど世の無情にさいなまれて行く人々が、これ等幸福な人達の影で泣いてゐるのだ、生みの二親に捨てられ、滿人夫婦を父とし母とし、生きとし生き延びて行く哀れな邦人少年、この野田兄弟の小さな胸に秘めたる悲しみの哀話――

兄は千代田小學校三年生で貝利（一二）さんと言ひ、弟は明けて七ツの鐵夫さん、しかもこの二人の兄弟は、母を同じうして父を異にする義兄弟なのだ、其處にはとしなくも釀される涙の過去――貝利さんが五ッの秋賴る父親は凋落の風に散る木の葉の如く現世より去りて後に殘された母子二人は生活の糧を求めて鄕里を後に遙々滿洲へ――そして松島町の某料理店に働いてゐる中、親密になつた松田雄一と同棲したのが六つの春――それ以來第二の父は貝利さんを虐待してゐたが、その年の暮、父を異にする母の子として新らしい弟鐵夫さんが產れたのである、その爲め母はやつれ、父の慾望は母より去つて若い女へと走り、果ては母子三人を捨てゝ家出

又しても母シズエさんの上に、一家の生計がふりかゝつて來たのだそして街頭に出て働くことになつたのであるが、二人の幼兒を抱へてゐては思ふやうに働けず、其處でかれて知り合の仲だつた青葉町六番地居住の滿人孫玉崑氏に二兒を託して夜の酒場へ、身は二兒のパンを求めて出たのであるが、酒場は情痴と淪落の坩堝だ、二兒を養はればならぬといふ、悲壯な意志も酒場の空氣に彼女の心は抹消され、流れ行く年と共にアバズレ化したのである、それは本年の三月、つい魔に誘はれて子供には「熱河に行つて澤山お金をもうけて來るから、それまで待つておいで」と無情の一語を殘して若い男と戀の失踪を企てたのである

廣い世界に唯一人賴りに思ふ母は戀に狂つて最愛の吾子を捨てゝ去つたのだ、後に殘されし二人の孤兒は今どうして暮してゐる五年前よりあづけられた滿人の孫さん夫婦を父と思ひ母と思ひ無情の二タ親を怨まず尙も皮下三寸に流れる血潮を求めて泣いてゐるのだ、そして二十五日警察を尋ねて母の搜査願を提出した

# 母は歸らねど 子は慕ふ涙
## 哀れ、日本語を知らぬ鐵坊

【奉天】この哀れな兄弟を青葉町六番地大丸アパートの孫さん方に訪れると太陽の光りも入らないスラム街の一隅に、四疊半よりも狹い一室で今起きたばつかりの時だつた、年上の貝利さんは

私の父さんは死にましたが、鐵ちやんのお父さんは今何處に居るのか知れません、それにお母さんは、熱河に行くと言つて出て行つたきり、まだ歸へつて來ず心配なので二十五日奉天警察署に搜査願を出しました、今日は外も溫かいやうだが、たちさん熱河つて寒いとこ……

と言つて母の身を案ずるかの如くはるか西の空を仰ぐ眼には涙だ、母を慕ふ子としての純情の涙か、ニブイ光線に光つてゐる

あの鐵ちやんは、日本語を知らないのよ、唯、お母さん、兄さんとしか言へないの、生れてからすぐ孫父さんに養はれて來たものだから……

日本の少年にして日本語を解せない子供鐵坊――これは誰の罪か、父の罪か、母の罪か將亦社會の罪か――世の人の子の親達よ、この哀れな少年をこの儘放任してゐていゝのか

（寫眞は孫夫妻と可哀想な兄弟）

# 遼河特產

【營口】遼河下航民船積載穀類は奧地沿岸の治安の回復に伴ひ意外に相當出廻るものと期待されて居つたが本年六、七、八の三ケ月に亘り降雨量多く豫期に反したが九、十、十一月にこれを盛返し加へて全滿に不作の聲傳はり穀物先値高を見越して搬出し來り十一月中を以て終航としたが本年三月より十一月中下航戎克の隻數四千七百七十六隻之れに搭載し來つた穀類三十八萬三千四百六十四石で、之れを國幣として各縣に持歸つた金額三百二十四萬八千九百三十八元四角で、この縣別が海城、盤山、臺安、遼陽、遼中、新民、昌圖、法庫、庫平、營口、外一縣で夫々三百二十四萬餘元を分布された

## 運轉手學科試驗

【營口】營口警察署では二十六日午前十時より三階講堂に於て自動車運轉手學科試驗を擧行、曩に實地試驗にパスした邦人八名、鮮人二名、計十名受驗して正午終了

# 豪農の息子を誘拐
## 本溪湖の坑夫に住み込ませて
## 實家に脅迫狀を送る

【奉天】遼陽柳條寨居住農業金萬慶（三）は本年六月下旬飄然家出し爾來行方不明となり今日まで所在皆目判明しなかつたが、最近に至り金は奉天を經て目下本溪湖で採炭坑夫になつてゐることを聞き、金の所在調査方を瀋陽警察廳に願出でたので、同廳では各地警察署と連絡、搜査中のところ、金は本年六月下旬煙臺驛で河北省生れ赫成德（二五）なる者に誘拐された事實あり赫を搜査中であつたが廿六日奉天城内に潛伏中の同人を逮捕目下瀋陽警察廳に留置取調中である

赫は金が豪農の息子であることろから之を物にせんとして、言葉巧みに金を連れ出し、奉天に滯在後本溪湖採炭所に抗夫として住み込ませ、一方金の實家に脅迫狀を再三送つてゐたが遂ひに目的を達せず逮捕されたものである、なほ金は半歲振りに救出され實家に護送された

## 奉天傳染病院 移轉を開始

【奉天】奉天傳染病院は煖房、水道、電氣等内部の設備のため移轉が遲れてゐたが、全部完成したので一先づ丸目事務員外の事務引繼を二十七日午前十時から同病院にて行うた、同病院主任遠藤氏外四十名は來る一月十日移轉を了しこれと共に新傳染病患者を收容するが現在傳染病棟の患者も漸次同病院に移す筈である、尙ほ傳染病を徹底的に防止するため同病院の患者面會並に附添人を協議の上決定したので從來の如く勝手に面會は出來ないこととなつた

## 五人組窃盜 何れも執行猶豫

【錦州】今秋九月廿七日熱河省建平縣四家子農業胡景安方に侵入し大洋一千二十九元四毛を強奪した原籍靜岡縣駿東郡原里村當時平泉縣天義滿鐵傭人芹澤林平（二七）および原籍福島縣大沼郡川口村、當時建平縣葉柏壽滿鐵傭人黒田昇（二四）原籍福岡縣門司市當時平泉縣天義滿鐵傭人植本一雄（二五）原籍廣島縣廣島市宇品町當時建平縣葉柏壽滿鐵傭人中村正弘（二六）原籍鹿兒島縣肝屬郡鹿谷村當時建平縣葉柏壽滿鐵傭人藤島良武（二八）の五名にかゝる強盜事件は錦州領事館において審理中であつたが桝井司法領事ならびに宇井檢事事務取扱の實地檢證により強盜の事實は解消し單なる窃盜罪として二十四日最後の公判を開廷した結果芹澤は懲役二年五ケ年の執行猶豫、黒田、植本、中村、藤島の四名は各懲役一年六ケ月、四ケ年間執行猶豫の判決を言ひ渡され同日夕方いづれも嚴戒の身柄を放還された

# 東北と皇軍に 松・竹・梅を賣つて 純情の姉妹が獻金
## 鬼隊長感激の涙を…

【瓦房店】歳末に際して溫かい同情金を贈つた二少女の美談――瓦房店機關區機關士吉田吉次氏の二女芙美子さん（一〇）三女靜子さん（九）の姉妹は過般學校で東北凶作地の話を聞きお母さんの造つたお正月松竹梅の造花を携へ學校から歸ると日暮まで酷寒と戰ひながら賣り歩き、日曜日には遠く沿線中間驛萬家嶺まで出かけ、賣上金二十一圓二十六錢を得、半額は〃東北冷害地義捐金に贈つて下さい〃と瓦房店警察署に屆け、半額は〃生命線を護る忠勇將士に對しせめて年賀郵便ハガキ一枚宛でも買つて下さい〃と瓦房店○○隊の兵隊さんに送つた鬼隊長岩崎○隊長はこの純情のこもつた愛國心の發露に對し、涙を泛べ感謝の意を表したが協議の上何か記念となる意義ある方面に支出したいと語つた（寫眞は吉田芙美子さん靜子さんの姉妹）

# 賞與金を割き 貧農一家を救ふ
## 鮮滿融和の魁・金巡捕

【瓦房店】松樹附屬地正隆街十八番地に居住する張豐年（四七）は日傭業を營み僅かの收入を得て十三歳を頭に四人の子供を養つてゐたが一家の杖とも柱とも賴むべき主人張が病魔に襲はれ貯へのある身でもなく忽ち其日の生活に困窮し、家財を賣り拂ひ高粱、粟等の御粥をすゝつて其の日の糊口を凌いでゐたが、折柄松樹警察派出所朝鮮人巡捕金炳龍氏が戶口調査にいつて見ると飢と寒さに震へアンペラ一枚もなく土間の上に慄へてゐる悲慘な境遇に痛く同情し薄給の中から賞與金の一部を割いて金一封を與へた、此の隱れた金巡捕の善行を耳にした大石部長は末光警察署長に表彰方を申請したが人情紙よりも薄い今の世にこれは亦歲末に對して鮮滿親善融和の麗しいさきがけである

# 日語は就職の神
## 新京路局の滿人採用

【吉林】新京鐵路局管内の本年度滿人從業員採用豫定人員は總計一千六百五十名にしてこれを新京、吉林、圖們の三ケ所で採用する事となつて居るが目下新正を目睫に控へ更に舊正も遠からずかてゝ加へて本年は農村の破弊極度に達し失業者の洪水をなして居る折柄此の鐵路局の從業員募集は闇に光を與へた如く失業してその日の生活に喘ぐ命の親とも言ふべく現在迄吉林の應募者は實に六百五十二名に達し此の中には完全な日語を解する者が約百五十名もあるといふ而して鐵路局の採用規定は半年間臨時採用で半年後本採用する事となつて居るが本人の成績に依つては直に本採用とする事になつて居る、尙特に日語を解する者は特別に採用する事となつて居る模樣で事變以來滿人間に謳はれた「日語は就職の神なり」の言葉は茲で立派に事實化し今は何處迄も日語萬能の世である事を物語つて居る

## 飼料が買へず 豚を賣る貧農

【營口】高粱昂騰に依る一般民の窮狀は屢報の通りであるが營口縣下では元來地味の關係上棉花大豆等を栽培し高粱の產額は僅少で農民の大部分は縣外より仰ぎ居る狀態であつた爲め今回の昂騰は彼等の實生活に影響するところ他縣に比べ甚大で、農民の困窮程度も相當深刻なものがあり、又高粱昂騰に伴ひ豚の飼料たる高粱粕の價も一斗六角に昇騰したので豚一頭の飼料二十錢を要する現時に推して飼料購入費すら事缺くこと多くこれがため近來飼育中の豚を賣却するもの激增し豚肉市場に氾濫し値段の下落は高粱と反比例し實に慘めな狀態に立至つてゐると

# 奉天の賴母子講界 波瀾の渦卷く
## 更に混沌狀態續く

【奉天】奉天における無許可賴母子は波瀾に波瀾を重ねてゐるがこれが救濟策として救濟聯合會が組織され本多辯護士、江藤、伊藤、尾形、小森、堤某等委員となり各方面と連絡をとり救濟策としてシンヂケートの組織に努力してゐるが奉天中產階級間においてはこのシンヂケート組織に集らず徒らに聲ばかり大にして一向その實はあがらずかへつて聲が大なるため、一部人士間には聲につられて自力更生を無視してゐる者あり、相も變らぬ混頓狀態を繼續してゐる、而して各講長間にはこの委員會の言動を信じ自己の保全をはかる事にのみ汲々としてなり犧牲心とて更になく某々氏等の笛に踊つてゐる有樣である二十五日溫泉ホテルに於いて某氏が叫んだ

講長が自覺せずして無暗に關係當局の救濟を一途に賴るのは間違ひである

と指摘してゐるが、只賴母子の整理には各講長の自覺が唯一の手段として殘されてゐるのみである、更に二十五日の賴母子救濟委員會に於いて

賴母子に關聯した犯罪事件があるのを警察では握り潰してゐるとのプリントに對し谷口保安主任は

決してそんな事はない又犯罪といふが無許可賴母子それ自體が違反行爲である、これを全部處分したら一體どうなるか、どうも最近策動する者が多くて困る

と語つてなり某有力者も

救濟よし併し策動は不可である
これは奉天財界の破綻ではない特殊階級の破綻である

と語つてゐる、只要するにこの解決には策動が排され、講長の自覺のみが殘された道とされてゐる

# 菱刈大將凱旋

新京驛頭、鄭首相と別れの挨拶をする將軍

# 吉林の電燈料 値下げ斷行
## 電燈廠の不合理一掃

【吉林】舊吉林電燈廠が破格の値下げだと鼻高々で威張つて居た現在の電燈料金が一キロ二十八錢で六、七錢に比較して約五割高となり需要者の度重なる値下げ運動も馬の耳に念佛、遂に其のまゝで滿洲電業會社吉林支店に引繼いで了つた、今度の電業會社は果して之を如何に始末するか無くてはならない夜の親なればこそ十四萬市民が今日迄我慢して來たのだが之が若し食糧品又は他の品物だつたらどう解決するか、一キロ十六、七錢で採算の取れるものを何故に二十八錢も徵收せねばならぬかと之に對して電業會社吉林支店では斯く答へて居る

現在の吉林總電燈數は四萬五千九百八十二燈動力三千一馬力であるが之を過去の如き經營方針で行くなら三十錢取つても收支償はない、何故なら過去電燈廠の從業員特に首腦者は一家揃つて從業員であり仕事はしなくとも給料は取りそして生活費の總てが公金で以て支拂はれて居る引繼ぎを終つた現在でさへ席がなくて給料を取つて居るものが相當多數に上つて居り、これは當然年内には出來ないが新年になれば一大整理を行はなければならない、又電燈料も全滿中一番高價なることは充分に存じて居り、依つて近く本社に出頭し出來得る事なら一月一日より二十錢乃至は二十二三錢位に値下げしたいと思つて居り、何分吉林は遠隔の地なるがため送電費が相當掛るので仲々思ふ樣にはゆかないが我々は充分の努力をして來年中には需要者の滿足を得るだけの整備と要求に應ずるだけの事をなしたらと思つて居る少くとももこゝ二、三年中には全滿共平均額にする覺悟である

# 學齡兒童の受付
## 一月七日から開始

【奉天】奉天地方事務所では明年度における學齡兒童の入學手續きを來る一月七日から開始することゝなつたが當該兒童は遲滯なく手續きをされたいと

一、昭和十年度において學齡に達する兒童は昭和三年四月二日より昭和四年四月一日までの間に出生せる兒童
二、提出書類
1所定の入學願書（用紙は地方事務所公費係に於て交付す）
2戶籍謄本又は抄本（年月の新舊を問はず必ずその兒童の記載しあるもの）
三、書類提出期間　昭和十年一月七日より同一月三十一日迄
四、注意事項
1戶籍謄本又は抄本の添付なきものは受付を斷ること
2願書用紙入用のものは必ず現住所を申述べられること

# 熱河省境掃匪部隊 各所で大激戰
## 更に第三期討伐戰へ

【錦州】省境の治安確立に出動した伊田○團は第一期歪脖山、第二期柏山方面の肅正なり更に二十五日より第三期○○方面の討匪を開始したがこれより先き秋山部隊の若山部隊は廿一日早朝再度二車戶溝を急襲し優勢なる王振匪と衝突し激戰約二時間の後これを東方山地に擊退した敵の遺棄死體約五十我軍に損害なし、一方西土默特王府方面に出動した、飯村部隊は二十一日午前九時より燒鍋營子附近で匪首藍天林、吳林、小蘭子、二生子、徐三省等の率ゆる約七百の合流匪と遭遇し二時間半にわたる戰鬪の後敵に十五名の死者を出さしめやうやくこれを四散せしめたが同日午後三時に至り敵匪は再び逆襲し來り飯村部隊を包圍攻擊したので直に應戰し更に二時間餘の激戰でこれを擊退したがこの戰鬪で敵の損害約四十名、我軍に死傷なく士氣ますく旺盛である

# 蓄音機の減稅を 當局に請願
## 奉天の同業者提出

【奉天】過般の滿洲國關稅改正で蓄音機、レコードその他附屬品輸入稅率は從來の從價二割五分の据置として何等改訂を見てゐないがこれに對し奉天地方蓄音機商組合では當局が蓄音機を目してピアノその他高級樂器と同一視し奢侈品と認定せるためで、文化の進展と共に蓄音機は各方面に行亘り文化の普及家庭慰安に尠からざる貢獻をなし今日では生活必需品に次ぐ日用品となつてなり、これに從來通り高率課稅を爲すとは滿洲國文化の進展を阻止し民衆をして不健全な娛樂に走らしめるのみか日滿同業者の發展を阻止することと大なりとの理由によりこの程組合長名で蓄音機及びレコードに對しては本稅一割附加稅二分五厘、附屬品は本稅七分五厘附加稅二分五厘に低減方を滿洲國財政部大臣宛陳情した

## 忠魂碑

【錦州】溝帮子では、溝帮子神社境内に事變戰歿者の忠魂碑を建設すべく工事中であつたがこの程やうやく竣工したので二十五日午前十一時より各方面を招待し盛大な除幕式を擧行した

## 賭博を嚴禁

【奉天】滿洲國側警察署では一兩日前ボーナスの支給をなし既に全般的配給を終了したが一時に澤山の金が手に入つたので警士たちの中には箍を脫しきれず未だに賭博をなす者もある模樣で、瀋陽警察廳では綱紀肅正に嚴しき折柄、かゝる行爲は絕對に罷りならぬとボーナス氣分に浮かれる警士たちに廿六日各署を通じ警告を發した

## 營盤驛で衝突

【奉天】二十六日午前七時四十二分頃奉吉線營盤驛に於て第五百二十一號輕油動車が進入し來つたがポイント不定着のため貨物第一番線に進入したので同線にあつた貨車千三號に衝突し兩車輪とも破損した、之が輕油動車に乘車してゐた滿人五名負傷したのでそのうち二名は五百三號列車で皇姑屯病院に送り加療中である

# 屋上待合室 三十日から使用
## 便利になる奉天驛

【奉天】工費二十四萬圓を投じて本年六月起工し建築中であつた奉天驛屋上待合室は今回愈々完成したので來る三十日から之を使用することゝなつた、同待合室は優に五千人を收容し得られ賣店、案內所も設けられた堂々たるもので乘車する旅客は玄關の出札係で乘車券を求め大連方面行きのものを除く新京、撫順、山海關、吉林方面行きのものは同待合所で列車の到着を待ち合はせ列車到着前改札口より夫々ホームに降りることゝなつてゐるため從來の如くホームにたたずみ寒さに震へるやうなことはなくなつた譯である

## 各地人事

▲林博太郎氏（滿鐵總裁）廿六日午前三時の急行にて過奉新京へ
▲山崎元幹氏（滿鐵理事）同上
▲江崎滿鐵貨物課長　廿五日來奉
▲入江正太郎氏（電業會社副社長）同上
▲土肥原賢二少將（奉天特務機關長）同赴連
▲四方辰治氏（滿鐵旅館係主任）同多數見送りを受け赴任
▲香取眞策氏（市場會社專務）同大連より歸奉
▲金丸富八郎氏（奉取信專務）同上四平街へ廿六日歸奉
▲渡邊守成氏（組合教會）廿五日
▲宇佐美喬爾氏（滿鐵々道部旅客課長）廿六日ひかりにて新京より來奉
▲淸水中將（○○司令官）廿六日遼陽より來奉
▲伊澤道雄氏（總局次長）廿六日夜新京へ
▲佐藤晴雄氏（總局文書課長）廿六日大連へ
▲大里甚三郎氏（總局人事課長）廿七日ひかりにて歸奉の筈

# 家庭

## 冬休み利用法　お子さま方へ家事の實習　家庭非常時に一石二鳥の名案

家事實習を標榜して冬休み中のお子さん方に家庭生活社會教育の實際をお教へになるのは年末年始の忙しいお母さま方のためにも、また、これから實社會へ進んで行かうとなさるお子さま方のためにも、正に一石二鳥の名案ではないでせうか？

**まづ** 小學校へ通つてゐらつしやるお子さまでしたら大きい方はお掃除からお使ひ萬端、女の子にはお料理の手傳ひから器具の出し入れ、針仕事、押入れの整理等子供には好適の仕事です、この他男の子はお店の手傳ひ、實地家業の見習ひをさせることも大いに役に立ちます。

**女の** 子は母親の代理として年末年始の挨拶にやつたり、留守の間の客の應接等も要點を教へておき、度々これにあたらせるとよいでせう、小さい子には小さいなりに、たとひ自分達のおもちや類の整理でも仕事といふ觀念を持たしてやる事は大いに彼等の力をつける一つの資料なのです。もう一つ是非してほしいのは奉仕の養成です、誰も自分自分の生活に忙しいこの暮に中々他人の事まで手の屆く餘裕のある所は無いでせうが、これも母親の心一つで子供等の勞力を差配して、彼等の心に美しい奉仕の觀念を植ゑつけるのは大きな冬休みの收穫となりませう

**それ** には年末ですから神社の掃除とか、公共建物の清潔とか、往來道路の整頓等を指圖したり、或は無人の家にお手傳ひにやらせたりします、かうした家庭及び社會の實際に接し、學校以外の教育知識を實際に味はせる事は極めて大切な事であり、どこのお母樣方もこの機會を上手に利用して頂き度いものです。

## 餘り布で　ネクタイ　裁ち方と縫ひ方

着物の裁ち餘り、帶の殘り物でネクタイを作りませう、ネクタイは斜布を使ひますが斜布で三尺の長さとなると中々大きな用布がいりますから、先づ型紙だけを次の圖のやうに裁つておき、實際の布を裁つ時には中央の細い所で、斜になるやうにはぎ合せて差し支へないのです。このほか、しん地一寸五分巾二尺を用意しておきます。縫ひ方は既製品をごらんになると誰にでもすぐお判りになりますが仕上りをきちんと、しかもふつくり行くやう、芯の入れ方に注意して頸にあたる細い所は上から押へミシンをかけます

## 樂しいお正月に　甦る古典美　美しい日本髪への準備

お正月を間近にそろそろ巻に日本髪姿がふえて來ました、平常洋髪ばかり結つてゐらつしやる方のために、日本髪をお上げになる時のご注意を申上げませう、先づ洋髪のウエーヴやカールの跡がついてゐられる方は洗つて置くこと、水油は却ておつけにならぬ方が結構です

**丸髷の用意** は前髪美濃根かもじはどなたも必要で毛髪の少い方は鬢美濃鬢みのを用意して戴きます、お求めの際鬢用のかもじといつて島田より小さいのをお求め下さい、髷型はその人の頭や顔の大きさ、又脊丈に依つて選ぶ事が必要です、年齢許りを考へてお若いからと一番大きいのになすつたら體全體に調和しない事もございます。手柄はお好みに依つて異ひますがお若い方は赤ときいろ、中年の方は藤色、水色、紫色等があつてお若い方は絞りの荒い有松絞等は判然として良いものです、髷型の安いのは角がとがつて駄目です

**島田を結ふ** 方は根かもじは大き目のもの、鬢美濃、つり髱、バラ毛のご用意下さい、又伸しかけの斷髪は短い毛をかくすために卷毛が必要です、差しものは赤の蒔繪の櫛に同じ平打或は玉もふさわしく又銀の平打も上品で良いものです、下町好みの結綿は時色か赤の鹿の子が入用で、これには簪共ツマミ細工のが愛らしいものです

**桃割の方は** 根かもじは餘り大きくないものと、輪を作るに使ふ梳毛と、毛の少い方は丸髷で述べたと同じ、髷には手柄でも丈長を掛けても構ひませんが差物は花かんざしも良いものです、何に限らず日本髪は一度結んでから二、三度なすつた方が好いと思ひます、なほお藏ひになる時は「かもじ」を全部洗つて長いまゝおしまひになれば五、六年以上保ちます（徳永千代子さん談）

## 福壽草は　かうして咲かせる

暮の中折角お求めになつた福壽草もお正月にどうしても咲かすことの出來ない方々が多いと思ひます。福壽草をお求めになりましたら、鉢植ゑになさらず、水盤に入れて普通で家庭のストーブなどの側に置いておきますと、簡單にほころばせることが出來ます。但し普通の盆栽物をストーブの側においてはいけません。（後藤久太郎さんのお話）

## おくさま補充讀本（五）　"天ぷら"は何故難かしいか　煮物と揚げ物の相違

**煮物料理は割合に簡單であるが、天麩羅を上手に作るのは、熟練を要します。それは食物を煮るのと、油で揚げるのとは全く物理的の意味が違ふからです。**（大連第一中學校教諭・山岸榮三郎）

◆…煮るといふ料理は一〇〇度といふ不變の溫度で食物を熱することであることは前述の通りですが、天麩羅を作るときの油の溫度は一〇〇度ではなく、一五〇度から二〇〇度といふ高溫で、しかもその溫度は一定不變でなく、揚物の水分の多少や、火力の強弱等によつて常に昇降するものです。ですから揚げ物は煮るといふ手段でなくて、油で燒くといふのが適切です。

◆…天麩羅を作つてゐる樣子を見ると、恰も煮え立つてゐる油の中で物を煮てゐるやうであるが油の沸騰點は三〇〇度附近（油は數種の化合物の混じりものですから沸騰點は正しく一定してゐません）ですから、沸騰してゐる油の中では食物はすぐ黑焦げになりますし、又油は二〇〇度以上になるとその一部分が分解して煙を出し火を引き易くなり分解物中には目や鼻を刺戟するアクロレインといふ瓦斯を含むものですから、普通揚げ物の油の溫度は二〇〇度以下です。油が恰も煮え立つてゐる如く見えるのは、揚げ物の種に含まれてゐる水分が沸騰して、その水蒸氣が油を掻き亂してゐるのです。

◆…揚げ物をして居る間に油の溫度が常に昇降するのは、種物の含む水分の量が原因となるのです。水が水蒸氣となるときは、一瓦について五三六カロリーといふ莫大な氣化熱を要しますので、野菜類を揚げるときは含まれてゐる多量の水分が急に氣化するため、油から多くの氣化熱を奪ふので急にその溫度が降るのです。肉類などの際は水分の少ないために油の溫度降下も少なく、從つて焦げ勝ちとなるものです。

◆…結論として天麩羅作りの注意は種の水分の多少を考慮して、揚げる種の順序を定め、且つ火力の強弱を加減することが肝要と思ひます。

## 簡易榮養獻立　紫藤孝子

| | 調理 | 材料 | 分量（五人分） | 主な榮養素 |
|---|---|---|---|---|
| 朝 | 南瓜みそ汁 | 南瓜 | 一〇〇匁 | ビタミンA |
| | | みそ | 五十匁 | |
| | 刻みするめ飴煮 | 飴煮 | 十五匁 | 蛋白質 |
| | 香物 | | | |
| 晝 | 切干大根油揚煮付 | 切干 | 十五匁 | |
| | | 油揚 | 二枚 | 蛋白質 |
| | 香物 | | | |
| 夕 | 炒飯 | 卵 | 三ケ | 蛋白質、無機物 |
| | | 筍 | 小一本 | ビタミン… |
| | | 椎茸 | 十ケ | エルゴステリン |
| | | ハム | 三十匁 | 蛋白質、脂肪 |
| | | 青豆 | 少々 | |
| | 清汁 | ハンペン | 二枚 | 蛋白質 |
| | | 菠薐草 | 一把 | 無機物各種 |
| | 淺漬 | 大根 | 小一本 | ビタミンB・C |

實費　朝十錢　晝八錢　夕五十七錢　計七十五錢

**調理法**　炒飯＝卵は鹽を少し入れてまぜ、筍はザット茹でて繊に切つておく、椎茸はうるかして一度ザッと茹で二、三分角に切ります。ハムは二分角に切り、醤油に同量の水と味の素少し加へておきます。フライパンにラードをとかし、先づ卵を入れて固まらぬ中に飯を入れ、前に用意しておいた材料をまぜ鹽で味をつける。

## 美味しい數の子　その漬け方

◆…鹽數の子には鹽水につけた罐詰と水を入れないで鹽を混ぜた罐詰と二種類あります。八百目入の五升罐、六百目入の三升罐は進物用としても體裁よく出來て居ります。その他樽詰も有ります、鹽數の子の製造法は腹から出した數の子は鰊がごく新鮮なものほど堅くなつて居りません、それを極く薄い鹽水に浸けて置きますと次第に固くなります。それを同じ鹽水につけて時々水を取換へますときれいな色に晒されますからその時皮をむいて澤山の鹽で樽に漬け鹽水を注入して蓋をなし空氣にふれないやうにします、單に押蓋をして重石をかけ、鹽水が充分かぶつて居れば大丈夫永く保存が出來ます、なるだけ冷たい所が品がいたみません。

◆…罐詰の「バラ」の鹽數の子は樽詰より値段が安くて美味ですから近時家庭向きとしては最も賞味されて居ります。鹽數の子は食べます時は入用なだけ朝水に浸して置きその間數回水を換へますと夕食の頃には鹽が拔けてなります、この鹽拔をなさらないとおいしくありません、水を途中で數回換へる事が最も大切です、普通は煮出し汁（昆布又はかつをぶし）に醤油、みりん、砂糖、味の素を用ひ、あまり鹽からくない調味液を作つてこれに一時間位浸して食べます。その調味液の中に「からし」等を溶かしたものは酒客に喜ばれます、普通皿に盛る時には上から花鰹をふりかけます、なほ酢味噌あへ等に少し混ぜ合したり「サラダ」等の洋食の中に加へますと却々こつた料理が出來ます（北海道物產紹介所調べ）

## "おくさま"小辭典

**家具類** の汚れは酢と水と同量混ぜ合せた液に浸した布で拭くと綺麗になります。お櫃のアカをとるには、布に酢をしめし磨き粉をつけて磨く。



# 學藝

## 本年度・總決算【2】　滿洲短歌界の一年觀　富田充

昭和九年滿洲短歌界の足跡を顧みて、まづ特筆すべきは滿洲鄕土藝術協會から「滿洲短歌」同人八木沼淳雄氏の第一歌集「長城を踰ゆ」が上梓されたことである、この歌集は標題の示す如く滿洲事變以來關東軍と共に討匪行を續けて萬里の長城を踰えた作者の陣中歌集である。從つて作者の尊い體驗の所產であり、その領域において他に類の無い歌集であり、滿洲鄕土藝術の華である。

本年五月刊行された竹内完歌集は昭和九年一月三十日東京府大島岡田村において自決した「滿洲短歌」同人竹内完氏の遺稿を父君が集錄されたものである。氏は昭和六年病のため大連を去つて前記場所へ移住したが、同年十二月に「青垣」會に入會した。從つてこの歌集には「滿洲短歌」と「青垣」に發表した歌が集錄されてゐる。二十二歳を以てこの世を去つた天才的なひらめきをもつこの作者はすでに幾多の佳品を遺して、その早逝を惜しまれた。滿洲と因緣深い歌集として特記しておく。

本年度において量質共に光つてゐるのは「滿洲短歌」「水甕」誌上における八木沼淳雄氏「滿洲短歌」誌上における甲斐水棹氏である。この兩氏は經歷手腕において滿洲歌壇の双璧であり、その作品および批評は常に肯綮に値するものがある。（此稿つゞく）

## アパルトマン【5】　蒙古の衣　川上草子

蒙古服といつても餘り支那服と變らない。否殆ど支那服を着用してゐる。違つた處といへば帶をしてゐる位のものであらう。帶は木綿か、又は絹でぐるぐる巻にして兩端を右左の後に挾んで五、六寸位だらりと垂らしてゐる。

これに蒙古刀を吊るのである。携帶品が面白い。第一に蒙古刀、嗅煙草入れ、この嗅煙草入れの中には黃色の粉末で薄荷に似た香の香料が這入つてゐて、人と會ふとこれを取り出し、先づ額につけて相手に渡す、すると丁寧に受け取つて返す、この時、臭なんか嗅がない。形式的に受けとるだけである。挨拶なんださうだ。ラマ僧は佛像をこの形式でやる。之には面白く刺繡がしてある。相愛の時等吉が愛する君なんかにプレゼントするのである。外に燧石、金屬製の楊枝、耳搔、髭抜等で、熱烈な宗教心を持つてゐるこの人種は佛像、珠數を首にかけてゐる。この强烈な信仰心が淸朝時代、中國の政治的懷柔策の一つとして承德に現存するやうな莊大な伽藍を造らしめたのである。

恰て皆を飾りつけたら五條の橋の辨慶みたいである。靴は男女共長靴である。

帽子、支那人と同じやうな帽子で官帽、貴族等は前淸時代の翠の帽子を使つてゐる。女は夏の間綠色の布で姉さんかぶりのやうに纏うてゐる。

男は總て今でも辮髮で女の子は耳飾りをしてゐる。年頃以上の女で腰に銀鎖、細等でメダル樣のものをつけ、そして鏈を附けてゐるのは正妻だと聞いたけれど遂に見落してしまつた。

### 蒙古の歌

大板上の一夕、蒙古食を御馳走になつた折り蒙古人が遠路の旅愁を慰めんとて蒙古歌と胡弓を聞かせてくれた。寂として鵲の啼き聲のみ聞こえる初冬の夜を哀切腸を斷ち、戀々望郷を想はすその歌も、時に豪人の氣概を示す壯勇な調となり、これと合す胡弓のプリミテブは四絃も胸を刺るものがあつた。

昔日蓋世の英雄成吉斯汗＝（現今においては崇拜の偶像となり、蒙古人の總ては成吉斯汗を祖先たと稱してゐる）＝が、かの常勝四隣を席巻した陣中において蒙古の此の歌を唱き敗戰地に塗れたといはれる亡國的な哀調は、實に沈み切つた自分達の心にある和やかな潤ひを與へてくれた。

仄明い洋燈の燈しに照された皆の瞳も沼のやうに一瞬は靜かな呼吸が大きく肩を動かして居た。

貴人に對する禮として、直立不動の儘で歌を歌ひ、胡弓を彈く彼等は「坐れ」と言はない以上絕對に坐らない。「止め」と言はない以上絕對に止めない。

假令立て膝で坐つてゐても、自分達が立つて用達しに行くと直立する。

滅多に立ち、坐りも出來ない。有難迷惑で迷惑する位である。

連中は出來得る最大の努力を以て我慢して居たらしく、辭して外に出たとき月明りの中に默々として用便してゐた。

この歌を唱つてくれた連中には風習として幾何かの金子その他のものを與へるのである。

蒙古草夜、月光に濡れて歸る自分達は、蒙古歌の哀切なる調べに口を緘し、夜露を踏んで宿營にかへつてからも何んとなく寢つかれなかつた。（つゞく）＝寫眞は蒙古刀＝

## 新刊紹介

●改造（新年號）新春讀物特輯のほかに佐々木惣一氏の「政治教育計畫」幸田露伴氏の「偉人論」齋藤茂吉氏の「萬葉集と古今集」谷崎潤一郎氏の「大阪の藝人」があり、別冊附錄として政治、經濟、思想、文藝に亘つて記された改造年鑑が添附してある（發行所東京芝新橋七丁目十二改造社、價一圓）

●短歌研究（新年號）優秀作家推薦號（發行所東京芝新橋七丁目十二改造社、價一圓）

●我觀（新年號）發行所東京丸ノ内三菱二十一號館其社、價半圓

●政界往來（新年號）發行所東京市芝區琴平町二虎之門會館其社、價半圓

●祖國（新年號）發行所東京牛込改代町二四學苑社、價二十五錢

●ぬかご（一月號）發行所東京赤坂新坂町八二其社、三十五錢

●婦人文藝（新年特輯號）發行所麹町土手三番町四新知社、價四十五錢

●眞理（創刊號）發行所東京京橋銀座西七ノ五全日本眞理運動本部、價二十錢

●滿洲警察新聞（第二十三號）發行所大連八幡町二其社、價二十錢

●島根評論（十二月號）發行所東京小石川大原町十四其社、價三十五錢

●財界觀測（十二月號）發行所大阪東區安土町二丁目野村證券株式會社調査部、價二十五錢

●民俗の風俗（十二月號）發行所東京麹町二番丁二朝日書房、價三十五錢

●氣象臺（詩誌）發行所大連盤城町七新耕詩社、價二十錢

●婦人俱樂部（新年號）五大附錄として防寒編物と新手藝、婦人が諸流お正月の生花、漫畫繪本凸凹黑兵衛などがある（發行所東京小石川區、音羽町三ノ十九、大日本雄辯會講談社、價八十錢）

●作文（第十輯）發行所大連薩摩町關東館ロノ二〇七、青木實方價二十錢

●日本之實業（新年號）發行所東京芝區村田町四丁目四其社、價三十錢

## 大連は清音"タイレン"　＝市理事者並市會議員諸氏の再檢討を望む＝　田口稔

この度、大連市會に於て大連の呼稱を濁音ダイレンとすることの正當と認められたことは、事實に於て誤謬であつて、淸音タイレンが眞正なる發音である。その法規上根據を左に說述し以て提案者にして且つ市理事者たる岡野助役の所論を根本的に覆へし、更に岡野說を正當と認められたる市會議員諸氏の非研究的態度且つ一方的なる處置に對して反省を促す次第である。

岡野氏の採用せられたる法規上の根據は「關東廳法規提要」下卷八百九十六頁に次の如く轉載せられてあるものである。

明治三十八年一月二十七日
遼陽守備軍令達第三號
明治三十八年二月十一日以後「青泥窪」チ「大連」ト改稱ス

岡野氏が第三次的の而も此項に付二字の誤植ある「關東廳法規提要」に據られたことが謬論の根源である。

何となれば、第一次的資料として明治三十八年一月二十七日の遼東守備軍令達第三號そのものに據らないからである。

縱令その令達自體を手にすることが出來ないとしても同氏は第二次的資料たる「關東都督府法規提要」なぞへも讀んでゐられない。即ち該書の千百三十一頁に令達を嚴正に轉載して次の如く印刷してゐるからである。（該書は關東都督府より大正三年八月三十一日に發行）

明治三十八年一月二十七日
遼東守備軍令達第三號
明治三十八年二月十一日以後「青泥窪」チ「大連」ト改稱ス

岡野氏の據られたる第三次的資料に於ては「遼東」が「遼陽」に、又清音「タイレン」の振假名が濁音「ダイレン」に誤寫又は誤植されてゐるのである。

印刷原稿の誤寫或は活字の誤植に非ずして何ぞ、曾て同年月に遼陽守備軍令達第三號なるものが存在したことがなく、又淸音「タイレン」を濁音に改正するてふ旨の令達、或はそれに類するものが公布せられたことが無いのである。

法規を以て決定條件させられた岡野助役が、その採用文獻を誤られたことが岡野說をして自殺せしめたのである。

自殺した岡野說を生きたものとして取上げた市會は檢討吟味が不足であつたし、從つてその採擇上の方法論を誤つたことから、此問題に關する限りは市會の權威を失墜したことにならう。

然し私の目的は市理事者や市會に對して禮を失する途に出ようとするものではない。一市民として一學究として、共に倶に科學的な方法論によつて地名學の領域を開拓し、大連市名の正しき呼方を論證したい念願に出發點を持つに外ならない。私はもろもろの學的角度から淸音タイレン說の正當を主張するものであつて、玆に述べた法規上の誤謬指摘は只、市會通過の動機となつた岡野說を打破する爲に用ひたのみに止まり、なほ他に多くの實證的論據を把握してゐるのである。

# 本年度の滿洲五傑（三）

## ＝發表された滿洲陸上競技界記錄＝

SPORT スポーツ

### 千五百米（五傑平均記錄 四分二六秒二二／前年度平均記錄 四分二六秒三四）

| 順位 | 記錄 | 氏名 | 所屬 | 場所 | 會名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 四分六秒八（新） | 濱田 常盛 | 大連ア | 甲子園 | 日本選手權 |
| 2 | 四分二〇秒四 | 大藪 寛一 | 大連ア | 大連 | 日米豫選會 |
| 3 | 四分二一秒二 | 森福 忠友 | 育成 | 甲子園 | 日本中等校 |
| 4 | 四分四〇秒七 | 渡邊 逸 | 大連ア | 大連 | 州内選手權 |
| 5 | 四分四二秒〇 | 樋口三五郎 | 大連ア | 奉天 | 北斗・YEC撫順對抗 |

（從來滿洲記錄四分九秒濱田常盛）

老雄濱田君の活躍に依り秋の日本選手權大會に於て四年連續優勝の榮冠を獲得して王座を死守することが出來たが、後續者少なきため記錄上のナンバー・ワンたり得なかつたことはかへすかへすも殘念である。二位の大藪君は千五百米一本で精進せられたが、家事の都合上練習意の如くならず、濱田君に肉薄し得なかつたことは氣の毒であつた。五傑中異彩を放つて居るのは第三位の森福君で、夏の全國中等學校大會に單身出場し堂々二種目に優勝し、その未來を囑望され來シーズンの活躍が期待されて居る。

### 五千米（五傑平均記錄 一六分四五秒五二／前年度平均記錄 一六分四〇秒一）

| 順位 | 記錄 | 氏名 | 所屬 | 場所 | 會名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 一六分五五秒六 | 濱田 常盛 | 大連ア | 大連 | 日米對抗戰 |
| 2 | 一六分四三秒八 | 大藪 寛一 | 大連ア | 大連 | 對京都帝大 |
| 3 | 一六分五二秒〇 | 森福 忠友 | 育成 | 甲子園 | 日本中等校 |
| 4 | 一六分五三秒六 | 志水 政市 | 大連ア | 大連 | 州内外對抗 |
| 5 | 一七分一二秒六 | 八重樫桑太郎 | 大連ア | 大連 | 日米豫選會 |

（滿洲記錄一五分四六秒永谷壽一）

期待されて居た權君が、シーズン當初に病に斃れたため、また昨年同樣の不振で、昭和二年永谷君に依つて作られた滿洲記錄に遠く及ばざるの狀態である。然しながら昨年度シーズン不振の志水君も亦權君の病も漸く回復し加ふるに新進森福の出現あり、來シーズンは必ずやこれ等三者に依り五千、一萬の記錄が更新せらるるであらうことを期待する。

### 百十米障碍（五傑平均記錄 一六秒四〇／前年度平均記錄 一六秒七）

| 順位 | 記錄 | 氏名 | 所屬 | 場所 | 會名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 一五秒五 | 米津 午郎 | 撫順 | 上井草 | 對東京文大 |
| 2 | 一六秒二 | 山田 俊男 | 奉天 | 奉天 | 奉天内對抗 |
| 3 | 一六秒三 | 中村 秀雄 | 奉天 | 奉天 | 奉天内對抗 |
| 4 | 一六秒七 | 武内 友章 | 大連ア | 大連 | 州内選手權 |
| 5 | 一七秒三 | 林不二太郎 | 工大 | 奉天 | 學生選手權 |

### 四百米障碍（五傑平均記錄 五九秒五〇／前年度平均記錄 一分一秒五二）

| 順位 | 記錄 | 氏名 | 所屬 | 場所 | 會名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 五五秒六（新） | 米津 午郎 | 撫順 | 甲子園 | 日本選手權 |
| 2 | 五七秒一（新） | 山田 俊男 | 奉天 | 甲子園 | 日本選手權 |
| 3 | 五八秒九 | 松本 庸一 | 大連ア | 大連 | 州内選手權 |
| 4 | 一分〇秒五 | 武内 友章 | 大連ア | 大連 | 州内外對抗 |
| 5 | 一分五秒四 | 大塚 亮爾 | 大連ア | 大連 | 州内選手權 |

シーズン當初より元氣いつぱいの米津君は、八月十一日の對京都帝大戰に五六秒八を以て昭和四年これまで對京都帝大戰に於て柿木賞丸君が作つた五七秒六の滿洲記錄を塗り換へたが、この餘勢を驅つて十月二十一日の日本選手權大會の第一豫選に五六秒四に更進し、續いて決勝戰に於て立命館大學の市原君と肩々相摩すの大熱戰を演じ觀衆を總立にせしめたが惜くも胸一つの差で敗れた。然しながらその記錄は日本十傑中、マニラの極東大會に於て市原君が作つた五五秒一の最高記錄に次ぐものであつた。雪辱の意氣に燃ゆる同君の明年度の活躍こそ大いに期待するものがある。第二位の山田君もまた日本選手權大會の第一豫選に於て滿洲記錄を更進せしめたが、同君のけふあるは不斷の練習のたまものであらう。（つゞく）

## ラヂオ　廿八日

### 新京百キロ（MTCY五六〇KC）（午後六時—同十時迄）

六・〇〇（東京より）ニュース
六・二〇 政府公報（滿語）
六・三〇（東京より）講演「本年の國際情勢の回顧と我國民の覺悟」法學博士松田道一
七・〇〇（大阪より）浪花節「法廷に咲く花」天光軒滿月
七・三〇（東京より）ジャズ「もう一杯」（他五曲）テイト・ニュウ・タンゴーアンサンブル
七・五五（東京より）連續講談（第二席）「次郎長外傳＝安倍川の血煙」神田伯龍
八・三〇 時報、ニュース
八・四五（ハルビンより）國民の時間「提倡國民責任心以樹立民族精神增高國際地位」（滿語）北滿鐵路總辦李紹庚
九・一五 ニュース、番組豫告（滿語）
九・三〇 演藝「虹霓關」（滿語）
九・五〇 ニュース（英語）
一〇・〇〇（ハルビンより）北滿の時間

### 大連（JQAK 六五〇KC）

**午前の部**
六・三〇 ラヂオ體操
七・〇〇 各地氣象通報、ラヂオ體操
八・三〇（東京より）經濟市況
九・四〇 經濟市況
一〇・〇〇（奉天より）料理獻立
一〇・四〇 經濟市況、公設市場値段

**午後の部**
一二・〇〇 時報、經濟市況、ニュース・レコード
一・〇〇（新京より）滿洲音樂
二・〇〇 經濟市況
二・五〇（東京より）經濟市況
三・三〇 經濟市況、ニュース
五・〇〇（東京より）子供の時間—お話「スピード物語」楠木卯馬
六・〇〇 ニュース、告知事項、職業紹介事項
六・三〇—八・三〇迄新京百キロと同じ
八・三〇 時報、ニュース、告知事項、氣象通報、明日の番組のおしらせ
八・五〇 長唄「廓丹前」唄杵屋勝長、勝若、三味線杵屋和壽々尺八岡田二郎 引續き滿洲音樂（レコード）

### 奉天（MTBY 八九〇KC）

**午前の部**
六・五〇（東京より）ラヂオ體操
七・一〇（新京より）ラヂオ體操（日語）
八・三〇（東京より）經濟市況（滿語）
八・四五 天氣實況（日滿語）
一〇・〇〇 料理獻立「正月のお料理」今井桂發表
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一〇・五九（東京より）時報
一一・四〇（東京より）ニュース
一一・五九 時報（滿語）

**午後の部**
〇・〇五 經濟市況（日滿語）
〇・三〇 ニュース
一・〇〇（新京より）演藝（滿語）
二・五〇（東京より）經濟市況、ニュース
三・三〇 經濟市況（日滿語）
四・〇〇 公示事項、ニュース（日語）
四・二〇（新京より）滿語講座—高宮盛逸
四・四〇 日語講座—近藤喜助＝註＝右二講座は本日を以て年内は休講、新年の開講は一月七日の豫定
五・〇〇（ハルビンより）子供の時間
五・三〇 ニュース、番組豫告（滿語）
六・〇〇（東京より）全國ニュース
六・三〇—八・三〇迄新京百キロと同じ
八・三〇 時報、ニュース、天氣實況、番組豫告
八・四五 國民の時間（新京百キロと同じ）
九・一五 滿洲音樂（レコード）
九・三〇（新京より）演藝「虹霓關」（滿語）艷春院佩芝
九・五〇 天氣實況、番組豫告（滿語）

### 新京（MTCY 五七〇KC）

**午前の部**
六・五〇（東京より）ラヂオ體操
七・一〇 ラヂオ體操（滿語）
八・三〇（東京より）經濟市況（日滿語）
八・四五（奉天より）天氣實況
九・三〇 演藝（レコード）（滿語）
一〇・〇〇（奉天より）料理獻立（日語）
一〇・四〇（東京より）經濟市況
一〇・五九（東京より）時報
一一・〇一 經濟市況
一一・三〇 ニュース（滿語）
一一・四〇（東京より）ニュース（滿語）

**午後の部**
一二・〇〇 經濟市況
〇・一五 ニュース（日語）
一・〇〇 演藝「打魚殺家」（滿語）艷春院金子
二・〇〇（大連より）經濟市況
二・二〇 成人講座「孔孟學說和王道國家的印證」（滿語）文教部編審官文璞
二・四〇 日用品値段（日滿語）
二・五〇（東京より）經濟市況、ニュース
三・二〇 ニュース（日語）
三・三〇（大連より）經濟市況（日語）
四・〇〇 ニュース（鮮語）
四・一〇 ニュース（滿語）
四・二〇 滿語講座、高宮盛逸
四・四〇（奉天より）日語講座、近藤喜助
五・〇〇（ハルビンより）子供の時間
五・三〇 氣象通報、番組豫告（日語）
五・三五 氣象通報、番組豫告（滿語）

### 京城（JODK 九〇〇KC）

**午前の部**
六・五〇（東京より）ラヂオ體操
九・〇〇 氣象通報
一〇・二五 歳末情景（その一）京城黄金町二丁目—朝鮮取引所より中繼—
一一・〇〇 時報、今日のプログラム發表
一一・〇五 マンドリン合奏、京城マンドリン合奏團、指揮清水五彦
一一・四〇 ニュース

**午後の部**
一・〇〇 家庭講座「婦人界の回顧」津田節子
一・五〇 歳末情景（其の二）—京城古市町京城驛より中繼—
三・〇〇 ニュース、職業紹介事項
五・〇〇 お話（大連と同じ）
五・二〇（東京より）コドモの新聞、村岡花子
五・二五（東京より）趣味講座「年忘れ漫談」森曉紅
六・〇〇 ニュース、天氣豫報
六・三〇—八・三〇迄新京百キロと同じ
八・三〇 時報、ニュース、氣象通報、翌日のプログラム發表、ニュース再放送

## トーナメント式 新進棋戰【其十】

準決勝戰の一

平手 先 四段 加藤治郎／四段 梶一郎

【圖は三三王迄の局面】

▲加藤氏持駒 金歩歩歩

[illegible] 氏持駒

▲四二銀打 △二五金
▲四三歩 △五五成銀
▲四六角 △三五歩
▲同銀 △三一飛成
△四四成銀

迄百四十九手にて加藤氏の勝

**總評** 土居八段

□前途有望の兩青年は、本局に於ては特に意義あつて、敗けられぬ棋戰丈けに心血をそゝぎ頗る力の入つた好局である。扨て梶君は相懸りを避けて變化に出たが、持久戰型となつては自營の形が惡い爲に強く戰ふことが困難である。何れの方面でも良いから乘じる機會を捉へる必要がある。

□加藤君が最初五八金の早計策を演じた際、梶君は素早く居飛車の方針を採らば面白い局形となるを逸し中飛車戰を用ひたのは確かに拙策である。然し加藤君が中央の防備に重きを置いた際、更に八筋へ飛車を轉換すべきが至當なるを六四歩以下五、六兩筋より仕掛けの工夫を急ぎ過ぎ、却つて攻勢に支障を生じ且つ自營益々亂れて指し憎い局勢を招いた。

□中盤以後の形勢を窺ふに、加藤君は自分の得意とする穩健策を用ひて自營を嚴重にし、徐ろに進展を圖つたのは安全な方法である。

□その時梶君は七五角と指し徐ろに六筋を狙へば面白い形となるを六五歩打指し過ぎの爲、却つて敵に六筋の位を取られ形勢不利に陷つた、以下實力を發揮して、形勢恢復に努力したが、加藤君が少しも誤らない爲に次第に悲境に陷つたのは、即ち六五歩打が敗因である。

**觀戰記** 七段 萩原淳

◇大勢已に決す

加藤氏の二五金打によつて、大勢は已に決した。

梶氏の四二銀打で六七桂と成つては、同飛成で三七馬に當つて見込みがないところから、殘念ながらの四二銀打ちであらう。

最後に四四成銀で、同歩なら三四金、四二玉、四三銀で、次に五二飛成で詰となる。

## 日本棋院 大手合戰譜【廿五局】

四段 島村利博
先相先先番三段 村田整弘

制限時間各八時間（但し一分以内は切捨）

●一五一そ十　○一五二そ九　●一五三つ十一（23分）　○一五四つ十二
●一五五そ十二　○一五六よ九　●一五七か八（3分）　○一五八劫トル
●一五九ろ十一　○一六〇ぬ十一　●一六一劫トル　○一六二に十六（1分）
●一六三ほ十九（22分）　○一六四劫トル　●一六五ぬ十二　○一六六三目ツグ
●一六七劫トル　○一六八は十九　●一六九ろ十九　○一七〇劫トル
○五六劫トル●六一同○六八同
○七〇劫ツグ

所要時間累計 白 四時三十七分／黑 六時四十三分

—【8】—

**對局者の言葉**

（白）百五十二の時には分らない形勢かと思つてゐましたが、こんなむつかしい事を打たなくても（つ九）にハ […]

（黑）百五十九は一目損なのですが劫材の關係からです
（黑）百六十三をさかずに左邊を拔いても、右下隅を取られては足りません、それに此處をきいて居ると（ほ十四）の出に響く劫材が澤山出來ますので—

[…]ぎは、棋勢の優劣に拘はらず試みて見たい筋であるが、黑百五十三と嚴しく劫を挑まれては此處が勝負になつて來た、白としては纔かに（つ十）にハネツイてから（ほ二）の下りを利かせた上（な十八）に二子を殺つてゐれば敗はなかつ […]

## 名家聯珠戰（六局の六）

先番 二段 高橋光次
後手 五段 岡部靜石

**講評** 鹿南 水人

白の三十四は、流石に巧い手。これが本局白勝は明確となつた。黑の三十五の防珠は何處も同じ。以下白四十までの打廻しは間然する處のない見事なものであつた。

**解說** 六段 川口直樹

流石に波瀾を極めた本局も遂に岡部五段の銳鋒新進高橋二段の挽回を許さず終始壓倒的優勢を持續しつゝ、岡五段の後手勝に終つた。即ち、白四十の後（甲）の四三勝。本局は最初黑七珠を誤つた爲に、それでも、十七珠に至り、當然力戰に入る可き機會に惠まれながら餘りにも萎縮した應手の結果、十八、二十となり、白の二十二以降はもう全く白の獨り舞臺で、黑として少しの畫策をなす術もなく、そのまゝ白の爲に押し切られたもので、高橋氏性來の實力を發する機會の無い、惜しい一局であつた。次からは、本棋戰も（滿日聯珠戰）と改題せられるのであつて、目下各有段者に依つて盛んに對局されてゐるのであります。乞ふ、御期待を—。

## ラヂオ相談

**晝間はさつぱりきこえません**

【問】旅順です。夜は良く聞えますが、晝間は少しも聞えません。設備は四球ナショナル受信機、階下八疊四角に約四十尺のアンテナ、水道又は地下にアースを裝置して居ます。アンテナの位置が惡いのでせうか御教示下さい。（旅順初心者）

【答】晝間は夜間に比し受信感度が弱いですから聞えないのです。高さ七米水平部一〇米位の屋外空中線を張ると聞える樣になると思ひます。（電々會社・係）

**新京百キロ明瞭にきかれぬ理由を**

【問】新聞ラヂオにて知りましたが、新京百キロ放送云々と仲々に明瞭な音を聞く事が出來ません、まだ京城、内地直接の方が聲も大きく明瞭に聞き得られます。御面倒ですがその理由を？小生の機械はヒーターバン五球式です。（新米生）

【答】受信機は一般に波長の長い放送局を受信すると能率が惡い樣になつて居ます。それで新京百キロ放送は實際感度は有るのですが受信機に大きく聞えないのです、それで同調回路のコイルを一〇回位宛捲き足すか、コンデンサーを〇・〇〇〇一位の固定コンデンサーで橋絡すると良く聞える樣になります。（電々會社係）

**聽取手續とアンテナの張り方は？**

【問】（一）ラヂオを聽取しようと思ひますが手續は如何したらいゝでせうか（二）アンテナはどの方向に張るべきでせうか。高さ及び長さは幾ら位でせうか。（大連SS生）

【答】（一）放送局又は近くの電報電話局においでになると許可願の用紙があります。又記入方法も教へてくれます。（二）アンテナの方向で受信感度に大した影響がある樣なことはありませんが、大體水平部を放送局の方向に向けると感度は良くなります。電車線に近い所では雜音妨害を少なくするため、電車線に直角の方向に張ることが必要です。高さ七米、水平部一〇米位でよいでせう。（電々會社・係）

# 拓け行く國都に 躍進の土建界
## 目覺しい本年度業績

「政治が極端に經濟を支配してゐる」滿洲國も、而もその特徵を最も如實に現してゐる政治の中心地首都新京の經濟界の生きた、或は形象的な經濟界の一面を物語るに適當なものとして、新京の

**土木建築界**の一年を語ることは、現在滿洲國の經濟的躍進を知ることに於て決して無駄でないことゝ思ふ。殊に建國前より世界的に輸出超過國として有名だつた滿洲國は、治安工作の進捗、經濟工作の發展と共に大同二年度貿易額は遂に入超を示し、その趨勢は大同三年に入りて益々強く、本年卽ち康德元年度上半期滿洲國貿易は輸出總額二二七、三四七、三六八圓に對し、輸入總額二六八、一一四、〇五六圓にして實に入超四億九千五百四十六萬一千四百二十四萬圓に及び、十月末現在迄の情勢を見ても依然入超を示し、大同二年度に比較して如何にその入超の甚だしきを知る事が出來るのである、卽ち左の如し(單位千圓)

| | 康德元年十月末迄 | 大同二年十月末迄 |
|---|---|---|
| ▲輸出 | | |
| 輸出品 | 三四〇、四七四 | 三〇三、七四四 |
| 再輸出品 | 一三、八六五 | 一四、二六八 |
| 合計 | 三五四、三三九 | 三一六、九〇二 |
| ▲輸入 | | |
| 輸入品 | 四七六、一六〇 | 四一九、三六八 |
| 再輸入品 | 九六、五八八 | 一、四九三 |
| 合計 | 四七六、一七六 | 四二〇、九五二 |
| ▲差引入超 | 一二一、八三二 | 八〇三、八五一 |

而も斯かる輸入超過の原因が前記に示すが如く

**滿洲國**内における經濟工作の一大バロメーターたる土建建築の諸材料としての金屬及鑛、機器工具、車輛類、洋灰、木材、煉瓦等が多量輸入されて居る關係によることより見て、上述の如く新京に於ける經濟界の趨勢を語る現實の資料としてこゝに土建界の一年を回顧する(特に建設情況につき)必要を切實に感ずる次第である

先づ國都建設の康德元年に於ける概況を一應說明しよう、國都建設局の發表によれば、國都建設事業が所謂自給自足の自主的財政計畫の下に活動を始めてより早くも茲に二年半、其の第一期計畫の半ばに達した今日の情況は實に素晴らしきものがあり劃期的人口の急增を示してゐる國都新京は舊市街たる滿鐵附屬地及び城内よりはみ出して、新興市街に向つて西南下し擴大、膨脹を續け、今年に於ける躍進卽ち政府廳舍、各住宅、店舖の建築、道路の開設等の諸工事も來るべき明年度の本格的勃興の勢ひを示現して、市街は一擧に興仁大路以南に伸展せんとする情勢を示してゐる、今各個別にそれを一瞥して見るが、徒らに二年半の進行を語るを避けて數字的考察をなして、康德元年度の建設工事の一端を語る參考としよう

◇道路◇ 事業開始以來、材料の蒐集上の支障や、降雨、寒冷等諸々の障碍を排除して一意計畫路線の完成に努め現在所期の工事を進めつゝあるが、計畫既成道路の數字は左の如くである(單位米)

| | 延長 | 面積 |
|---|---|---|
| 五ケ年計畫道路 | 三〇二、一四三 | 五一、一五四、〇二四 |
| 完成せる道路 | 一七三、九四〇 | 二、四九一、一四〇 |
| 完成せる鋪裝 | 五一、七〇〇 | 三二六、五〇〇 |

なほこれと共に進捗中の下水工事左の如し

△下水道工事施工計畫地域一一二〇〇、〇〇〇粁△既成部分五、五五〇、〇〇〇粁△下水管計畫敷設延長一六六、〇〇〇米△既成敷設延長一三六、〇〇〇米

◇建築物◇ 國都建設局建築科は、一般官公廳舍の造營か、總務廳需用處の管轄に移つて以來、建設區域に於ける建築の指示並に補導を主たる任務とし傍ら建設局直營の諸建築の築造に當つてゐるが

**建設區** に於ける建築界の情勢を見るに官公、民間の諸建築は道路、上下水道の開設を追つて着々進捗してゐるが、現在一般民間建築工事が最も殷盛を呈してゐる方面は大同大街、興安大街を中心とするその兩側一帶及び滿鐵線路に沿ふ安達街方面であり、康德元年度に新築された計畫區域内建築物は大約右の如き數字があげられるのである

| | |
|---|---|
| 特殊官公建築物 | 一、三〇〇萬圓 |
| 一特殊集合住宅及一般建築物 | 九〇〇萬圓 |
| 合計 | 二、二〇〇萬圓 |

以上の如く康德元年度における國都における建築物額高は二千二百萬圓に上つてゐるが、今滿洲土建協會調査による今年度中に於ける工事入札請負額、個別的に表記して見ると現在及び明年度並びに將來に於ける土建工事の趨勢を現すことが出來るものと思はれる(なほ整理上請負額十萬圓以上のみを摘記する)(單位千圓)

| 工事名 | 請負者 | 金額 |
|---|---|---|
| 電々會社新築 | 高岡組 | 六三三 |
| 本社 | | |
| 淨月潭水源地堰堤 | 榊谷組 | 四四八 |
| 國務院第五廳舍 | 清水組 | 三七〇 |
| 新京第三小學校 | 蔦井組 | 一六三 |
| 忠靈塔 | 清水組 | 一四三 |
| 新京步兵隊宿舍 | 一郡組 | 三七九 |
| 滿鐵消費組合 | 吉川組 | 一〇三 |
| 滿鐵病院隔離舍 | 今井組 | 一〇九 |
| 滿鐵獨身宿舍A | 大同組 | 一三五 |
| 同B | 錢高組 | 一三三 |
| 中央銀行第一期工事 | 大林組 | 六八六 |
| 中銀增築工事 | 福昌公司 | 六八六 |
| 同集合宿舍 | 同 | 一二五 |
| 同獨身宿舍 | 同 | 三六五 |
| 南嶺各部隊宿舍 | 阿川組 | 一四四 |
| 新京憲兵隊宿舍 | 同 | 一〇三 |
| 滿洲國代用官舍(東) | 大倉組 | 六〇〇 |
| 同(中) | 戶田組 | 四八〇 |
| 同(西) | 福高組 | 五五五 |
| 東大橋新設 | 碇山組 | 一一四 |
| 國務院廳舍 | 大林組 | 一、二六六 |
| 新京第四小學校 | 三田組 | 一九一 |
| 滿洲航空會社新築 | 島川組 | 一〇三 |
| 新京警察署官舍 | 阿川組 | 一〇四 |
| 特別市營アパート | 菊池組 | 一四六 |
| 南新京驛給水槽 | 高岡組 | 一〇四 |
| 合同校舍 | 清水組 | 三三三 |
| 新京藥品會社 | 實利公司 | 一三三 |
| 中央警察學校 | 福昌公司 | 一〇三 |
| 國立衞生技術處 | 碇山組 | 一六八 |

次に同じく土建協會新京分會による康德二年度月別土建工事概數を示せば左の如くであり、滿洲國、特に北滿方面における土建工事の最盛期が如何なる時期であるか、而して如何に殷盛に且つ一時的土建工事が行はれるかを語るに充分であると思ふ(單位千圓)

| 月別 | | 金額 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 一月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 二月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 三月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 四月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 五月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 六月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 七月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 八月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 九月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 十月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 十一月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |
| 十二月 | 土木 / 建築 | [illegible] | [illegible] |

以上に見る如く滿洲に於ける工事最盛期は八、九、十月を目標として七月並びに六月は莫大な金額に上り、且つ四月解氷期における高額の數字も亦多大の興味を惹くものと見られ、康德元年度の新京に於ける工事請負總額は土木工事六百六十六萬七千圓、建築工事二千三百七十萬九千圓に及び合計三千三十六萬九千九百圓に達し、更に明年度に於ける大躍進を期待し、裏書するに充分なるものがある

これで大樣に於ける新京の經濟的概觀としての土建工事の一年間の回顧を終へることゝするが最後に今年十一月末迄の新京土建協會管區における土建工事の累計は實に千百末十六件、三千三百十一萬一千五百九十五圓に達し、同協會の康德元年度の豫想額二千萬圓を遙かに上廻り明年度に於ける本格的發展を期待されるに至つたことを附記して、この稿を閉ぢよう

# 販賣合理化で消費組合に對抗
## 一般消費者の利便促進に努め 中小商工業者が結束

澎湃たる消費組合設置の氣運は漸く表面化しこれが中小商工業者との今後の尖銳的對立を考慮し極力緩和防止すべく、大連商議、全滿輸入組合も聯合會に於てそれ〴〵對策に腐心しつゝあるが、一方必然的にこれ等消費組合と對立すべき中小商工業者に於ても重大なる問題となし、これが對策に就いては切實なる考究を續けつゝある、卽ち市中一般商民は消費組合の發生に對しては極力反對運動を續けると同時に、その生活權擁護の立場より消費組合に對して品種制限、組外販賣の徹底的取締りを要望し、さらに消費組合對策として商店の統一による協力一致サービスの改善販賣の合理化を計ると共に特殊販賣(歲末賣出)等を設け且各官公署に對しては共通購買配達傳票を配布一般消費者の利便促進に努めんとの意向を有してゐる



# 臺灣生果の輸入統制
### 明春早々配給所を設置

臺灣生果の亂賣防止策としてその輸入統制が最近在連當業者間に問題となり、この協議のため來連した臺灣生果重役池田競氏は各方面と折衝の結果、漸く意見の一致を見るに至つたので一先づ二十七日出帆あめりか丸で歸任したが、明春一月再び來連の上で愈々大連に臺灣生果の配給所を設置し一切の業者間に販賣することになつた、この結果販賣價格が統一されると同時に臺灣生果の生產業者と在連販賣業者間の個人的取引は一切今後出來ないことになるものである

# 海運會議
### 二月中旬開催

【神戶二十七日發國通】ジヤワチヤイナ側の讓步により邦船側ではジヤワ同盟會議を開催すべく一切の準備を進めてゐたところ二十五日朝ジヤワチヤイナ側より本國政府との打合せ未了の故を以て延期要望あり神戶海運會議は遂に來年に持越される事となつたがジヤワチヤイナの待つてゐた蘭印政府よりの回訓が二十六日夕刻到着したので同社では二七日中に邦船側に對し何らかの提案をなすのではないかと見られる併しながら蘭印政府は神戶會商を日蘭會商の延長と見做す立前を依然堅持しプール問題についてはジヤワ同盟會議の問題として白紙を以て臨み一般海運問題については二月中旬頃別個に神戶海運會商を開催するやうジヤワチヤイナ社側に回訓をなしたもの、如くである

尙邦船側としては二十七日にジヤワチヤイナより會議開始の提案あるも應ぜず一月十日頃より開催すべく一切の準備を進めてゐる

# 黄塵

◇…全滿米穀同業組合の月報が二年ぶりに復活した、謄寫版刷りで雜誌の形式としては貧弱なものだが內容も充實してゐて面白い。

◇…滿洲には採引きした統寸潤色したやうな材料で雜誌として出してゐる內にこんな謙遜な雜誌のあることは嬉しい事だ。

◇…定價十錢、滿洲の農業移民問題などに興味を持つ人の話が出てゐるが。

◇…同誌十二月號に撫順附近十餘年來水田經營をして紹介する。

◇…火田民が開墾して地方た後には日本移民を入れさせるのがよいといふ意際家の說として傾聽に値するものがある。

# 昭和九年の滿洲財界 (十一)

## 錢鈔界(下)
# 波瀾の下半期も結局保合狀態に終る
### 十月に本年最高値を現出

下半期に入れば七月は殆ど特殊の材料なく氣迷ひ裡に百十四圓乃至百十七圓の間に一高一低を反覆したが、八月に入りアメリカ政府が各地において猛に銀買入れを續行せしため、各地銀塊は益々强調を遡り且つ銀ブロツク一派の銀インフレ策動益々威を振つた爲銀高氣勢を一層煽りし處、九日米大統領が銀の國有を斷行し買上價格一オンス五十仙に決定せる旨入電あり

**一方** 紐育銀塊は月初の四十六仙八分一より四十九仙四分一に、倫敦銀塊は二十片十六分五より二十一片十六分七といづれも暴騰を報ずるや鈔票は百二十一圓二十錢の高値を示現した。然るにその後は銀塊相場は既に米國の買上値段に接近し各地銀塊相場も保合商狀を續けたゝめ、鈔票も百二十圓辯みに浮動を反覆した。越えて同月下旬に入るや上海の現銀海外への流出益々夥しく金融逼迫を恐れ、これが對策として銀輸出禁止或は輸出課税引上げを決行するにあらずやとの懸念にて資金の銀から金への乘替ふるもの續出したゝめ銀價は軟化したが、月末には支那の銀對策困難とアメリカの倫敦に於ける銀買入れにて銀塊が二十一片十六分十一に急騰し、他方標金が本年三月以來の安値九百四十二弗八に慘落するや鈔票は百二十二圓三十五錢に反撥した。

**九月** 十日突如として南京政府が爲替の投機取引を禁じたゝめ市場に一波瀾を生じたが結局有名無實に終つた。更にまた同政府は標金取引を從來の米金弗基準を廢して海關金單位に變更することゝし、同月十六日より取引開始を命じたるも仲買人の同意なく、標金市場は解合商內のみとなり氣乘薄の商狀を續けたゝめ鈔票も多くは百廿二圓見當の保合に推移した次いで下旬に入るや關西風水害貿易入超等より米日爲替は月初の三十弗より月末には二十九弗二八に崩落し、一方倫敦銀塊はアメリカの買向ひにて月末二十二片臺に垂替りの急騰を演じたため、鈔票は中旬の保合より脫して連日續騰して月末百二十八圓二十五錢する大正十四年末以來の高值に奔騰した。十月一日は更に百二十九圓七十錢と高寄りしたが、後支那の銀對策懸念益々濃厚にて反落を呈し、八日百二十六圓臺に陷落した矢先

**海外** 銀塊が投機筋の買煽りにて九日より俄然硬化し來り、倫敦銀塊は月初の二十二片臺より十六日二十四片八分七に、紐育銀塊は四十九仙臺より五十五仙四分一に何れも暴騰を演じ鈔票も相伴れて反撥し十二日百三十五圓四十錢の高値を現出した然るに同月十五日南京政府は遂に銀輸出稅を一割に增徵し且つ倫敦銀塊に比し上海が課税を倂せてもなほ下鞘にあるときは、その鞘に準じて更に平衡稅を徵收することゝし卽日實施を見たが、既に標したることゝて大なる衝動を與へず、反つて前記銀塊高とアメリカ政府が過般の支那の抗議に對し銀買入れ續行の已むなきを回答せしを眺め、十六日百三十五圓四十錢なる

**本年** の最高値に躍進したが、アト滿洲國金本位制採用說、機構問題の惡化に加へて標金急騰せしため百三十圓丁度に瓦落するに至つた

更に十七日の神嘗祭休市中南京政府は爲替平衡資金を得るため五千萬弗を無稅にて倫敦へ現送する旨決定せる結果、標金は前日の九百十三弗五より九百七十三弗五に暴騰し上海市場は大混亂を惹起し恐怖狀態に陷つた、この混亂の後を受けて十八日開市した處、五圓六十錢安の百二十四圓丁度と大瓦落を演じて發會し更に標金の千弗臺乘せを入れて百二十四圓五十錢と續落を告げた、この一波瀾の跡始末付き十九日南京政府が爲替平衡委員會を設置して市場の安定に努めたが、輸出稅增徵の惡影響は漸次現はれ來り弗紙幣に對する不安氣分濃厚と共に外貨標金が買向はれて昂騰せしため、鈔票は軟轉して月末には百二十圓六十錢の安值を出した

越えて十一月に入るや鈔票は國際上場等の流言にて波瀾を見たるも多くは百二十一圓辯みに保合ひしが

**中旬** には上海市場が銀流出益々甚だしく金融逼迫を見、中央銀行は外貨標金の賣進みに出でたるとアメリカ政府の銀買入れ續行にて再び硬化を辿り、十三日百二十六圓五十五錢に躍進したが、その後は中央銀行の策動不明の點多く氣迷ひとなり再び百二十一圓前後に彷徨した下旬には銀流出による手持資金の缺乏にて兌換に對し稍不安を抱くに至り一、二銀行の取附けも起り銀紙の鞘擴大し紙幣に對する信用下落となり、鈔票も亦軟化して月末十七圓臺の安值に崩れた

十二月に入りても銀流出對策について種々風說を傳へ不安裡に百十八圓見當に保合つたが、六日議會解散の危機迫るとの報並に英支借款成立の噂にて百二十一圓二十五錢に急騰したが、後漲申相場が俄に强調に轉じ百三圓臺の高値を見るに至つたゝめ、鈔票は又復百十七、八圓臺に反落して頭重の商狀を呈した

**月央** より標金は漲申稍軟化を見百五十圓に引戾したが、十七日上海市場は平價二割切下げ說の擡頭より標金の猛烈なる買物殺到し九百十八圓九十錢の高値より一方奧地圖幣の暴落により連錢鈔市場奧地筋が鈔票を賣りに出でしため、兩々相俟つて鈔票は百十八圓九十錢の高値より百十五圓に慘落するに至つた波瀾も迄十八日には平常に復の後は材料薄と歲末接近にて六、七圓見當の平凡なる保合に終つた

| | 最高 | 最低 | 出來 |
|---|---|---|---|
| 一月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 二月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 三月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 四月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 五月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 六月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 七月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 八月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 九月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 十月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 十一月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 十二月 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

(十二月は十九日迄)





# 市場電報

## 銀塊及爲替 (廿七日)

倫敦銀塊、同先物、紐育銀塊、孟買銀塊、スチール、アナコンダ、英米爲替、米日爲替、米日爲替

## 神戶日米

第一回、第二回、第三回

## 棉花

現物、一月、三月、五月、七月、十月、十二月
●米棉　●印棉　ベンゴール　ブローチ

## 大阪株式

## 東京株式

## 大阪期米

## 神戶期米

## 東京期米

## 大阪綿糸

## 大阪棉花

## 橫濱生糸

## 印度麻袋

# 市況 (廿七日)

## 特産
### 邦商優勢賣りに大豆崩落

今朝の定期は大豆は邦商の優勢賣りに崩落を呈し、豆粕も相伴ひ軟調を示し、豆油は弱含、高買氣ありて强保合を辿つた

◇定期前場(銀建)
▲大豆(崩落)(單位屯)
▲豆粕(軟調)(單位枚)

◇現物前場(銀建)

## 錢鈔
### 標金安に鈔票小聢り

## 株式
### 餘日なく場面不冴

# 商品
### 麻袋軟弱 綿糸布保合

# 大連卸賣市場 (二十七日)

## 果菜

# 市場電報
## 錢鈔
## 特產
## 手形交換高 (廿七日)

# 僅か一年の間に 九萬人近く增加
## 女百人につき男百四十五人 州內・附屬地の人口
### 十月末現在

關東廳調查課調查によるその管內、卽ち關東州及南滿洲鐵道附屬地に於ける十月末現在の總人口は一、四七七、八八九人で前月に比し八、五九二人を、又前年同月に比し八九、〇九五人卽ち人口千に付六〇人を孰れも增加した、總人口を男女に分つと男八七四、三六四人で五割九分を占め、女六〇三、五二五人で四割一分に當り

**男の** 女に超過すること二七〇、八三九人にして女百に付男一四五人の割合である

之を國籍別に觀ると滿洲人が最も高率で一五五人、亞いで朝鮮人一一九人、內地人外國人共に一一五人で最も低い、而して男女を前月に比すると男四、八八二人を、女三、七一〇人を、又前年同月に比すると男五五、四九四人(人口千に付六二人)、女三三、六〇一人(人口千に付五六人)を孰れも增加し增加數及增加率共に男は女より遙に高い

また總人口を國籍別に觀ると滿洲人最も多く一、一三六、七四八人で七割七分を占め、亞いで內地人三〇九、四八二人で二割一分、朝鮮人二九、四〇二人で二分、外國人二、二五七人(零分)の順位である

之を前月に比すると滿洲人四、七四七人を、內地人三、八六〇人を、朝鮮人四〇人を孰れも增加し外國人のみ五五人を

**減少** した、また前年同月に比すると滿洲人五一、〇三三人(人口千に付四五人)を、內地人三六、八七〇人(人口千に付一一九人)を、朝鮮人一、〇六七人(人口千に付三六人)を、外國人一二五人(人口千に付五五人)を孰れも增加した、一年間に於ける增加實數は滿洲人が多いが其の增加率に至つては內地人遙かに高く滿洲人の約二倍半以上である、總人口を關東州と鐵道附屬地とに大別すると關東州は一、〇三九、四三三人で七割を占め、鐵道附屬地は四三八、四五六人で三割に當る、これを前月に比すると關東州は四、一三八人を、鐵道附屬地は四、四五四人を孰れも增加した、更にまた前年同月に比すると關東州は四三、四八一人(人口千に付四二人)を、鐵道附屬地は四五、六一四人(人口千に付一〇四人)を孰れも增加した

**既往** 一年間における增加數は州內に比し州外僅かに多いが增加率に至つては約二倍半の高率である

更にこれを國籍別に依つて觀ると內地人は州內一四七、四一〇人で四割八分、州外一六二、〇七二人で五割二分にして州內に比し州外は一一、六六二人の超過を示してゐる、これに反し滿洲人は州內八八八、二四七人で七割八分、州外二四八、五〇一人で二割二分で州內は遙に多い州外における內地人の發展は將來益々その度を增すだらう

### 增加率は鞍山が一位 大連は二萬餘

なほ滿洲主なる都市の市街地における本年十月の人口を昨年十月に比すれば左の如き增加を示して居る

| | 人口 | 增 |
|---|---|---|
| 大連 | 三三〇、六七六 | 二〇、九七六 |
| 鞍山 | 二三、三五〇 | 四、八九一 |
| 奉天 | 六八、四五四 | 一二、四五五 |
| 安東 | 六九、五九七 | 三、九四三 |
| 撫順 | 七七、七六七 | 五、一八二 |
| 新京 | 五八、八二五 | 一一、二一五 |

右の內最も人口增加率の著るしいのは鞍山市街で人口千人につき二百九人增の割合、これに亞ぐのが新京の同上一九一人增、奉天の同上一八二人增等で大連の增加率は同上六五人增である

# 哀しき"黄金滿洲"の夢 △△二題

## 白粉と睡眠劑で 就職難から自殺を圖る

二十七日午前十一時ごろ市內浪速町一丁目都旅館に投宿中の客、愛媛縣溫泉郡山野平井二二五松本好夫(二〇)が正午近くになつても起きて來ぬので女中崎田シゲノ(二〇)が不審に思ひ二階七號室を覗いて見ると口中に白粉を詰め込みその上カルモチン一箱を嚥下し昏睡狀態に陷つてゐるのを發見、直に佐志醫師の應急手當を受け生命を取止めたが大連署司法係柏常警部補が檢證した

自殺男は松山商業卒業後神戶內外汽船會社に就職したが間もなく健康勝れず退社、最近身體回復したので新興滿洲で一旗あげるべく二百圓を懷中に靑雲の志を抱いて去月二十六日來連就職口に奔走したが見當らず、旅順靑葉町十五番地に滯在中所持金を殆ど使ひ果したので二十六日來連、市內見物や映畫を見て午後十一時ごろ前記都旅館に投宿、翌二十七日いよ〳〵世をはかなんで自殺を決意し今生の思ひ出に所持の十餘圓で吉野町カフエーライオンで遊興し、午前二時ごろ旅館に歸り用意のカルモチンと白粉を服み覺悟の自殺を企てたことが判つた大連署ではその不心得を諭し近く鄉里愛媛縣に送還する筈

## 元主家の娘の名で 少女が酌婦稼業 營利誘拐の魔手潛むか

丁年に滿たぬため主家の娘の名を騙り警察の眼を甘々と瞞着、酌婦稼業をしてゐた女の正體が暴露した——大連署司法係渡邊係官は二十七日午前逢坂町遊廓七福樓抱酌婦濱口フジエ(一九)を召喚取調中であるが、この女の本名は戶主茂久の長女西岡三四子(一七)といひ去る十一月中旬彼女が鄉里の笠岡町カフエースズランこと濱口リン方で女給稼中、滿洲へ行けば黃金の雨が降ると出鱈目な宣傳に乘せられ滿洲行きを志願したが、滿十七歲に滿たぬ爲め酌婦になれぬところから惡計をめぐらし、主家のカフエースズランの娘濱口フジエ(一九)の戶籍謄本を盜み出したうへ印鑑、親の承諾書まで僞造、すつかり濱口フジエに成り澄まし去る二十八日紹介人の手を通じて來連、前借七百五十圓で逢坂町七福樓に身を沈め、甘々と大連署の眼を掠めて酌婦稼業をしてゐたのであつたところが氏名を騙られた笠岡町のスズラン事濱口リン方では自分の娘フジエが現に家に居るのに大連で遊女になつてゐるといふ噂が立つたので不審に思ひ笠岡警察の手で取調べて貰ふと右の始末と判明、笠岡署も他人の名を騙つた西岡三四子の裏面に營利誘拐の魔手が潛んでゐると睨みこれが取調方を大連署に移牒して來たことからこの不正事實が發覺したもので大連署保安係では近く刑事々件とは別個に嚴重行政處分を行ふ方針であると

# お正月の慰問袋 女學生三千名から 在滿將士に

【東京特電二十七日發】滿洲の第一線を守る將士のお正月を慰めるべく澁谷の實踐女子專門學校高等女學校生徒三千名は五千個の慰問袋に雜誌、シャツ、キャラメル等を詰め優しい慰問狀を添へて贈ることゝなり生徒さん自ら荷造りして陸軍省へ委託直に現地へ發送されることゝなつた

# 軍國二重奏 埠頭に展開
## 白衣勇士と入營の壯丁 あめりか丸で內地へ

歲末の埠頭に展開された軍國二重奏——二十七日朝寒風を衝いて出帆のあめりか丸は白衣の傷病兵士と壯途還々しい入營壯丁とを乘せて萬歲の歡呼裡に出發したが傷心の歸還兵士は矢島大尉以下六十九名、輸送指揮官の芦田二三男軍醫に引率されデッキに白衣の惜別陣を列べ見送りの市民群に應へてゐたが丁度同船の內地部隊へ入營の若者吉、壇崎君外八名が歡送のテープに彩られてゐるのと一緒になり見送りの人々の胸に力强い感銘を與へた

# 國防婦人會 大連支部 設立ちかづく

十二月初旬以來大連に支部設置を急ぎつゝある大日本國防婦人會は各方面より頗る好感を以て迎へられ旣に發起人百餘名會員申込豫定約六千に達し目下着々準備を進めてゐるが一月上旬に第一次設立委員會を開き同月中旬迄には早くも發會式を擧行する筈、尙現在迄の發起人の氏名左の如し

靑木ハツ、阿部久、荒川ハツヨ、荒木スミ、靑柳セキ、乾ミヤ子、石田豐、岩光芳、二宮芳子、池水フク、岩男ナホ、市川賞子、伊保內千代、石本美子、泉ヒロ、岩井靜子、和泉カツ子、井上富美子、今井民子、瓜谷ウメ子、梅原美子、小川エイ、大塚ステ、大久保千里、小川喜代子、岡野眞枝、小澤カツ、樋口ヒデ、大竹豐子、川口トシ、川上シシ、川尻ヨキ、河南政子、川崎シモエ、神田カツ子、龜井文子、角田トヨ、春日チヨ、川島絹子、兼光シカノ、加山ナツ、木下トミ、木船勢津、淸原ムラ子、鬼頭トミ子、久保キヨ子、栗木スウ、小林ユキ、小島ナホ、權藤クニ、河本久子、齋藤トミ子、榊谷辰子、崎山ユカ、三宅ナミ子、佐藤榮子、紫藤タカ、島津カネ、大內光子、鈴木タツノ、菅國子、杉本小花、鈴木トメ、武部晴子、田岡美惠、高木サダ、菅原タイ、立島クミ、武山春二、高橋カツ子、高田ツヤ、田邊小縫、田中信子、高室キヨ、田中惠、土橋楠枝、辻芳子、藤平田竹中俊子、千賀淸子、築地富美信子、中西他喜子、中尾サワ子、鍋島伊智子、長濱英子、中田秀子、西川カネ、根橋愼子、野村靜、野久尾ヨネ子、增田靜子、前田さゑ子、橋本モモエ、長谷部喜代子、林田カヅエ、馬場カノ、林田千代、伴野ヌイ、畑中雪野、林喜美、榊谷ハナヨ、長谷川シナ、平田キヌ、平田久子、久間サエ、福井ハル、藤澤ウタ、振角タツ、古田滿龜子、寶性トキ子、堀內會井子、松內悅子、松山コウ、松崎テイ、牧野喜美子、丸山千代子、幹ミヤ子、光岡ソヤ子、宮川チカ、村池千代子、森本柳子、山口コト子、八田鶴子、森川タカ、村田キヌ子、山崎スマ子、安井フジ、山內節子、湯ノ口房江、山井ハル、吉峰シゲ、吉原ミネ、渡邊幸、渡邊美惠、脇屋愛子、若本信子、鷺島セン

# 見知らぬ人の出迎へに
## 大連埠頭に案內板新設

大連埠頭に上陸する人を迎へる者に便利な案內板が出來た、上陸した人達で混雜する岸壁、或は待合所內で未だ顏を見知らない人を迎へる者は今まで隨分苦勞してゐるので、第二埠頭では擴てからこの便利を圖るため研究中だつたが、今度寫眞のやうな案內板を造つて早速二十七日入港のはるびん丸から利用して出迎への人達から重寶がられ喜ばれてゐる、高さ九尺だからこれを待合所入口に立てると人波の頭を通して直ぐ判るわけで、これから人に揉まれながら「〇〇樣」など〻書いた紙を揭げたり人中で「〇〇さん」と大聲をあげて叫び廻り恥しい思ひをしなくともすむわけだ

# 憧れの日本へ 蒙古少年ふたり
## 三週間の豫定で各地視察 少年隊の制服凜々しく

滿洲國の警備に伴ひ邊陬の外蒙奧地まで友邦日本の眞意が諒解され日本への感謝となつてホロンバイル一帶は素晴らしい日本語熱に滿ちてゐる、そのためには日本を視察研究せねばと二十七日出帆あめりか丸で明日の蒙古を指導すべき蒙古少年二名が日本へ向つた一行は興安北省警備軍司令部附小沼茂氏に引率され同司令部顧問を父に持つ寺田利興君(一一)(金島行秀)君(一三)とダンジン・ジャムソ(竹內立郎)君(一一)の兩君で蒙古少年隊二年生に籍を置く兩君は少年隊のカーキ色の制服に皮の長靴も凜々しくあこがれの日本へ出發した

金島君の父は興安北省警備司令官少將烏爾金氏、また竹內君の父君は滿洲里の團長丹巴氏である

引率者小沼茂氏は出發に際し語る

豫定は三週間で東京を初め日本の各都市、舊蹟を視察する筈です、蒙古の日本への信頼は素晴しいもので日本を一べん視察することになり特に兩君が選ばれて行くことになつたのです、日本を見學の上この兩君が歸つてから外の者にその感想を傳へる筈で聽てはこの人達が將來の蒙古人を指導するやうになるでせう

各國製 双眼鏡 望遠鏡
各種時計、眼鏡
セキスタント
船舶用時計
コロノメーター
晴雨計
大連市山縣通一五二番地
淺田商會
電話六二三三六番

# 大藏省疑獄事件
## 廿六日豫審終結決定

【東京二十七日發國通】齋藤前內閣の總辭職の因を爲した中島元商相、黑田前大藏次官並に三土前鐵相等十七氏に係る所謂大藏省疑獄事件は爾來東京地方裁判所で鋭意審理され、その間再審理等も行はれ豫審終結決定は來春に持越されるかとも見えたが兩角豫審判事の懸命の努力の結果、遂に二十六日午後豫審終結決定し、該決定書は二十七日午後五時各被告の手許に送達される事となり事件の搜査に妨害ありとて去る三月二十七日記事揭載を禁じられてゐた同事件の內容は二十六日午後五時を期し解禁される事に決定、斯くて一世を衝動した空前の大疑獄事件の全貌は始めて明かにされる事となつた

# 職業野球倶樂部 顏觸れきまる
## 奉天實業團の津田君三壘手へ 明年二月米國へ遠征

【東京二十七日發國通】日本最初の職業野球大日本東京野球倶樂部創立總會は工業倶樂部で二十六日午後五時擧行資本金五十萬圓、筆頭取締役大隈信常侯、顧問として米野球團のオドール氏が就任した選手左の通り

△投手 澤村(京都商業)靑柴(立明館大)スタルヒン(旭川中學)水原(慶應)畑福(專大)
△捕手 久慈(早大出)倉(法政出)
△一壘手永澤(太洋倶樂部)△二壘手三原(早大出)△三壘手新富(門鐵)津田(奉天實業團)江口(享榮商業)
△遊擊手苅田(法政出)
△外野手矢島(早大出)堀尾(ロスアンゼルス)二出川(明大出)中島(早大出)山本(元寶塚)夫馬(早大出)

尙ほ右選手は二月中旬米國へ遠征する豫定

# 關東局
## サインの"南"に 集る好奇の視線
### 新機構への初日景觀

◇…【新京電話】關東局と關東州廳新官制公布の二十六日、關東局長日下氏以下二十餘名の各課、課長陣豫定の午後二時になつても公電が來ないので一同恨めしさうに新看板を睨んでゐる時、某課長「オイこの五、六時間は傳達の首は中ぶらりんでまるでルンペンだ」と歎聲を洩すと、傍らの某氏「僅か數時間で首のすげ替へが來るんだから有難く思はなくちや」

◇…その中午後三時五十分やつと入電、顏觸新しい看板がかけられると一同咲笑苦笑と皮肉り

これは局令第一號で、南大將着任後最初の決裁ですが、安東から奉天への途中車中で裁いたものです

といひながら關東局及關東州廳事務分掌規定を懷中から取出す、待ちかまへてゐた一同「オー」と聲をたて、南と刷した大將のサインをながめながら

變つたサインですな、覺えて置かれば

と珍しさう

◇…水谷氏續いて

これは局令第二號として關東局官制實施最初の局令です

と取出したものは

スウエーデン國紋章使用者罰則に關する局令

卽ち同國の紋章、徽章又はこれに類似する徽章を濫りに商標等に使用せる者は五十圓以下の罰金又は科料云々の一項の下に南大將の赤字サインがクッキリ書かれてあるもの……

◇…同氏が「これで關東廳文書課長としての仕事は終りました」とホッと息をつけば、他の連中もこれに誘はれたやうに肩をおろし新機構實施に一安心の態

# 稅關吏の荷造り
## 不完全のために拔荷

【奉天電話】拔荷問題に關し奉天商工會議所では引續き業種別輸入業者について具體的調査を行つてゐるが某貿易雜貨商の取調べた所に依ると

一、十一月十四日大連經由到着の石鹼一箱七十打入中二打拔取らる
一、十一月二十一日安東經由到着の毛襪ズボン一箱二打入り四箱中八枚拔取らる
一、十一月十四日到着化粧品一箱八十打入り中一打拔取らる
一、十一月十六日到着のライオン練齒磨六十打中一打拔取らる
一、十一月十四日到着のライオン齒ブラシ四千本中二十本拔取らる

右は比較的大口の數で、この外に小口の被害多數あり、これらは何れも通關後に拔取られたるものであるが通關の際稅關吏の荷造りが不完全なために拔取られるものもあるので稅關吏の荷造り方要望の聲が高まつてゐる



天氣豫報 (二十八日) 南の風曇 一時晴

## 安樂椅子

感じの好いお孃さんがたくさん揃つてゐるところで滿鐵社內若手社員諸君の羨望の的になつてゐる係に、滿鐵人事課給與係があるが、この女事務員諸君は東北農民救濟運動が全國的に唱へ出されるや、言ひ合せたやうに「私達の手でも出來るだけ醵金しませう」と申し合せた。

……◇……

最初は御父さんから御小遣ひを貰つて出さうとの意見もあつたが、それでは自分達の趣旨に反するといふので、働いて得たお給金のうち、自分達の月々のお小遣ひにしてゐる金を儉約して積立てませう、といふことになつて、約二ケ月を經過した二十六日の合計が金十圓也。

……◇……

その午前代表者がその金を本社に託し、何も書かないで下さいと立去つたが、伊ケ崎主任も高々に「實は地方部の宴會廢止運動よりも、もつと早くから彼女達はこの運動を始めてゐたのだよ」と喜んでゐるとか。

## 石炭燃燒の理論と實際

滿鐵商事部內販友會研究部主催にかゝる「石炭燃燒の理論と實際」に關する講習會は好評を博したので販友會では講習會の速記を取纏めて販に附し一般希望の向に頒つ希望者は二十九日迄に商事部地賣課計畫係(二〇・二一三八)迄申込まれたいと(菊版約二〇〇頁特價金五十錢)

## 羅災民救濟 演劇を開催

【ハルピン二十七日發國通】ハルピン市公署及社會事業團體は本年夏の水害の結果苦境のどん底に飢と寒さに喘ぐ羅災民救濟の爲來る二十九、三十の二日間窮民救濟の演劇を催すこととなつた

# 歸省學生や 軍人家族
## 鞍山への熟練工など はるびん丸で

年の瀨も愈々押しつまつた二十七日入港したはるびん丸には休暇を迎へて父母の許に急ぐ歸省の學生五十數名を始め、十二月一日よりの關東軍州內の平常化に夫からの嬉しい便りに今年は一緒に正月を迎へやうといそ〳〵とした軍人の家族が十餘家族、また內地の鐵都八幡製鐵所から招聘されて滿洲の鐵都鞍山の昭和製鋼所に行く熟練工二十一家族八十六名を乘せたはるびん丸は本年最後の入港をした(寫眞は昭和製鋼所入りの熟練工家族の上陸)

# 由比正雪 (130)

悟道軒圓玉演　武田一路畫

## 勇士と勇士

金井半助は原山の戰場に於て武士たる者に似合ず他人の功績を無視して立身致した卑劣千萬なる陣佐左衛門方よりの使者と聽き面白からず思ひながら會見すると、明朝細川の上屋敷内佐左衛門の小屋まで御越下されたしとの口上。

これには半助も不思議に思つたが、承知したと答へて使者を返した。その翌日の事、此所は丸の内大名小路細川越中守侯の邸。通用門にかゝつた年齡二十四五になる壯漢。時は五月の下旬で當今の午後二時頃、白縮に巴の紋の附きし帷衣に蠟色の大小、左手に水口製の笠を提げ、

「御門番にお願ひ申す、自分は金井半助と申する者であるが、これより陣佐左衛門の小屋まで參る」と斷つて門を入る。それを見た門番が、

「お戻りの節は陣殿の名刺を御持參下さい」

「承知いたした。シテ陣の小屋は當邸内の何の邊にあるか」

「佐左衛門殿のお住宅でございますか」

「されば陣の巣は何處か」

門番も驚いた。千五百石を取る陣佐左衛門を陣々と呼び、それに住宅を巣だと云ふ、一體此の人は何者だと顏を見たが、顏には戸籍の謄本は貼つて無い。

「陣殿のお住宅は此を眞直ぐに行かれると馬場に出ます。それを右に添つて十二、三間お出でになると左側のお小屋がそれでございます」

「さやうか、御免を蒙る」

會釋して此所を一直線に行くと果して馬場がある。そこで七、八人馬をせめてゐる。半助は立止まつて見た。すると一人、ヒラリと馬から下りて半助の前に出て、

「金井殿か」

言はれて見ると、その人は陣佐左衛門であつた、

「オー貴公は陣殿であつたか、お招きによつて推參致した」

「宜くこそお出下された、コレ金藏口を取れ」

馬を馬丁に渡して額に滲む汗を拭ひながら先に立ち、自分の住宅へ半助を案内した。陣は千五百石取つて細川の家臣の内にては大身です。從つてその住宅も立派、江戸邸の内にて住んでゐる家を小屋と云ふ。大名では領地があつて其の領地に在る住宅が本宅、江戸は出稼ぎ……大名の家來に出稼ぎをする者はありませんが、總て江戸邸の住宅を小屋と云ふ。之は假住宅と云ふ事ださうです。

「コレ〳〵珍客が見えられたぞ。俺の戰場の友だ。よつて麁相いたすナ」

斯う陣は家來に申し附けた。そこで半助は案内に從ひ南に庭を見る客室に通ると、吹入る風の涼しいこと。半助はそれへ坐して庭を見ると、夏草は咲亂れ、樹木の青葉の露滴らんばかり。

「千五百石を取ると巣も立派だナオ、好い風が吹いてまゐるぞ」

と言ひつゝ茶を喫んでゐるところへ出て來たは佐左衛門。

「原山總攻撃の節はお互に血を浴びたが、傷も負はず凱旋いたしたは目出度い事だ。今日は粗酒一獻お俯め申し、且つ打ち寛いでお話しいたしたくお招き致したが早速の御入來忝けなく存ずる」

これから結構な料理を出して待遇する。半助は遠慮もせず盃を擧げてゐたが、此時に佐左衛門が、

「まだ何れにも御仕官は爲されぬか」

「イヤ自分の如き愚者を抱へる大名はござらぬ。併し偶には自分を扶持いたすなぞと申すものもあれど自分には望みもあり、その望みを聽き入れるものあれば奉公いたす」

「何う云ふ望みを抱いて居られるか。それを承はりたい」

「些と望みが大きいでナ。先づ自分の望みに應ずる程の大名はござるまい。それ故今以て浪人いたし居る」

「ウム、シテ其望まれる食祿は」

「再度のお尋ねゆゑ申すが、先づ一萬石かナ」

これを聞いた佐左衛門はカラカラと豪傑笑ひをして、

「戯れを申されるナ」

「イヤ戯れに此のやうなことは言はぬ」

と半助は平然たるもの。